# 2024 年度

# 履修の手引

大学院看護学研究科



# 目 次

I	教育研究上の目的	p1
$\Pi$	教育研究上の目標	p1
${\rm I\hspace{1em}I\hspace{1em}I}$	大学院及び研究科等名称・英文表記	p1
IV	ポリシー	p1
V	授業時間	p2
VI	成績評価	p2
VII	修了要件	p2
VIII	学位	
IX	教員組織	р3
[研	究指導スケジュール]	p 4∼p 6
[規	程等]	
履	修規程	p 7∼p 8
学	位規程	p 9∼p10
大	学院学則	p 11∼p 20
長	期履修に関する申し合わせ	p 21∼p 25
[シ	ラバス等]	
授	業科目表	p 25
シ	ラバス	p 26∼p76
修	· 十課程学位論 文題 月 届	n77

## 奈良学園大学大学院 看護学研究科 看護学専攻

(2024年度)

## I 研究科の教育研究上の目的

教育理念に基づき、在宅看護、育成看護、精神看護分野における専門性を深め、国内外で活躍することができる高度な看護実践者と看護の各分野における実践的教育の担い手及び研究者を育成することを目的とする。

#### Ⅱ 教育研究上の目標

- (1)地域医療を支える質の高い看護実践者の育成
  - ・看護実践のリーダーとして、高い倫理観をもち、チーム医療に求められる「実践力」「マネジメント力」「教育力」「研究力」を備えた高度な看護専門職として活躍する人材を育成する。
- (2) 最新の看護学教育を実践する教育者の育成
  - ・看護大学等で将来の医療を担う看護職者を育てるため、最新の知識と技術、研究力を もち、高い倫理観と責任感を備えた教育者としての人材を育成する。
- (3) 臨床から地域を包括する視野をもつ研究者の育成
  - ・保健医療分野での課題の解決に向けて、国際的視野をもって保健・医療・福祉システムを創造的に構築するため企画・調整・統括的能力を発揮できる研究者としての人材を育成する。

## Ⅲ 大学院及び研究科等名称・英文表記

大学院名 奈良学園大学大学院 Graduate School of Naragakuen University

研究科名 看護学研究科 Graduate School of Nursing Science

課程名 修士課程 Master Course

専攻名看護学専攻Master Course of Nursing Science学位名修士(看護学)Master of Science in Nursing

#### IV ポリシー

#### 〈ディプロマ・ポリシー〉

- (1)各専門分野における諸理論に精通し、臨床現場で生じている課題を科学的、論理的に解決する方法を修得し、質の高い看護実践力を有している。
- (2) 臨床で生じている課題について、研究手法を用いて科学的に探究できる能力を有している。
- (3) 各専門分野において、臨床での看護実践を教育するための知識を有している。
- (4)高い倫理観をもち、臨床で生じる倫理的問題に対して、適切に判断し、調整する方法を見出す力を有している。
- (5) 看護実践及び教育、研究について、国際的視野をもち、保健医療チームにおけるリーダーとして、他のメンバーを尊重し、協働や連携を促進できるマネジメント力を有している。

#### 〈カリキュラム・ポリシー〉

(1)看護学分野における高度な看護実践能力と教育研究能力を有する人材を育成するための教育課程を編成する。

- (2) 高度な看護実践能力と教育、研究の基盤となる専門的知識と学際性を備え、また、高い倫理観と国際性を養うため、基盤科目及び専門科目に区分した体系的な教育課程を編成する。
- (3) 基盤科目では、専門の学習の深化と発展につながる基礎的理論及び研究技法又は国際的視野に立脚した最新の知識と科学的根拠に基づいた理論の教授に重点を置いた講義、演習を行う。
- (4) 専門科目、研究科目として、講義、演習及び特別研究・課題研究を通し、高度な専門的能力を養成する科目を設置する。なお、CNSを履修するコースには資格認定のための必要な科目を設置する。
- (5) 主指導教員と副指導教員による複数の教員指導体制のもと、高度な看護実践に貢献できる論文又は課題研究の研究指導を行う。

#### <アドミッション・ポリシー>

- (1)学修目標を明確にして主体的に学ぶことができる。
- (2) ヒューマンケアを提供する看護職としての資質を有している。
- (3) 国際的視野に立ち、柔軟な発想と論理的思考で課題を探究する姿勢をもっている。

## V 授業時間

時限	時刻
1	9:00~10:30
2	10:40~12:10
3	13:00~14:30
4	14:40~16:10
5	16:20~17:50
6	18:00~19:30
7	19:40~21:10

※休講等連絡は、入学時配付のメールアドレスへ連絡します。

#### VI 成績評価

秀、優、良、可、不可をもって表わし、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とします。評価は100点をもって満点とし、秀(90点以上)、優(80点以上90点未満)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)、不可(60点未満)とします。

## VII 修了要件

本大学院に2年以上在学し、所定の科目を30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に対し、研究科委員会の議を経て、学長が修了を認定します。

CNSを履修するコースにおいては、基盤科目16単位以上(国際医療特論、看護倫理特論、看護研究特論、臨床薬理学、病態生理学、フィジカルアセスメント12単位必修、コンサルテーション論、看護理論特論、看護教育学特論、看護管理学特論から4単位以上)、専門分野24単位以上(特論4科目8単位、演習2科目4単位、実習4科目10単位はそれぞれ必修、急性期精神看護学特論又は地域移行支援看護学特論からいずれか1科目2単位選択)、研究科目から課題研究4単位を加え、合計44単位以上を修得し、課題研究の成果の審査及び最終試験に合格することをもって修了要件とします。

## VⅢ 学位

修士(看護学)

#### IX 教員組織(令和6年9月16日現在)

## 専任教員

- 1 上野 栄一 教授(研究科長・精神CNS養成課程責任者)
- 2 服部 律子 教授(副学長・保健医療学部長)
- 3 岩本 淳子 教授(看護学科長)
- 4 臼井 キミカ 教授
- 5 西薗 貞子 教授
- 6 宮本 雅子 准教授
- 7 小林 由里 准教授
- 8 小池 伝一 准教授
- 9 蓮池 光人 准教授
- 10 田場 真理 准教授 (~R6.9.30)
- 11 西川 美樹 准教授
- 12 西出 順子 講師

#### 兼担教員

- 13 辻下 守弘 教授
- 14 井上 葉子 講師
- 15 村川 園美 助教
- 16 速水 裕子 助教

## 兼任講師

- 17 中川 晶
- 18 五味田 裕
- 19 平野 文男
- 20 市村 由美子
- 21 周藤 俊治
- 22 村岡 潔
- 23 三田村 七福子
- 24 峰 博子
- 25 箕浦 洋子
- 26 山内 豊明
- 27 池辺 寧
- 28 岡本 響子
- 29 森山 美知子
- 30 酒井 明子
- 31 二宮 佐和子
- 32 山本 恵
- 33 田中 登美
- 34 川野 雅資

## 大学院研究倫理審査外部委員

石田 榮仁郎 (弁護士,近畿大学名誉教授)

## 研究指導のスケジュール(2年で修了する場合)

年	次	学生	指導教員	教授会(研究科委員会) 学位論文審査委員会
受騎	前	・希望する修士論文の主指導教員へ連絡・相談する。	・研究計画、実務経験等をもと に、副指導教員の選択について 助言する。	
1年	次月			
前期	4	・希望する研究領域、主指導教員・副指導教員を研究科委員会へ 提出する。	・ガイダンスの実施 ・担当学生の研究課題を決定 し、研究科委員会へ通知する。 ・指導教員は学生に応じた受講 科目を指導する。	・研究科委員会は指導教員を決定し学生へ通知する。
	5 ~	研究課題に添って研究計画の立 案	・研究計画の立案を指導する。	
後期	10 ~	・研究倫理審査申請書を作成・申請し承認を得る。 ・研究計画に従い研究を遂行する。 1年次	・研究倫理審査委員会に提出する審査申請書の作成・審査・承認を得る。	・審査申請書を受理し、審査、承認する。
	1	・予備実験、調査等を実施する。	   ・研究の進行状況を確認する。	
2年	次			
前	4	2年次(~9月) ・本研究を開始し、研究成果をま とめる。	・指導教員はセミナーにおいて、研究遂行と研究成果のまと め方を指導する。	
期	6		・研究の進行状況を確認する。	
	7		・発表内容の問題点等を指摘し 解決方法について指導する。	・指導教員以外から主査1名、 副査2名を決定し、学生へ通知 する。
			中間発表会	
	10	論文の作成開始(中間発表の指導を踏まえ、論文をまとめる)問題点の指摘を受けて、追加実験・調査、分析等を行う。 10月~1月・修士論文を作成する。	・主査、副査は発表内容について指導する。 ・指導教員は、主査・副査から指摘された問題点の解決方法について指導する。 10月~1月 ・修士論文を指導する。	・公開の中間発表を開催する。
			論文発表会	
後期	1	・論文、論文要旨を提出する。 ・学位論文審査申請書を提出する。 ・主査、副査、指導教員の指導を 受けて論文を完成させる。	・主査、副査は発表内容について指導する。 ・指導教員は、主査・副査から 指摘された問題点の解決方法 について指導する。	
	2	・学生は、完成させた論文を所定 の期日 (2 月上旬) までに提出す る。	・主査及び副査は提出された論 文を審査するとともに、最終試 験を行い、これらの結果を研究 科委員会に報告する。最終試験 は、提出された論文の内容およ び専門領域に関する学力につ いて行う。	・研究科委員会は主査及び副査 による論文の審査および最終試 験の判定結果並びに当該学生の 単位取得状況により修士課程の 修了について合否を判定する。
	3	・修士課程の修了および学位授与		・学位の授与は学位記を交付し て行う。

## 研究指導のスケジュール(長期履修生3年で修了する場合)

年次		学生	研究指導員	教授会(研究科委員会)
				学位論文審査委員会
受験	受用リ	・希望する修士論文の主指導 教員へ連絡・相談する。	・研究計画、実務経験等をもと に、副指導教員の選択について 助言する。	
1年	次			
	月			
前期	4	<ul><li>・希望する研究領域、主指導教員・副指導教員を研究科委員会へ提出する。</li><li>・講義科目を履修</li></ul>	・ガイダンスの実施 ・担当学生の研究課題を決定 し、研究科委員会へ通知する。	・研究科委員会は指導教員を決定し学生へ通知する。
後期	10	・講義科目を履修		
2年	次			,
前期	4	・研究課題に添って研究計画の 立案	・研究計画の立案を指導する。	
後期	10 ~	<ul><li>・研究倫理審査申請書を作成・申請し承認を得る。</li><li>・研究計画に従い研究を遂行する。</li><li>1年次</li><li>・予備実験、調査等を実施する。</li></ul>	・研究倫理審査委員会に提出する審査申請書の作成・審査・承認を得る。	・審査申請書を受理し、審査、承認する。
	1	7 777 777 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77	・研究の進行状況を確認する。	
3年	次		3130 1 C 14 (100 C 100 C)	
前	4	<u>2 年次(~9月)</u> ・本研究を開始し、研究成果を まとめる。	・指導教員はセミナーにおいて、研究遂行と研究成果のまと め方を指導する。	
期	6 7		・研究の進行状況を確認する ・発表内容の問題点等を指摘し 解決方法について指導する。	・指導教員以外から主査 1 名、副 査 2 名を決定し、学生へ通知する。
			中間発表会	
	10	論文の作成開始(中間発表の指導を踏まえ、論文をまとめる)問題点の指摘を受けて、追加実験・調査、分析等を行う。 10月~1月・修士論文を作成する。	・主査、副査は発表内容について指導する。 ・指導教員は、主査・副査から指摘された問題点の解決方法について指導する。 10月~1月 ・修士論文を指導する。	・公開の中間発表を開催する。
後				
期	1	・論文、論文要旨を提出する ・学位論文審査申請書を提出する。 ・主査、副査、指導教員の指導 を受けて論文を完成させる。	・主査、副査は発表内容について指導する。 ・指導教員は、主査・副査から 指摘された問題点の解決方法 について指導する。	
	2	・学生は、完成させた論文を所 定の期日 (2 月上旬) までに提 出する。	・主査及び副査が論文を審査	・研究科委員会は主査及び副査に よる論文の審査および最終試験の 判定結果並びに当該学生の単位取 得状況により修士課程の修了につ いて合否を判定する。
	3	・修士課程の修了、学位授与		・学位記を交付する。

## 研究指導のスケジュール(CNS を履修するコース)

				<b>业</b> 校人(开党到委员人)
年	次	学生	指導教員	教授会(研究科委員会) 学位論文審査委員会
受騎	前	・希望する主指導教員へ連絡・相談 する。	・研究計画、実務経験等をもとに、 副指導教員の選択について助言 する。	
1年	次 月			
前期	4	・希望する研究領域、主指導教員・ 副指導教員を研究科委員会へ提出 する。	・ガイダンスの実施 ・担当学生の研究課題を決定し、 研究科委員会へ通知する。 ・指導教員は学生に応じた受講科 目を指導する。	・研究科委員会は指導教員を決定し学生へ通知する。
	7	・対象者への実習記録に関する許諾 を倫理委員会に提出する。	・実習記録の許諾に関する指導を 行う。	
後	8 ~ 9	・精神看護学実習(アセスメント) ・精神看護専門看護師役割実習	・実習指導を行う。	
期	1 ~ 3	・直接ケア実習(2年次前期終了までの間の4週間)	・実習指導を行う。	
2年	次			
	4	・研究テーマの決定 ・研究計画書の作成 ・上級直接ケア実習(9月の間まで の2週間)	<ul><li>・研究テーマ及び計画書について 指導する。</li><li>・実習指導を行う。</li></ul>	
前期	5	・倫理審査申請書提出 ・研究課題を深める。	・倫理審査申請書の指導をする。 ・研究の進行状況を確認する。	・倫理申請書を受理し、審査、承認する。
	$ \begin{array}{c} 8 \\ \sim \\ 10 \end{array} $	・文献検討 ・スーパーバイズを受ける。	・研究テーマに即したスーパー ビジョンを行う。	・指導教員以外から主査1名、 副査2名を決定し、学生へ通 知する。
			中間発表会	
	11	・課題研究論文 (リサーチペーパー) の作成を開始する (中間発表の指導を踏まえ、論文をまとめる) ・1月までに課題研究論文 (リサーチペーパー) を完成させる。	・主査、副査は研究テーマに即して課題研究論文(リサーチペーパー)作成の指導をする。 ・指導教員は、主査・副査から指摘された問題点についてスーパーバイズを行う。	・公開の中間発表を開催する。
			論文発表会	
後期	1	・課題研究論文(リサーチへ・・ハ・・)、論文要旨を提出する。 ・学位論文審査申請書を提出する。 ・主査、副査、指導教員の指導を受けて論文を完成させる。	・主査、副査は発表内容について 指導する。 ・指導教員は、主査・副査から指 摘された問題点の解決方法につ いて指導する。	
	2	・学生は、完成させた課題研究論文 (リサーチペーパー)を所定の期日(2月 上旬)までに提出する。	・主査及び副査は提出された課題研究論文(リサーチペーパー)を審査するとともに、最終試験を行い、これらの結果を研究科委員会に報告する。最終試験は、提出された課題研究論文(リサーチペーパー)の内容および専門領域に関する学力について行う。	・研究科委員会は主査及び副 査による論文の審査および最 終試験の判定結果並びに当該 学生の単位取得状況により修 士課程の修了について合否を 判定する。
	3	・修士課程の修了および学位授与	·	・学位の授与は学位記を交付して行う。

#### 奈良学園大学大学院履修規程

#### (趣旨)

第1条 この規程は授業科目(以下「科目」という。)の履修方法等に関し、奈良学園大学大学院学則(以下「学則」という。)に定めるもののほか、必要な事項を定める。

#### (科目の開設)

- 第2条 学則第14条に基づき、毎学年の初めに科目の開設を行う。
- 2 科目の開設は、毎学年における授業科目、授業時間数及び授業担当教員を示すものとする。
- 3 看護学研究科の精神看護学分野においては、高度実践看護師養成課程「CNSを履修するコース」を設け、そのコースの1学年の定員は2名とする。

#### (履修の登録)

- 第3条 学生は、履修しようとする科目について、各学期の初めにおいて指定された期日までに所定の履修届を提出し履修科目の登録を行なわなければならない。
- 2 学生は、前項の履修登録をした後においては、履修登録した科目を任意に変更することができない。

## (指導教員)

- 第4条 専門分野の研究および授業の科目の履修を指導するため、学生ごとに指導教員を定める。
- 2 指導教員決定後変更のある場合には、奈良学園大学大学院 看護学研究科委員会の承認を得て、「指導教員変更届」を提出しなければならない。

#### (修了要件)

- 第5条 本大学院看護学研究科においては、基盤科目から必修6単位を含み10単位以上、専門科目から3つの分野のうち1つの分野を主たる分野として演習2単位を含む8単位以上及び他の分野から4単位以上の計12単位以上、研究科目から特別研究8単位を加え、合計30単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格することをもって修了要件とする。ただし、精神看護学分野の急性期精神看護学特論と地域移行支援精神看護学特論、実習科目は履修できないものとする。
- 2 看護学研究科のCNSを履修するコースにおいては、基盤科目16単位以上(国際医療特論、看護倫理特論、看護研究特論、臨床薬理学、病態生理学、フィジカルアセスメント12単位必修、コンサルテーション論、看護理論特論、看護教育学特論、看護管理学特論から4単位以上)、専門分野24単位以上(特論4科目8単位、演習2科目4単位、実習4科目10単位はそれぞれ必修、急性期精神看護学特論又は地域移行支援看護学特論からいずれか1科目2単位選択)、研究科目から課題研究4単位を加え、合計44単位以上を修得し、課題研究の成果の審査及び最終試験に合格することをもって修了要件とする。
- 3 本大学院リハビリテーション学研究科においては、基盤科目から必修6単位を含み10単位以上、専門科目から2つの分野のうち1つの分野を主たる分野として特別演習4単位を含む8単位以上、他の分野の特論科目から2単位以上、基盤科目又は他の分野の特論科目から2単位以上を修得し、研究科目から特別研究8単位、合計30単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

#### (履修の禁止)

- 第6条 次に揚げる科目は履修することができない。
  - (1) 履修登録をしていない科目
  - (2) 既に単位を修得した科目
  - (3)授業時間が重複する科目

#### (単位の認定)

- 第7条 各科目の単位の認定は、試験の成績により行い、合格者に所定の単位を与える。 (試験)
- 第8条 試験は、筆記試験、口述試験、論文提出その他とする。
- 2 試験は、原則として担当教員が実施する。

#### (受験資格)

第9条 履修する科目の出席時間数が、当該科目の授業時間数の3分の2以上出席した学生には、その科目の受験を認める。ただし、出席時間数が3分の2以上に達しない者のうち、やむを得

ない理由による欠席については、担当教員が受験資格を認めることがある。なお、授業料を滞納している学生には全科目、受験資格を与えないものとする。

#### (追試験)

- 第10条 追試験は、急病その他やむを得ない正当な理由により試験を欠席した者に対して行う。
- 2 前項の規定により追試験を受けようとする者は、その科目の担当教員の許可を得たうえ、必要書類を添えて、追試験受験願を教務課へ提出するものとする。
- 3 第1項に規定する正当な理由及び第2項に規定する必要書類とは、次の各号によるものとする。
  - (1) 正規の通学手段による事故、悪天候等での遅延とし、必要書類は、事故証明書または遅延証明書等とする。
  - (2)病気、負傷等による通院及び入院とし、必要書類は、診断書等とする。
  - (3) 忌引きとし、必要書類は、葬儀礼状等とする。
  - (4) その他事情やむを得ないと認められるものとし、その日時に欠席しなければならなかったことを証明する文書等とする。

#### (再試験)

- 第11条 試験において不合格の評価を得た学生に対して1回を限度として再試験を実施すること ができる。
- 2 前項の規定により再試験を受けようとする者は、再試験手続き日に、再試験受験料を添えて、 再試験受験願を教務課へ提出するものとする。
- 3 再試験の受験料は別に定める。

(再試験、追試験の成績の評価)

- 第12条 再試験の成績の評価は、可(60点)を最高点とし、担当教員が行うものとする。 また、追試験の成績の評価は、秀(90点)をもって満点とし、秀(90点)、優(80点以上90点未満)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)、不可(60点未満)とする。
- 2 2 人以上の教員により授業を分担する科目については、当該科目を分担する教員の合議により成績の評価を行なうものとする。

#### (最終試験の成績評価)

第13条 学則第22条での最終試験の成績は、合格又は不合格の評価をもって表す。

#### (試験における不正行為)

第14条 試験において不正行為があったときは、当該不正行為に係る科目の試験及び当該試験 期間中に既に受験した科目の試験は無効とし、当該試験期間中の以後の受験を認めないもの とする。

#### (再履修)

第15条 成績の評価が不合格となった科目について単位を修得しようとするときは、当該学期以 降に改めて履修届を提出し、再履修しなければならない。

#### (雑則)

第16条 この規程に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は、研究科委員会の議を経て、学 長がこれを定める。

## 附則

この規程は平成30年4月1日から施行する。

#### 附貝

この規程は令和2年6月1日から施行する。

## 附則

この規程は令和5年4月1日から施行する。

## 奈良学園大学大学院学位規程

(目的)

第1条 この規程は、学位規則(昭和28年4月1日文部省令第9号)、奈良学園大学大学院学則に基づき、奈良学園大学大学院(以下「本学大学院」という。)において授与する学位の種類、論文審査、その他学位に関して必要な事項を定めるものとする。

#### (学位の種類)

第2条 本学大学院において授与する学位は、次のとおりとする。

研究科	専攻	学位
看護学研究科	看護学専攻	修士 (看護学)
リハビリテーション学研究科	リハビリテーション学専攻	修士 (リハビリテーション学)

#### (学位の授与)

第3条 学長は、広い視野に立って深い学識を修め、看護学もしくはリハビリテーション学における研究能力または高度な専門性を必要とする専門職者として高い能力を有する者に対し、本学大学院学則第2 3条の定めるところにより、所定の学位を授与する。

#### (学位の授与の要件)

第4条 修士の学位は、本学大学院学則第22条の定めにより課程の修了を認定された者に授与する。 (審査機関)

第5条 本学大学院における、論文審査及び申請手続きに関する事項の決定は、学長の付託に基づき 本学大学院学則第28条に定める研究科委員会が行う。

## (論文審査の申請)

第6条 本学大学院学則第22条に定める論文の審査を申請できる者は、研究科委員会が本学大学院学 則で定める修了の期日に修了し得ると認めた者で、かつ修了の期日まで在籍し得る者とする。

#### (申請方法及び申請書類)

第7条 修士課程に在籍する者が修士の学位を申請をするときは、所定の修士論文または課題研究論 文審査申請書に修士論文または課題研究論文4部を添え、所定の期日までに研究科長を経て学長へ 提出するものとする。

## (申請の受付と受理の決定)

第8条 論文審査の申請があった場合には、学長はその審査を研究科委員会に付託する。

#### (審査)

第9条 修士論文及び課題研究論文の審査は、主査1名、副査2名で行う。

2 研究科委員会は、主査および副査による論文の審査および最終試験の判定結果並びに当該学生 の単位取得状況により修士課程の修了について合否を判定する。

## (学位の名称)

第10条 学位記を授与された者が、学位の名称を用いるとき、学位の次に(奈良学園大学)を附記するものとする。

#### (学位授与の取消)

第11条 学位を授与された者が、その名誉を汚辱する行為をしたとき、または不正に学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は、研究科委員会の議決を経て、学位の授与を取り消し、学位記を還

付させることがある。

2 研究科委員会において、前項の議決をするには、構成員の3分の2の出席と、出席者3分の2以上の賛成を必要とする。

(学位記の再交付)

第12条 学位記の再交付を受けようとするときは、その理由を具し、学長に願い出なければならない。 (規程の改正)

第13条 この規程の改正については、研究科委員会が発議し、大学院委員会の議を経て、学長がこれを定める。

(雑則)

第14条 この規程に定めるもののほか、学位の授与に関して必要な事項は、研究科委員会の議を経て、 学長がこれを定める。

## 附則

この規程は平成30年4月1日から施行する。

#### 附則

この規程は令和2年2月1日から施行する。

#### 附則

この規程は令和5年4月1日から施行する。

## 奈良学園大学大学院学則

制 定 平成30年 4月 1日 最近改正 令和 5年 4月 1日

第1章 総則

(大学院の目的)

第1条 奈良学園大学大学院(以下、「本大学院」という。)は、教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、奈良学園大学の建学の精神と教育理念に則り、学部における一般的・専門的教養の基礎の上に、高度にして専門的な学術の理論とその応用を教授・研究し、または高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識と卓越した能力を培い、もって社会の発展及び文化の進展に寄与することを目的とする。

(自己点検・評価)

第2条 本大学院における自己点検・評価については、奈良学園大学学則(以下「本学学則」という。) 第2条の規定を準用する。

(情報提供)

第3条 本大学院における情報の公開については、本学学則第3条の規定を準用する。

第2章 組織及び修業年限、学年、学期及び休業日

(組織)

第4条 本大学院に修士課程を置く。

(研究科、専攻及び学生定員)

第5条 本大学院に置く研究科、専攻及びその学生定員は次の通りとする。

研究科名	専攻名	入学定員	収容定員
看護学研究科	看護学専攻	8人	16人
リハビリテーション学研究科	リハビリテーション学専攻	4 人	8人

(教育研究上の目的)

- 第6条 本大学院の研究科、専攻における教育研究上の目的は次の通りとする。
  - (1) 看護学研究科看護学専攻

教育理念に基づき、在宅看護、育成看護、精神看護分野における専門性を深め、国内外で活躍することができる高度な看護実践者と看護の各分野における実践的教育の担い手及び研究者を育成することを目的とする。

(2) リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻

本研究科では、多様化する保健・医療のニーズに対応できる科学的根拠に基づいた臨床実践力を養うとともに、地域・施設現場におけるリハビリテーション医療の複雑化、多様な障害像に主体的、多面的なアプローチとあわせ社会貢献に尽力する高度専門職業人を育成することを目的とする。

(修業年限)

第7条 本大学院の修業年限は、2年とする。

(在学年数)

第8条 学生は、4年を超えて在学することができない。ただし、第9条の規定する長期履修を選択した学生(以下「長期履修学生」という。)は、5年を越えて在学することができない。

- 2 前項の規定に関わらず、第34条の規定により入学した学生は、就業すべき年数に2年を加えた年数を超えて在学することはできない。
- 3 前2項に規定する在学期間には、休学期間は算入しない。

(長期履修学生)

- 第9条 本大学院看護学研究科及びリハビリテーション学研究科においては、学生が職業を有している等の事情により、標準年限を超えて計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。
- 2 前項に関する必要な事項は、別に定める。

(学年)

第10条 本大学院の学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第11条 学年を、次の2学期に分ける。

前期 4月1日から9月15日まで

後期 9月16日から翌年3月31日まで

2 前項の規定にかかわらず、学長は前期の終期及び後期の始期を変更することができる。 (休業日)

第12条 休業日は、次の通りとする。ただし、夏期、冬期及び春期休業の期間は、年度毎に定める 学年暦によるものとする。

日曜日

国民の祝日に関する法律に規定する休日

大学創立記念日 11 月 1 日

夏期休業

冬期休業

春期休業

2 前項の規定にかかわらず、学長は、臨時に休業日を変更し、もしくは臨時に休業日を設け、又は 休業日に授業を設けることができる。

(授業期間)

第13条 1年間の授業を行う期間は、試験等の期間を含め、35週を下らないものとする。

第3章 教育課程及び教育方法

(教育課程)

- 第14条 本大学院の教育は、授業科目の授業及び修士論文の作成等に関する指導により行うものとする。
- 2 授業科目及び単位数は、別表第1の通りとする。
- 3 授業科目の履修方法その他の必要な事項は別に定める。

(単位の計算方法)

- 第15条 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成する事を標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により算定するものとする。
  - (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本大学院が定める時間の授業をもって1単位とする。
  - (2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で本大学院が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

(単位の授与)

- 第16条 各授業科目を履修し、その試験又は論文審査に合格した者には、学長は、認定の上、所定の単位を与える。
- 2 各授業科目について、所定の出席時間数に達した学生に限り、その授業科目を履修したものとみなす。

(成績の評価)

- 第17条 授業科目の成績の評価は、秀、優、良、可、不可をもって表わし、秀、優、良、可を合格 とし、不可を不合格とする。
- 2 前項の評価は、100 点をもって満点とし、秀 (90 点以上)、優 (80 点以上 90 点未満)、良 (70 点以上 80 点未満)、可 (60 点以上 70 点未満)、不可 (60 点未満) とする。

(本大学院以外の大学院の科目の履修)

- 第18条 学長は、学生に対して教育上有益と認めるときは、他の大学院との協議に基づき、学生に 当該大学院の科目を履修させることができる。
- 2 前項の規定により学生が修得した授業科目の単位は、10単位を超えない範囲で本大学院における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(本大学院以外の教育施設等における研究指導)

- 第19条 学長は、学生に対して教育上有益と認めるときは、他の大学院又は研究所等との協議に基づき、学生に当該大学院又は研究所等において必要な研究指導を、1 年を超えない範囲で受けさせることができる。
- 2 前項の規定により受けた研究指導は、本大学院の修了要件となる研究指導として認めることができる。

(入学前の既修得単位の認定)

- 第20条 学長は、学生に対して教育上有益と認めるときは、本大学院の入学前に他の大学院において履修した科目について修得した単位を、本大学院において修得した科目について修得したものとみなすことができる。
- 2 前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は、第19条第2項の規定により修 得した単位と合せて10単位を超えないものとする。

(教育方法の特例)

第21条 本大学院看護学研究科及びリハビリテーション学研究科において教育上特別の必要がある と認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において、授業又は研究指導等により教 育を行うことができる。

第4章 課程の修了及び学位の授与

(課程の修了)

- 第22条 本大学院に2年以上在学し、所定の科目を30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に対し、研究科委員会の議を経て、学長が修了を認定する。
- 2 前項に規定する修士論文の審査は、修士課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題 についての研究の成果の審査をもってこれに代えることができる。

(学位の授与)

第23条 学長は、前条による修了者に対し、修士の学位を授与する。

2 本大学院において授与する学位は、次のとおりとする。

研究科	専攻	学位
看護学研究科	看護学専攻	修士 (看護学)
リハビリテーション学研究科	リハビリテーション学専攻	修士 (リハビリテーション学)

#### 第5章 教職員組織

(教員)

第24条 本大学院の授業及び研究指導は、大学院設置基準に規定する資格を有する本学の教員が担当する。ただし、研究科委員会の議を経て、兼任教員に授業の担当を委嘱することができる。 (事務組織)

第25条 本大学院に関する事務は、学部の事務組織がこれにあたる。

(大学院委員会)

- 第26条 本大学院に、大学院の教育研究に関する事項を審議するため、大学院委員会を置く。
- 2 大学院委員会は学長と研究科長、および研究科の担当教員の内から学長が指名した教員をもって構成する。
- 3 前項の規定に関わらず、学長は、他の職員を出席させることができる。
- 4 大学院委員会は次の事項を審議する。
- (1) 大学院の学則の制定および改廃に関する事項
- (2) 研究科委員会から上申された事項
- (3) その他大学院に関する重要事項
- 5 大学院委員会の運営等に関する事項は別に定める。

(研究科長)

- 第27条 本大学院の看護学研究科とリハビリテーション学研究科にそれぞれ研究科長を置く。研究 科長は研究科の学務を統督する。
- 2 研究科長は、研究科の担当教員のうちから学長が指名し、研究科委員会の委員長となる。
- 3 研究科長の任期は2年とし、再任を妨げない。 (研究科委員会)
- 第28条 看護学研究科に看護学研究科委員会、リハビリテーション学研究科にリハビリテーション学研究科委員会を置く。
- 2 研究科委員会は、研究科長、研究科で授業等を担当する教員をもって構成する。
- 3 前項の規定に関わらず、研究科長は、他の職員を出席させることができる。
- 4 研究科委員会は、次の事項を審議する。
  - (1) 大学院委員会から諮問された事項
  - (2) 学則等諸規定に関する事項
  - (3) 研究科の課程及び学生の教育に関する事項
  - (4) 研究の指導及び論文の審査に関する事項
  - (5) 単位認定、課程修了認定並びに学位授与に関する事項
  - (6) 学生の厚生補導及びその身分に関する事項
  - (7) 大学院担当教員の配置に関する事項
  - (8) その他大学院に関する事項

- 5 研究科長は、研究科委員会を招集し、その議長となる。ただし、研究科長に事故あるときは、研究科長があらかじめ指名した教授が議長となる。
- 6 その他研究科委員会に関する規則は、別に定める。

第6章 入学、退学、休学等

(入学の時期)

第29条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

- 第30条 本大学院に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
  - (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者
  - (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
  - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
  - (4) 文部科学大臣の指定した者
  - (5) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が定める日以後に修了した者
  - (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力がある と学長が認めた者
- 2 看護学研究科看護学専攻においては、看護師免許を取得している者 (入学志願)
- 第31条 本大学院に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。
- 2 提出の時期、方法、同時に提出すべき書類については、別に定める。

(入学者の選考)

第32条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学に関する手続き)

- 第33条 入学を許可された者は所定の期日までに指定する書類を提出するとともに、所定の納付金 を納入しなければならない。
- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(編入学及び転入学)

第34条 学長は、本学への入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

(退学)

- 第35条 退学しようとする者は、その理由を記載し、学長の許可を得なければならない。 (休学)
- 第36条 疾病その他やむを得ない理由により就学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。
- 第37条 休学の期間は、1年以内とする。ただし、特別の事情がある場合は、1年に限り延長することができる。
- 2 休学の期間は、通算して2年を超えることができない。
- 3 休学の期間は、第8条の在学年数には算入しない。 (復学)
- 第38条 休学期間満了のとき又は休学の期間中であってもその理由が消滅したときは、学長の許可 を得て復学することができる。

(除籍)

- 第39条 次の各号にいずれかに該当する者は、研究科委員会の議を経て学長が除籍する。
  - (1) 第8条に規定する在学年数を超えると認められる者
  - (2) 休学期間を満了し、復学を願い出ない者
  - (3) 死亡又は3ヶ月以上所在不明の者
  - (4) 履修科目登録をせず、連絡のない者
  - (5) 授業料の納付を怠り、督促に対しても納付しない者 (留学)
- 第40条 外国の大学院に留学することを志望する者は、学長の許可を得て留学することができる。
- 2 前項の留学期間は在学期間に含めることができる。

(再入学)

第41条 退学者及び第39条第4号又は第5号により除籍された者が、再入学を願い出た場合は、 学長が学年の始めに限りそれを許可することがある。

第7章 授業料等納付金、入学金及び入学検定料

(授業料等の金額)

- 第42条 本大学院の授業料等納付金は、別表第2の通りとする。
- 2 入学金及び入学検定料は、別表第3の通りとする。

(授業料等納付金の納入方法及び時期)

第43条 授業料等納付金等の納入金は、年額の2分の1ずつを2期にわけて納入し、納入時期は別表第4の通りとする。

(退学等の場合の授業料等)

- 第44条 学生が退学し、もしくは除籍された場合にあっても、当該期の授業料等を納入しなければならない。ただし、第39条第4号及び第5号の理由により除籍された者は、この限りでない。 (休学及び復学の場合の授業料等)
- 第45条 休学した者については、休学した期間の授業料等を免除又は減額することができる。ただし、学期の中途において休学した者は、原則当該期の授業料等を納入しなければならない。 (その他の費用)
- 第46条 授業料等納付金、入学金のほか実験実習費その他の教育に必要な費用を納入させることがある。
- 2 前項に定める納入金の種類及び納入に必要な手続き等については、別に定める。

(授業料等納付金の不環付)

第47条 既納の授業料等納付金は、原則として返還しない。ただし、入学許可を得た者で、指定の期日までに入学の取消しを願い出た者については、入学金又はこれに相当する金額を除く学費を返還することがある。

(学費の延納等)

第48条 正当な事由により学費を延納又は分納しなければならなくなったときは、直ちにその旨届 け出て許可を得なければならない。

第8章 賞罰

(表彰)

第49条 学業、操行ともに優秀な者又は特殊の善行があって他の模範となる者に対しては、学長は 研究科委員会の議を経て表彰することができる。

(懲戒)

第50条 本大学院の規則等に違反し又は本学の学生として本分に反する行為があったときは、学長

は研究科委員会の議を経て懲戒する。

- 2 前項の懲戒は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当すると認められる学生に対して行う。
  - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
  - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
  - (3) 正当の理由がなくして出席が常でない者
  - (4) 本大学院の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

## 第9章 雜則

(学則の改廃)

第51条 本学則の改廃は、評議会及び大学院委員会の承認を得て、理事会の議を経て行うものとする。

## 附則

この学則は、平成30年4月1日から施行する。

## 附則

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1 看護学研究科看護学専攻

科目区分		拉米利日の女社	単位	単位数	
个	4日区分	授業科目の名称	必修	選択	
		国際医療特論	2		
		国際看護特論		2	
		ヘルスプロモーション特論		2	
		看護倫理特論	2		
	基	コンサルテーション論		2	
	盤	看護理論特論		2	
	科	看護教育学特論		2	
	I	看護管理学特論		2	
		臨床薬理学		2	
		病態生理学		2	
		フィジカルアセスメント		2	
		看護研究特論	2		
		在宅看護学特論 I (在宅看護学)		2	
	在宅 看護学 分野	在宅看護学特論Ⅱ(慢性期)		2	
		在宅看護学特論Ⅲ(回復支援)		2	
		在宅看護学特論IV(地域包括支援)		2	
		在宅看護学特論演習		2	
		育成看護学特論 I (発達支援)		2	
	育成	育成看護学特論Ⅱ(次世代育成支援)		2	
	看護学	育成看護学特論Ⅲ(リプロダクティブヘルス・ケア)		2	
	分野	育成看護学特論IV(家族支援)		2	
専		育成看護学特論演習		2	
門		精神看護学特論 I (歴史・法制度)		2	
科		精神看護学特論Ⅱ (精神・身体状態の評価)		2	
目		精神看護学特論Ⅲ(精神科治療技法)		2	
		精神看護学特論IV(精神看護理論、援助技法)		2	
	精神	地域移行支援精神看護学特論		2	
	看護学	急性期精神看護学特論		2	
	分野	精神看護学演習 I (精神科治療技法)		2	
	(CNS)	精神看護学演習Ⅱ(精神看護理論、援助技法)		2	
		精神看護学実習 アセスメント		2	
		精神看護専門看護師役割実習		2	
		直接ケア実習		4	
		上級直接ケア実習		2	
7	T 202 日	特別研究		8	
佴	开究科目	課題研究		4	

# リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻

±)		授業科目の名称		単位数	
科目区分		1又来付日 07 石 47		選択	
		教育心理学特論		2	
		リハビリテーション教育学特論		2	
		医療管理特論		2	
		研究方法特論	2		
	基盤	研究倫理特論	2		
	科 目	統計解析特論		2	
		医療政策特論		2	
		専門職間連携特論	2		
		リハビリテーション技術特論		1	
		リハビリテーション研究特論		2	
	臨床実践 リハビリ テーショ ン学分野	運動機能障害リハビリテーション学特論		2	
		内部機能障害リハビリテーション学特論		2	
		高次脳機能・心理障害リハビリテーション学特論		2	
専門		臨床支援特別演習		4	
科 目		地域リハビリテーション・ケア学特論		2	
	生活支援 リハビリ	疼痛ケア・リハビリテーション学特論		2	
	テーション学分野	高齢者リハビリテーション学特論		2	
		生活支援特別演習		4	
研究 科目	リハビリテ	ーション学特別研究	8		

## 別表第2

## 授業料等納付金

費目	授業料・教育充実費 (年額)
区分	
看護学研究科	750,000 円
リハビリテーション学研究科	

<sup>※</sup>CNS を履修するコースを選択する場合は、2 年次において年額 100,000 円を追加する。

## 別表第3

## 入学金及び入学検定料

費目	入学金	入学検定料
区分		
本学卒業生	50,000 円	35,000 円
他大学等卒業生	200,000 円	35,000 円

## 別表第4

## 授業料等納付金の納入方法及び時期

区 分	納入期限
前期(4月1日から9月15日まで)	4 月中
後期(9月16日から翌年3月31日まで)	10 月中

## 奈良学園大学大学院における長期履修学生に関する申し合わせ

制 定 平成30年 6月 6日 最近改正

(趣旨)

第1条 奈良学園大学大学院学則(以下「学則」という。)第9条第2項に基づき、標準修業年限を 超えて計画的な教育課程の履修(以下「長期履修」という。)に関する取扱いについて必要な事項を 定める。

(申請資格)

第2条 長期履修の申請をすることができる者は、大学院の入学選考結果に基づき合格となった者であって、原則として、職業を有している等の事情により標準修業年限での修業が困難である者とする。

(申請)

第3条 長期履修を申請する者は、出願時に申し出なければならない。

(申請の許可)

- 第4条 前条の申請に対しては、研究科委員会の議を経て、学長が許可する。
- 2 研究科長は、前項の承認及び許可にあたり、各年次の履修単位の上限を設けることができる。 (長期履修期間)
- 第5条 長期履修が認められる期間(以下「長期履修期間」という。)の限度は、3年とする。なお、 在学できる年数は、学則第8条第1項及び第2項に定める在学期間内とする。
- 2 長期履修は1年を単位とし、学年の途中から開始することはできない。
- 3 長期履修期間の延長は、認めない。

(授業履修の指導)

第6条 指導教員は、長期履修学生の履修期間に授業履修が計画的に行われるよう必要な指導を行う ものとする。

(長期履修期間の短縮)

- 第7条 長期履修を許可された者(以下「長期履修学生」という。)が、事情の変更等により長期履 修期間の短縮を希望する場合は、1年次の12月中に指導教員と相談の上、長期履修期間短縮願を 提出しなければならない。
- 2 前項の願については、研究科委員会の議を経て、学長が許可する。
- 3 長期履修期間の短縮は、在学中1回に限る。 (授業料)
- 第8条 授業料は、標準年限に納入すべき授業料等の額(年額×2)を長期履修が認められた3年で除した額とする。
- 2 諸費等については、各年度に通常の在学生と同額を徴収するものとする。
- 3 長期履修を許可した場合は、標準修業年限を超える履修期間については授業料等を徴収しないものとする。
- 4 許可された長期履修期間を超えた場合は、通常の在学期間の授業料等を徴収するものとする。
- 5 長期履修の短縮が認められた場合は、本来授業料等との差額を徴収するものとする。 (雑則)
- 第9条 この申し合わせに定めるもののほか、長期履修に関し必要な事項は、研究科委員会において、 別に定めることとする。

(改廃)

第10条 この申し合わせの改廃は、研究科委員会の議を経て、学長がこれを行う。

附則

この申し合わせは、平成30年6月6日から施行し、平成30年度に研究生となる者から適用する。

## 長期履修申請書

令和	年	月	日
11 (11)		/1	$\vdash$

奈良学園大学 学長 様		
	看護学研究科 看護学専攻 学籍番号又は受験番号: ふりがな 氏 名:	— <sub>-</sub> 印
下記のとおり長期履修を申請します。		
Î	記	
1.入学(予定)年度 令和 年度		
2.長期履修申請期間 令和 年 月	日 ~ 令和 年 月 日( 年間)	
3.申請理由  □仕事の都合 □介護のため □育児の対 長期履修が必要となる理由を記入して (例)職業を有しており、通常の在学期	ください	

## 4.履修計画

履修計画を簡潔に記入してください。

(例) 職業を有しており、通常の在学期間での修了困難なため

1年目:基盤科目○単位の履修・修士論文の研究 2年目:専門科目○単位の履修・修士論文の研究 3年目:専門科目○単位の履修・修士論文の作成

## 長期履修期間短縮願

令和 年 月 日

奈良学園大学 学長 様

				看護学研究 学籍番号:				
				ふりがな 氏 名:				
下記の理由により、長	期履修期	間を短	縮した	いので、許可く	ださる	ようお	顔いしま	す。
				記				
1.入学年度	令和	年度						
2.許可済の履修期間	令和	年	月	日 ~ 令和	年	月	日	
3.短縮後の履修期間	令和	年	月	日 ~ 令和	年	月	日	
4.長期履修期間短縮理由								
5.短縮後の履修計画								
6.指導教員の所見								
					指	導教員	名	

#### 奈良学園大学大学院 看護学研究科看護学専攻 教育課程科目表 (2024年度)

連番	科目の ナンバ リング	区	分	科目名	科目責任者	単 位 数	配当年次	時	間数	<b>●</b> ···(			CNS 区分
1	MN1a100	基		国際医療特論	臼井	2	1前	15	30		*	必修	
2	MN2a101	基盤科目		国際看護特論	上野	2	1後	15	30		☆		
3	MN2a102	目		ヘルスプロモーション特論	臼井	2	1後	15	30		☆		
4	MN1a103			看護倫理特論	池辺	2	1前	15	30	0	*	必修	共A
5	MN2a304			コンサルテーション論	上野	2	1・2前	15	30	0	☆	CNS	共A
6	MN2a105			看護理論特論	西薗	2	1後	15	30	0	☆	2 科目	共A
7	MN2a106			看護教育学特論	西薗	2	1後	15	30	0	☆	4 単位以	共A
8	MN2a107			看護管理学特論	西薗	2	1後	15	30	0	☆	上選択	共A
9	MN2a308			臨床薬理学	五味田	2	1・2後	15	30	•	☆		共B
10	MN2a309			病態生理学	平野	2	1・2前	15	30	•	☆	CNS 必修	共B
11	MN2a310			フィジカルアセスメント	山内	2	1・2前	15	30	•	☆		共B
12	MN1a111			看護研究特論	上野	2	1前	15	30	0	*	必修	共A
13	MN2b100	車	在	在宅看護学特論I(在宅看護学)	臼井	2	1前	15	30		☆		
14	MN2b101	専門科	在宅看護学分野	在宅看護学特論Ⅱ(慢性期)	臼井	2	1前	15	30		☆		
15	MN2b102	目	護	在宅看護学特論Ⅲ(回復支援)	臼井	2	1後	15	30		☆		
16	MN2b103		子分	在宅看護学特論IV(地域包括支援)	臼井	2	1後	15	30		☆		
17	MN2b204		野	在宅看護学特論演習	臼井	2	2 前	15	30		☆		
18	MN2c100		音	育成看護学特論 I (発達支援)	小池	2	1前	15	30		☆		
19	MN2c101		育成看護学分野	育成看護学特論Ⅱ(次世代育成支援)	服部	2	1前	15	30		☆		
20	MN2c102		護	育成看護学特論Ⅲ(リプロダクティブヘルス・ケア)	服部	2	1後	15	30		☆		
21	MN2c103		子分	育成看護学特論IV(家族支援)	小池	2	1後	15	30		☆		
22	MN2c204		野	育成看護学特論演習	服部	2	2 前	15	30		☆		
23	MN2d100		結	精神看護学特論 I (歴史・法制度)	上野	2	1前	15	30	•	☆	CNS 必修	С
24	MN2d101		精神看護学分野	精神看護学特論Ⅱ(精神・身体状態の評価)	上野	2	1前	15	30	•	☆	CNS 必修	
25	MN2d102		<b></b>	精神看護学特論Ⅲ(精神科治療技法)	上野	2	1前	15	30	•	☆	CNS 必修	精精
26	MN2d103		字分	精神看護学特論IV(精神看護理論、援助技法)	上野	2	1後	15	30	•	☆	CNS 必修	神系
27	MN2d104		野	地域移行支援精神看護学特論	上野	2	1後	15	30	0	☆	CNS1 科目	護
28	MN2d105			急性期精神看護学特論	上野	2	1後	15	30	0	☆	2 単位選択	NS精神看護専攻教育課程
29	MN2d106			精神看護学演習 I (精神科治療技法)	上野	2	1 前	15	30	•	☆	CNS 必修	教育
30	MN2d107			精神看護学演習Ⅱ(精神看護理論、援助技法)	上野	2	1後	15	30	•	☆	CNS 必修	課
31	MN2d108			精神看護学実習 アセスメント	上野	2	1 前	45	90	•	☆	CNS 必修	程
32	MN2d109			精神看護専門看護師役割実習	上野	2	1後	45	90	•	☆	CNS 必修	
33	MN2d310			直接ケア実習	上野	4	1後-2前	45	180	•	☆	CNS 必修	
34	MN2d211			上級直接ケア実習	上野	2	2 通	45	90	•	☆	CNS 必修	
35	MN2e300	私力	THE STATE	特別研究	上野	8	1-2 通	15	120		☆	修士選必	
36	MN2e201	科目	兖	課題研究	上野	4	2 通	15	60		☆	CNS 選必	
	計				_	_	_	_	_	38	44		

基盤科目から必修6単位を含み10単位以上、専門科目から3つの分野のうち1つの分野を主たる分野として演習2単位を含む8単位以上及び他の分野から4単位以上の計12単位以上、研究科目から特別研究8単位を加え、合計30単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、精神看護学分野の急性期精神看護学特論と地域移行支援精神看護学特論、実習科目は除く。

CNSを履修するコースにおいては、基盤科目 16 単位以上(国際医療特論、看護倫理特論、看護研究特論、臨床薬理学、病態生理学、フィジカルアセスメント 12 単位必修、コンサルテーション論、看護理論特論、看護教育学特論、看護管理学特論から 4 単位以上)、専門分野 24 単位以上(特論 4 科目 8 単位、演習 2 科目 4 単位、実習 4 科目 10 単位はそれぞれ必修、急性期精神看護学特論又は地域移行支援看護学特論からいずれか 1 科目 2 単位選択)、研究科目から課題研究 4 単位を加え、合計 44 単位以上を修得し、課題研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。

					01
科目名			国際医療特論		
担当教員		臼井キミカ、上!	野栄一、速水裕子、森	<b></b> 森山美知子	
クラス	_	開講学期	前期	対象学年	1年
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義 (一部演習)
単位区分 授業の概要	必修 諸外国と日本の医療制度 ディスカッションを行う		アの受け手にとって必	2単位 公要なケア・サービン	ス・制度について
授業の目標	1. 保健医療における法や 2. 諸外国と日本の医療制 3. 医療制度と地域の歴史	制度の意義について 度を比較ができる。			
育成する能力	医療制度を多角的に捉えする。	ることができ,グロ	ューバルな視点で保険	<b>津政策への提言を可</b> 能	能にする力を修得
	1 ガイダンス グロー	・バリゼーションと	医療 医療制度とは	- 日・米・英の比較	なから (上野、臼井)
	2 世界の医療制度を概律	観する			(上野)
	3 医療の歴史から今私だ	たちは何を学ぶか①	)		(臼井)
授業計画	4 医療の歴史から今私	たちは何を学ぶか②	)		(森山)
	5 関心を持った国の医療	療制度と地域の歴史	マ・文化,政治・経済		VIII 17
	6 5の発表・意見交換			(臼井・ゲストスヒ	
	7 国際機関の役割り, 身	最近の研究トピック	ス, 研究と保健政策	<u>(臼井・ゲストスヒ</u> の関係を考える	
	8 7のまとめ/ディスカ	<b>ツション</b>			(臼井、速水)
	9 国内外の補完代替医療	寮−海外における受	け止め方と文化的背景		(臼井、速水)
	10 9のまとめ/ディスカ	<b>゚</b> ッション			ピーカー室谷牧子)
	11 スウェーデンにおけ	る医療制度		(臼井・ゲストスト	ピーカー室谷牧子)
	12 フィンランドにおけ	る医療制度			(森山)
	13 国際協力機関の役割				(森山)
	   14 日本の国際協力の実際	祭 - 保健医療協力	」を事例として	(臼井・ゲストスヒ	ピーカー前原園代)
	15 まとめ			(臼井・ゲストスヒ	ピーカー前原園代)
テキスト	適宜紹介する				(臼井、上野)
<ul><li>参考書</li><li>予習・復習に</li></ul>	予定している授業テーマ	については. 文献を	と積極的に探してクラ	ラスで共有しましょう	<u> </u>
ついての情報	オンライン授業(ZOOMを	•			
授業の形式 評価の方法(	授業)を対面授業を組み		(A > ) \ > [*, 01a	33100㎜、こ プ目 日任	マハノムで用いた
評価の方伝 評価の配点比 率と評価の要 点)	課題レポート(60%)、各ラ	ーマへの取り組み	(40%)		
課題に対する フィート・ハ・ック等					
教育課程内の 位置づけ	大学院-基盤科目				
その他					

ゲストスピーカー 中野美加先生 オーストラリアからオンライン接続

-					02
科目名			国際看護特論		
担当教員		上野栄一、	臼井キミカ、酒井明子、山	本恵	
クラス	_	開講学期	後期	対象学年	1年
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義 (一部演習)
単位区分 授業の概要	るために必要な知識と技行いて、国内外の文献検討?	析を学ぶ。文化に を通して関心の	看護の現状と健康課題を理り 的背景や医療制度および福 ある健康問題を選択し、解	祉制度等から生 決手法を探索す	じた健康問題につ
授業の目標			護の視点から解決策を検討 実践の例を具体的に説明で		
育成する能力	国内外の看護の現状や健康点を持って看護問題の解説	康課題について	理解し、国際的に看護活動		力と、国際的な視
	1 オリエンテーション グローバリゼーション				(上野)
	2 看護におけるダイバー	-シティ&インク	フルージョン理解の有効活用	Ħ	(上野)
	3 SDGsから読み取る世界	早の健康課題を記	売み解く		
授業計画	4 世界の健康課題におけ	ける看護職の役割	削りに関するディスカッショ	ョン	(上野)
	5 在日外国人の健康問題	<u> </u>			(上野)
	6 EPA制度 外国人看護	師との協働をど	のように推進できるか		(山本)
	7 オーストラリアの終末	<b>に期ケアの実際</b>	/ ~	7.4. ビットット	
	8 7のまとめ				ペーカー中野美加)
	9 災害が健康や生活に与	チえる影響につV		コ开・ケストス に	ピーカー中野美加)
	10 災害看護に関する世界	アの動き			(酒井)
	11 国際看護における研究	ピ・国際誌への <b>担</b>	<b>设稿</b>		(酒井)
	   12   異文化看護の理解①	カナダ			(酒井)
	13 異文化看護の理解②	オランダ			(臼井)
	14 異文化看護の理解③	デンマーク			(臼井)
	15 異文化看護の理解④	2. 2			(臼井)
テキスト	プレゼンテーション・ 適宜指示します	まとめ			(上野、臼井)
・参考書 予習・復習に ついての情報	海外の保健・医療・福祉	<ul><li>看護に関する</li></ul>	文献を積極的に調べてくだ	さい。	
授業の形式	   オンライン授業 (ZOOMを見   授業) と対面授業を組みる		業やオンデマンド, Classro	oomなど学習管理	システムを用いた
評価の方法 ( 評価の配点比 率と評価の要 点)			み 30%, 最終プレゼンテー	ション20%	
課題に対する フィードバック等					
教育課程内の位置づけ	大学院-基盤科目				
その他					

| ゲストスピーカー 中野美加先生 オーストラリアからオンライン接続

					03					
科目名		ヘル	スプロモーション特論							
担当教員		臼井キ	ミカ、上野栄一、蓮池光	台人						
クラス	_	開講学期	後期	対象学年	1年					
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義 (一部演習)					
単位区分	選択	単位数		2単位						
授業の概要	ロームを予防し、健康的な ついて学習する。レジスタ と実践方法を対象者の特徴 りの方法や運動処方の作成 指導するか、施設や用具の	ヘルスプロモーションの定義、歴史、展開について解説した上で、生活習慣病やメタボリックシンドコームを予防し、健康的な生活を構築するための要素(運動、栄養、休養と健康を阻害する要因)について学習する。レジスタンストレーニング、エンデュアランストレーニング等の効果に関する理論と実践方法を対象者の特徴を踏まえて学習し、年齢・性別・健康状態や体力レベルに応じた健康づくの方法や運動処方の作成について具体的に理解する。また、それらを地域社会においてどのように旨導するか、施設や用具の利用方法も含めて学習する。								
授業の目標	1. ヘルスプロモーションの 2. 現代社会と健康問題、健 3. 身体活動と健康増進につ 4. 看護師として対象者に応	康とライフスタ いての基礎理論 じた健康増進っ	マイルについて理解する 論を学習する。 プログラムの作成や指導	ができる。						
育成する能力	高度な看護を提供する上で て行動変容理論を応用でき			盤である体力と運	動生理学理論そし					
	1 講義ガイダンス			(臼井・ゲストスと	プーカー牧野裕子)					
	2 ヘルスプロモーション(	の概念と定義		(臼井・ゲストスと	ごーカー牧野裕子)					
	3 ライフスタイルおよび	身体活動と健康		(臼井・ゲストスと	ごーカー牧野裕子)					
授業計画	4 身体的健康度の評価			(臼井・ゲストスと	ニーカー牧野裕子)					
	5 ストレスによる生体反応	芯と健康障害			(蓮池)					
	6 精神的健康度の評価				(蓮池)					
	7 ライフスキルと対処行	動			(蓮池)					
	8 行動変容理論				(上野)					
	9 健康づくり施策			(臼井・ゲストスと	プーカー牧野裕子)					
	10 ヘルスプロモーション( 思春期(学校保健)(		題とヘルスプロモーシ		(蓮池)					
	11 ヘルスプロモーション(職場における健康課)	の実際②			デストスピーカー)					
	12 ヘルスプロモーション( 壮年期の健康課題と	の実際③			デストスピーカー)					
	13 ヘルスプロモーション( 高齢者の健康課題と	の実際④ ヘルスプロモー		(臼井・ゲストスと						
	14 ヘルスプロモーション(メンタルヘルスプロ	× -1/			(蓮池)					
	15 まとめ				(臼井、上野)					
テキスト ・参考書	特になし									
予習・復習に ついての情報	プレゼンテーション担当者 定されたテーマについてデ				以外の学生は、指					
授業の形式	講義、学生によるプレゼン	テーションお。	こびディスカッション							
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	授業への参加状況 (30%)	、課題発表(4	0%)、最終レポート(	(30%)						
課題に対する フィート・ハ・ック等	プレゼンテーションの課題	については、詞								
教育課程内の 位置づけ	大学院-基盤科目									
その他										

					R6-04					
科目名	看護倫理特論									
担当教員		池辺寧、上野栄一、中川晶、村岡潔								
クラス	_	開講学期	前期	対象学年	1年					
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義 (一部演習)					
単位区分	必修	単位数	2 単	i位						
授業の概要	看護倫理を理解するうえで基盤とで看護職が判断し行動していくとめ、臨床現場で看護職が直面する。また、看護実践のの意力を決定の方法とはアスト	さきに重要と 6倫理的問題 0経験をもと 記し、倫理調	なる概念や倫理の原則、倫理 に、気付く能力、考察する能 に、看護倫理の持つ意味を深 整を行うために必要な知識と	に関する理論の 力、調整する向く になっていましては、様々	の理解を深 能力、解決す 々な倫理面で					
授業の目標	1. 看護における生命倫理の歴史的 2. 看護実践における倫理的課題を 3. 討論を通して倫理的問題に対す 4. 高度実践看護師として倫理的原係者間で調整することを学ぶ。	と理解する。 ける倫理調整 ダ受性を豊か	のプロセスを理解する。 にし、看護現場における倫理							
育成する能力	常に看護倫理の持つ意味を探求したする力を修得し、様々な倫理	里問題を解決	する能力を育成する。	、右祭りる刀	、マネーシメ					
	1 生命倫理・医療倫理の定 看護倫理の意義	三義と歴史的紀	<b>圣緯</b>		(中川)					
	2 看護倫理 看護場面での倫理的課題	題に気付く能力	力、考察する能力、調整する	能力、解決する	る能力 (池辺)					
授業計画	3 トラウマインフォームト トラウマの定義、トラウ		ームドケアの定義		(上野)					
	4 トラウマインフォームト 自分が所属する機関・き ラウマインフォームドク 倫理的な問題・葛藤につ	ヾケアと非ト 『署、そして 「アについて ういて関係者	ラウマインフォームドケア 自分自身の中にあるトラウマ 討議する。倫理的感受性を豊 間で調整することを学ぶ。		ドケアと非ト					
	<ul><li>5 ターミナルケアと看護能ターミナルケアでの家が</li><li>6 生殖医療・胎児の人権</li></ul>		寮者とコンセンサスを得てい	くプロセスの記	調整 (上野)					
	最新の生殖医療の現状を のかを医師、本人、家族	長、法曹関係 -	値医療の場における課題に気 者との間で問題を明確にする	づき、誰にと <i>、</i> 調整能力	っての人権な (池辺)					
	治療の選択権を生命保持 の間で患者、家族が決定	きと生活の質( ごしていくプ		を十分に配慮し	して医療者と (池辺)					
	8 高齢者虐待、認知症高齢 認知症を含む高齢者の人		自己決定権 れる状況の早期発見と解決策:	を調整する能力	力 (上野)					
	9 高齢者・障害者と人権 在宅における医療者の人 調整する能力	、権擁護とケ	アを受ける人とその家族の人	権侵害に気づる	き、解決策を (上野)					
	10 事例検討 I 医療現場に		的ジレンマの現状と解決方法に 系者間で調整する。	こついての討詞	\ · • /					
		を性を養う。			(村岡) (村岡)					
	13   事例検討Ⅱ   医療現場に     14   倫理的問題	夏・葛藤を関係	的ジレンマの現状と解決方法! 系者間で調整する。	こついての討詞	倫					
	15 事例検討Ⅱ 発表	性を養う。	to the Market of the Control of the		(池辺) (池辺)					
テキスト ・参考書	村岡他編著『医療・看護に携わる 看護倫理 小西恵美子著 2015. 看護倫理の事例検討 杉谷藤子、	1 南江堂								
予習・復習についての情報	(事前学習)新聞・TVなどで幸 (事後学習)授業・演習を通して 講義(一部演習)	B道される倫∶	<b>埋的問題についてレポートを</b>	作成する。						
授業の形式 評価の方法 ( 評価の配点比 率と評価の要 点)	レポート(80%)、プレゼンテーシ									
課題に対する フィート・ハ・ック等	課題について 講義中に、課題のコメントを行います。	D説明をした	り、授業中に討論をしたりし	7						
教育課程内の位置づけ	大学院-基盤科目 CNS共通A科目									
その他										

						05
科目名				ンサルテーション論		
担当教員			上野栄一、済	<b>重</b> 池光人、岡本響子、田	中登美	
クラス			開講学期	前期	対象学年	1・2年
曜日・時限			講義室	_	授業形態	講義 (一部演習)
単位区分		選択	単位数		2 単位	
授業の概要	ションを	護職を含むケア提供者に対 ョンの意義、目的、概念を を提供するのに必要なコン	を教授し、コン ンサルテ <mark>ー</mark> ショ	ンサルティのニードを理 ョンのモデル、役割と技	解し、求めている: 術を教授する。	コンサルテーショ
授業の目標	ルラ 1. = 2. = 3. ラ 4. !	ンサルテーションの意義、 テーションのスーパーバー コンサルテーションの意覧 コンサルテーションの技行 カプランのコンサルテーシ リピットとリピットのコン 実施したコンサルテーショ	イズを受けて没 義、目的、概念 析を理解する。 ションの4つの ンサルテーショ	Rめる。 ☆を理解する。 モデルを理解する。 □ンの8つの役割を理解す	たる。	
育成する能力	マジ	ネジメント力に不可欠なこ	コンサルテーシ	/ョンの知識と技術の修	得	
	1	コンサルテーションの意 コンサルテーション・リ			直接ケアの相違	(上野)
授業計画	2	コンサルテーションの打問題の特定とアセスメン相談内容を特定する技術問題解決に必要な複数の解決策を実行に移せるよ	√トに必要な技 所 ○選択肢を提案	する技術		(上野、田中)
	3	コンサルテ―ションのモカプラン4つのモデル(患体験事例の報告	デルの理解			(岡本)
	4	コンサルテーションのモ カプランのコンサルテー 体験事例の報告		のモデル (コンサルティ		ナルテーション) スピーカー村中晶)
	5	コンサルテーションのモ カプランのコンサルテー 体験事例の報告		のモデル(管理中心のコン	ンサルテーション)	(上野)
	6	コンサルテーションのモ カプランのコンサルテー 体験事例の報告		<b></b> のモデル(コンサルティ「	中心の管理のコンサ	ナルテーション) (上野)
	7	リピットとリピットのコ Adovocator, Informatio 実践した事例を学習した	on Specialist	t, trainer/Educator, J		
	8	リピットとリピットの= Identifier of alternat Observerの役割	ェンサルテーシ ives and Link	/ョンの8つの役割 er of Resources, Fact Fi	inder, Process Cou	
	9	実践した事例を学習した コンサルテーションの実				(上野 <u>)</u> 実施する。 (上野)
		学生が実施したコンサル ービジョンを行う。カフ	プランの4つの	モデルとリピットとリビ	ットの8つの役割で	さし、教師がスーパ で検討する。 (上野)
	11	ービジョンを行う。カフ	プランの4つの	モデルとリピットとリビ		
	12	プレゼンテーション・ス 提示したプレゼンテーシ			論と実践を結び付け	ける。 (上野、蓮池)
		プレゼンテーション・ス 提示したプレゼンテーシ	/ョンのロール	プレイングを行い、理談	= >	(上野、蓮池)
	14	医師、薬剤師、社会福祉 ン 精神看護専門看護師が他 体験事例を基に討議する	也職種専門家に			
	15	入院の場と地域の場での 入院の場で行うコンサル 文献と実践体験を基に計	)コンサルテー レテーションと	地域の場で行うコンサ		堂、注意点に関して

テキスト	川野雅資:改訂版コンサルテーションを学ぶ、クオリティケア、2017
• 参考書	アンダーウッド P. (1995):コンサルテーションの概要—コンサルタントの立場から、インターナショ
2 1	ナルナーシングレビュー、18(5)、4-12
	Lippitt G., Lippitt R. (1986): The Consulting Process in Action, Jossey-Bass Pfeiffer, San
	Francisco
	Caplan G(1970):The theory and practice of mental health consultation, Basic Books, ING.,
	Publishers, New York
	Campbell D., Draper R., Huffington C. (1975): A Systemic Approach to Consultation, Karnac Books,
	London
予習・復習に	日常の実践の場における現象をコンサルテーションという視点で分析する
ついての情報	(事前学習)①自分自身が実践したコンサルテーションをまとめておく。②「改訂版コンサルテーシ
	ョンを学ぶ」を精読しておく。
	(事後学習) 自分の組織で実践したコンサルテーションを学習した記録用紙にまとめ、可能な限り教
	員からスーパービジョンを継続的に受ける。
授業の形式	講義、討論、プレゼンテーション、ロールプレイング
35/m - 10/L /	
評価の方法(	課題レポート(80%)、プレゼンテーション(20%)
評価の配点比	Wind the second
率と評価の要	実践したコンサルテーションをカプランの4つのモデルで分析し(20%)、リピットらの8つの役割で分析
点)	し(20%)、受けたスーパービジョンの意味と自分の課題を文献を用いて考察し(30%)、今後、自分の臨床で期待されるコンサルテーションの役割について論述する(10%)。
	プレゼンテーションは次の視点で評価する。
	実践したコンサルテーションを記録用紙に則り理解しやすくまとめ(10%)、分かりやすく発表する
	(10%)。
課題に対する	課題について
フィート・ハ・ック等	特にコンサルテーションは事例を展開することが重要であり、課題としての事例について、発表及び
, , , , , ,	討論をしてコメントをいたします。
教育課程内の	大学院-基盤科目
位置づけ	CNS共通A科目
その他	
て VJTE	

2024.6.28改訂 シラバス2回目、14回目に大阪成蹊大 教授 田中登美先生 追加

					R6-06		
科目名	看護理論特論						
担当教員	西薗貞子、上野栄一、臼井キミカ、蓮池光人						
クラス	_	開講学期	後期	対象学年	1年		
曜日・時限		講義室	_	授業形態	講義		
単位区分	選択 単位数 2 単位						
授業の概要	「人間」「環境」「健康」「看護」の4つパラダイムに係る国内外の関連諸理論を概観し、看護学との関係性について理解する。また、看護理論を通して看護実践のエビデンスについて明確にする。さらに、主な看護理論の比較分析を行い、それぞれの理論構造と特性を明らかにすることで、卓越した看護実践、看護教育、看護研究への応用を検討する。						
授業の目標	1. 看護学に関連する国内外の諸理論を学び、看護とは何かを探究する。 2. 看護理論を通して、看護実践のエビデンスを明確にする。 3. 主な看護理論の比較検討を行い、それぞれの理論構造と特性を明らかにする。 4. 看護理論を実践に応用することができる。 看護理論を通して、看護のエビデンスを明確にし、看護理論を実践に応用することができる能力を育						
育成する能力	成する。また、看護理論を分析し、理論構造と特性を明らかにすることで、看護教育、看護研究への応用ができる能力を育成する。						
		いて国内外の	関連諸理論を学び、看護	学との関連性を理解	解する。 (西薗)		
	2 看護に関連するパラダイム 「健康」「看護」について国内外の関連諸理論を学び、看護学についての洞察を深める。 (西薗)						
授業計画			景 里論の歴史的背景を理解す	ける。	(西薗)		
	4 主要な看護理論の理解 ワトソン ヒューマンク				(西薗)		
	5 主要な看護理論の理解 ヒューマニステック・ナ				(西薗)		
	6 主要な看護理論の理解 レーニンガー 異文化看				(西薗)		
	7 主な看護理論に基づいた ナイチンゲール「看護覚	色書」			(臼井)		
	8 主な看護理論に基づいた ヴァージニアA. ヘンタ	ブーソン「看詞	蒦の基本となるもの」		(臼井)		
		ーデンバック	「臨床看護の本質―患者	皆援助の技術」	(臼井)		
	10 主な看護理論に基づいた ヒルガードE. ペブロウ				(上野)		
	11 主な看護理論に基づいた シスター・カリスタ・ロ	1イ「ザ・ロ	イ適応看護モデル」		(西薗)		
		トレム看護論-	-看護実践における基本概	既念」	(西薗)		
		/「看護のたる	めの行動システムモデル」		(西薗)		
	14 主な看護理論に基づいた ジョイス・トラベルビー	- 「人間対人	間の看護」		(蓮池)		
	15 主な看護理論に基づいた マーサー・ロジャース				(蓮池)		
テキスト ・参考書	「国際看護への学際的アプロ 「これからの国際看護学ー 本とも子 編著:田中和奈	ューチ」ピラ	ールプレス 2010年 監付		編集:堀内美由紀 014年 監修:守		
予習・復習に ついての情報	(事前学習)これまでの看記 おく。				ハたかをまとめて		
授業の形式	(事後学習) 学習した看護理論を今後の臨床場面で活用したことを記述しておく。 講義						
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	レポート(100%)						
課題に対する フィードバック等	L. A.C. 마스 - 나는 en. 소시						
教育課程内の 位置づけ	大学院-基盤科目 CNS共通A科目						
その他							

評価の配点比 率と評価の要 点) 課題に対する 7ィート ^ ^ * y 9 等 教育課程内の 大学院-基盤科目	-						R6-07			
世位	科目名	看護教育学特論								
単位区分	担当教員	西薗貞子								
単位区分 透根 単位数 2単位 2単位 名談 7 の質を高めるために必要な看護職への教育的働きかけ、教育展現づくりなど、看護の継続教育に関する知識と技術を教授する。教育学の原理を論まえ、教育方はの理論と技法、評価方法を学び機能教育に応いて連解する。 3 教育方はの理論と技法、評価方法を学びまの教育の開発を教授する。 3 教育方はの理論と技法、評価方法を学びまの教育の開発を教授する。 3 教育方はの理論と技法を理解する。 4 教育学について理解する。 5 保険産業部配の専門家と教授する。 4 教育学のプスの評価を実施する。 6 保険産業部配の専門家と教授しての学問的変遷と、各領域の教育に共通する普通的な要素について連奏する。 5 教育学の考え方、物の見方 報業的な有護教育学への学問的変遷と、各領域の教育に共通する普通的な要素について連奏する。 5 社会人基礎力とと、から、カードについて達義し、看護教育業権について連発する。 5 社会人基礎力とといいと対している方式。 5 社会人基礎力とその教授方法を専門性を発揮するための要素を可視化するための方法論を提示し、育成が、市ち方について対及する。 6 間部解析表面と社会の一下について違義し、看護教育課権について連発する。 7 会界理論について、朱人の理論を用いて議義・1。 6 間部解析表面とを表現方法 教育の物的、人的環境と設備。教育担当者を支援する技法を獲得するための方法について考える。 8 教育の遺物・食師を指数は変と変に、教育担当者を支援する、 9 産経教育と予算、看護管理上の問題との調整について講義し追究する。 10 模様に基づく動機づけを高める面接技法の理論を学習し、更に、技術の獲得について検討する。 11 臨床知について講義し、選床の変化や看護管理の変遷について講義し追究する。 11 臨床知について講覧・2 製造の方法を検討する。 12 看護管理を取り着く環境の変化や看護管理の変遷について講論し、現代における看護管理の課題と考理解的変更と対理の分析と看護専門職の機能と活動に必要な知識を講義し追究する。 14 部級教育プログラの課題の分析と看護専門職の機能と活動に必要な知識を講義し追究する。 15 看護学、産機教育における倫理的課題とその解決について学修し、看護を管理する人に求められる 大学な 2 部面の要素 2 部面の 2 部面の要素 2 部面の 2 部面の要素 2 部面の要素 2 部面の 2	クラス		_	開講学期	後期	対象学年	1年			
接業の概要 に関する知識と技術を教授する。教育学の原理を確まえ、教育方法の理論と技法、評価方法を学び 経業の目標	曜日・時限		_	講義室	_	授業形態	講義			
接案の概要 機械教育に応用できる能力を教授する。維統教育の現状と課題、今後必要が教育内容を教授する。 1、教育学について興味する。 3、教育力法の理論と技法を埋葬する。 3、教育力法の理論と技法を埋葬する。 3、教育力法の理論と技法を埋葬する。 5、保健医療福祉の専門家と調整して継続教育を推進することを理解する。 1 教育学の多え方、物の見方 震薬のかる音楽教育から看護教育学への学問的変遷と、各領域の教育に共通する普遍的な要素について 「講義する。 3 基礎教育と専門教育の目的と社会のニードについて講義し、看護教育課程について造党する。 4 学習理論について、先人の理論を用いて講義する。 5 社会人基礎力とその教授方法を専門性を発揮するための要素を可視化するための方法論を提示し、 有で力・省も方についてが大人の理論を用いて講義し、看護教育課程について追究する。 5 社会人基礎力とその教授方法を専門性を発揮するための要素を可視化するための方法論を提示し、 有で力・省も方について近及する。 6 問題解決能力を表現継続教育で育成する方法を事例を用いて講義し、各々の健かれている環境と 立場で傾対する。 7 学習形態と教授方法 教育の所が、人的環境と設備、教育担当者を支援する技法を提供するための方法について考える。 8 教育の報的・質的評価の方法と実践について講義し追究する。 9 継続教育と予算、看護管理上の問題との調整について講義し追究する。 10 根拠に基づく動機づけを高める面接技法の理論を学習し、更に、技術の獲得について検討する。 11 鉱床知について講義し、臨床の疑問を解するための方法を検討する。 12 看護管理を取りまる環境の変化や看護管理の変遷について講義し、現代における看護管理の 理題と直接維統教育との関連を追究する。 13 人を育てるための効果的な教育方法(プリセブター、バートナーシップナーシングシステム) 15 石護学、経過教育における倫理的課題とその解決について学能し、看護を管理する人に求められる 本質について選手る。 14 継続教育とアクムの課題の分析と看護専門験の機能と活動に必要な知識を講義し追究する。 15 看護学、経過教育における倫理的課題とその解決について学能し、看護を管理する人に求められる 本質について選まする。 第2 連携を対する。 まを 第2 通過の方法 第2 通過の方法 第2 通過の方法 第3 連携を行っるが、資料の配布も行う。また、初回に文献リストを配付する。 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	単位区分		選択	単位数		2 単位				
<ul> <li>長業の目標 2. 看談教育について連解する。 4. 教育 7かの見かと避解する。 4. 教育 7かの見かと避解する。 5. 保健医療福祉の専門家と調整して継続教育を推進することを理解する。 6. 保健医療福祉の専門家と調整して継続教育を推進することを理解する。 7. 保健医療福祉の専門家と調整して継続教育と修得する。 1. 教育学の考え方、物の見方編業的な看護教育から看護教育学への学問的変遷と、各領域の教育に共通する普通的な要素について連携する。 2. 看護教育のも看護教育と必要が知識と能力について講義し、実践力としての自己効力級、エンパワーメント力について考える。 3. 基礎教育と専門教育の目的と社会のニードについて課義し、看護教育課程について追究する。 4. 学習理論について、先人の理論を用いて講義する。 6. 社会人基礎力とその教授方法を専門性を発揮するための要素を可視化するための方法論を提示し、育て方・育ら方について追及する。 6. 問題解決能力を養養の難能教育で育成する方法を事例を用いて講義し、各々の置かれている環境と立場で検討する。 7. 学習が認し教育方法。 教育担当者を支援する技法を獲得するための方法について考える。 8. 教育の最的・質的評価の方法と実践について講義し追究する。 8. 教育の最的・質的評価の方法と実践について講義し追究する。 9. 継続教育と予算、看護管理上の問題との調整とついて講義し追究する。 11. 臨床知について講義し、臨床の護用を解明するための方法を検討する。 12. 程護管理を取り着く環境の変化を看護管理の変遷について講義し、現代における看護管理の課課題と看護継続教育との関連を過ぎまる。 13. 人を育てるための効果的な魅力方法(グリセプター、パートナーシップナーシングシステム)について追究する。 14. 継続教育における倫理的課題とその解決について学修し、看護を管理する人に求められる本質について追究する。 適定提示するが、資料の配布も行う。また、初回に文献リストを配付する。 7キスト・参考書 6. 復習にかいて追究する 2. は難のとないで追究する 2. は難がする 2. は難がする 2. は難がする 2. は難がする 2. は難がする 2. は難がする 3. は難がする 2. は難がする 2. は難がする 3. は難がする 2. はずがする 2. はずがないる 2. はずがないる</li></ul>	授業の概要	育に関する 継続教育は	育に関する知識と技術を教授する。教育学の原理を踏まえ、教育方法の理論と技法、評価方法を学び							
教育学の考え方、物の見方   職業的な看護教育から看護教育学への学問的変遷と、各領域の教育に共通する普遍的な要素について講義しな。   2 看護教育が目指すこと、看護教育に必要な知識と能力について講義し、実践力としての自己効力   版、エンパワーメント力について考える。  3 基礎教育と専門教育の目的と社会のエードについて講義し、看護教育課程について追究する。   4 学習理論について、先人の理論を用いて講義し、看護教育課程について追究する。   5 社会人基礎力とその教授方法を専門性を発揮するための要素を可視化するための方法論を提示し、育て方・育ち力について追及する。   6 問題解決能力を看護の継続教育で育成する方法を事例を用いて講義し、各々の置かれている環境と対解し教育の動的、人的環境と設備、教育中る方法を事例を用いて講義し、各々の置かれている環境と教育の場的・質的評価の方法と実践について講義し追究する。   8 教育の場的・質的評価の方法と実践について講義し追究する。   10 根拠に基づく動機づけを高める面接技法の理論を学習し、更に、技術の獲得について検討する。   11 臨床知について講義し、臨床の疑問を解明するための方法を検討する。   12 看護音理を取り巻く環境の変化や看護音理の変遷について講義し、現代における看護管理の課題と看護経統教育との関連を追究する。   13 人を育てるための効果的な教育方法(ブリセブター、パートナーシップナーシングシステム)について追究する。   14 継被教育でログラムの課題の分析と看護専門職の機能と活動に必要な知識を講義し追究する。   15 看護学、継続教育における倫理的課題とその解決について学修し、看護を管理する人に求められる本質について追究する。   本質について追究する。   本質について追求する。   本質について追求する。   本質について発酵の対象を管理する人に求められる本質にのいて追求する。   本質について追求する。   本質にフいて追求する。   本質にフいて対象を管理する人に求められる。   本質にフいて追求する。   本質に対する。   本質に対する。   本質に対する。   本質に対する。   本質に対する。   本述教育器程内の はいる。   本述教育器程内の はいる。   本述教育器程内の はいる。   本述教育器程内の はいる。   本述教育器程内の はいる。   本述教育器程内の と呼ばないる。   本述教育器程内の と呼ばないる。   本述教育器程内の と呼ばないる。   本述教育器程内の と呼ばないる。   本述教育器程内の と呼ばないる。   本述教育器程内の と呼ばないる。   本述教育器程の と呼ばないる。   本述教育器程の と呼ばないる。   本述教育器を表する。   本述教育器を表する。   本述教育器を表する。   本述教育器を表する。   本述教育器を表する。   本述教育の表する。   本述教育器を表する。   本述教育を表する。   本述教育が表する。   本述教育が表する。   本述教育を表する。   本述教	授業の目標	2. 看護教育 3. 教育方法 4. 教育プロ	2.看護教育について理解する。 3.教育方法の理論と技法を理解する。 4.教育プログラムの評価を理解する。							
職業的な看護教育から看護教育との学問的変遷と、各領域の教育に共通する普遍的な要素について議義しました。 2 看護教育が目指すこと、看護教育に必要な知識と能力について講義し、実践力としての自己効力と、	育成する能力	看護教育や	♀看護の継続教育	に関する教育力	を修得する。					
接業計画  「「「「「「「「「「」」」」」  「「「」」」  「「「」」」  「「」  「「」」  「「  「「  「		職業的 て講義	な看護教育から する。	看護教育学への						
技業計画		感、エ	ンパワーメント	力について考え	る。					
大学院・基盤科目   大学院・基盤科目   大学院・基盤科目   大学院・基盤科目   (NS + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 1	授業計画					看護教育課程につい	て追究する。			
育て方・育ち方について追及する。					-					
□ 立場で検討する。     7 学習形態と教授方法 教育の知的、人的環境と設備。教育担当者を支援する技法を獲得するための方法について考える。     8 教育の量的・質的評価の方法と実践について講義し追究する。     9 継続教育と予算、看護管理上の問題との調整について講義し追究する。     10 根拠に基づく動機づけを高める面接技法の理論を学習し、更に、技術の獲得について検討する。     11 臨床知について講義し、臨床の疑問を解明するための方法を検討する。     12 看護管理を取り巻く環境の変化や看護管理の変遷について講義し、現代における看護管理の課題と看護継続教育との関連を追究する。     13 人を育てるための効果的な教育方法(プリセブター、パートナーシップナーシングシステム)について追究する。     14 継続教育プログラムの課題の分析と看護専門職の機能と活動に必要な知識を講義し追究する。     15 看護学、継続教育における倫理的課題とその解決について学修し、看護を管理する人に求められる本質について追究する。     できる。     できる。     できる。     は習について道究する。     できる。     は変しいて追究する。     は変しいて追究する。     は変しいて追究する。     は変しいて追究する。     は変しいて追究する。     は変しいて必要な知識を講義し追究する。     は変しいて追究する。     は変しいて追究する。     は変しいて追究する。     は変しいて必要な知識を講義し追究する。     は変しいて必要な知識を講義し追究する。     は変しいて必要な知識を講義し追究する。     は変しいて必要な知識を講義し追究する。     は変しいて必要な知識を書意しませない。     は変しいて必要な知識を書意しませない。     は変しいでは、実践していて、対象を管理する人に求められる本質について必要ながある。     は変しいて必要ながある。     は変しいでは、実践していて、対象を管理する人に求められる本質に対する。     は変しいでは、対象を管理する人に求められる本質について必要ながある。     は参加を表しませない。     は変しながある。     は変しないでは、表しいでは、まりでは、まりでは、まりでは、表しいでは、まりでは、まりでは、表しいい		育て方・育ち方について追及する。								
教育の勢的、人的環境と設備。教育担当者を支援する技法を獲得するための方法について考える。 8 教育の量的・質的評価の方法と実践について講義し追究する。 9 継続教育と予算、看護管理上の問題との調整について講義し追究する。 10 根拠に基づく動機づけを高める面接技法の理論を学習し、更に、技術の獲得について検討する。 11 臨床知について講義し、臨床の疑問を解明するための方法を検討する。 12 看護管理を取り巻く環境の変化や看護管理の変遷について講義し、現代における看護管理の課題と看護継統教育との関連を追究する。 13 人を育てるための効果的な教育方法(プリセプター、パートナーシップナーシングシステム)について追究する。 14 継続教育プログラムの課題の分析と看護専門職の機能と活動に必要な知識を講義し追究する。 15 看護学、継続教育における倫理的課題とその解決について学修し、看護を管理する人に求められる本質について追究する。  デキスト・参考書 適宜提示するが、資料の配布も行う。また、初回に文献リストを配付する。  デ書・復習についての情報 授業の形式  課題レポート(100%)  課題に対する フィード・カッキ 教育課程内の 位置づけ  大学院・基盤科目 CNS共通名科目		立場で	検討する。	継続教育で育成	する方法を事例を用い	て講義し、各々の置	かれている環境と			
9 継続教育と予算、看護管理上の問題との調整について講義し追究する。 10 根拠に基づく動機づけを高める面接技法の理論を学習し、更に、技術の獲得について検討する。 11 臨床知について講義し、臨床の疑問を解明するための方法を検討する。 12 看護管理を取り考く環境の変化や看護管理の変遷について講義し、現代における看護管理の課題と看護継続教育との関連を追究する。 13 人を育てるための効果的な教育方法(プリセプター、バートナーシップナーシングシステム)について追究する。 14 継続教育プログラムの課題の分析と看護専門職の機能と活動に必要な知識を講義し追究する。 15 看護学、継続教育における倫理的課題とその解決について学修し、看護を管理する人に求められる本質について追究する。 適宜提示するが、資料の配布も行う。また、初回に文献リストを配付する。 予習・復習についての情報 授業の形式 詳義 評価の方法(評価の配点比率と評価の要 点) 課題に対する。 課題に対する カイードック等教育課程内の位置づけ 大学院-基盤科目 CNS共通 A科目				と設備。教育担	当者を支援する技法を	獲得するための方法	:について考える。			
10 根拠に基づく動機づけを高める面接技法の理論を学習し、更に、技術の獲得について検討する。   11 臨床知について講義し、臨床の疑問を解明するための方法を検討する。   12 看護管理を取り巻く環境の変化や看護管理の変遷について講義し、現代における看護管理の課題と看護継続教育との関連を追究する。   13 人を育てるための効果的な教育方法(プリセプター、パートナーシップナーシングシステム)について追究する。   14 継続教育プログラムの課題の分析と看護専門職の機能と活動に必要な知識を講義し追究する。   15 看護学、継続教育における倫理的課題とその解決について学修し、看護を管理する人に求められる本質について迫究する。   方書・後習について追究する。   適宜提示するが、資料の配布も行う。また、初回に文献リストを配付する。   声響の形式   講義   課題レポート (100%)   課題に対する   課題に対する   課題に対する   アキスト   でいての情報   では、		8 教育の	量的・質的評価	の方法と実践に、	ついて講義し追究する	0				
11 臨床知について講義し、臨床の疑問を解明するための方法を検討する。 12 看護管理を取り巻く環境の変化や看護管理の変遷について講義し、現代における看護管理の課題と看護継続教育との関連を追究する。 13 人を育てるための効果的な教育方法(プリセプター、パートナーシップナーシングシステム)について追究する。 14 継続教育プログラムの課題の分析と看護専門職の機能と活動に必要な知識を講義し追究する。 15 看護学、継続教育における倫理的課題とその解決について学修し、看護を管理する人に求められる本質について追究する。 を考書 適宜提示するが、資料の配布も行う。また、初回に文献リストを配付する。 で著の形式 講義  評価の方法( 字形ののとは、 本質についての情報 講義  評価の方法( 字での形式 は時提示する。 表しまするのでは、 はいまするのでは、 はいまするでは、 はいまするには、 はいまするでは、 はいまするとは、 はいまするでは、 はいまするとは、 はいまするは、 はいまするとは、 はいまするとは、 はいまするとは、 はいまするとは、 はいまするとは、 はいまするとは、 はいまするは、 はいまするとは、 はいまするとは、 はいまするとは、 はいまするとは、 はいまするは、 はいます		9 継続教	で育と予算、看護	管理上の問題との	の調整について講義し	追究する。				
12 看護管理を取り巻く環境の変化や看護管理の変遷について講義し、現代における看護管理の   課題と看護継続教育との関連を追究する。		10 根拠に	基づく動機づけ	を高める面接技	法の理論を学習し、更	に、技術の獲得につ	いて検討する。			
課題と看護継続教育との関連を追究する。		11 臨床知	について講義し	、臨床の疑問を	解明するための方法を	検討する。				
14   継続教育プログラムの課題の分析と看護専門職の機能と活動に必要な知識を講義し追究する。   15   看護学、継続教育における倫理的課題とその解決について学修し、看護を管理する人に求められる   本質について追究する。   適宜提示するが、資料の配布も行う。また、初回に文献リストを配付する。   予習・復習についての情報   随時提示する。   接業の形式   講義   評価の方法(評価の配点比率と評価の配点   課題レポート (100%)   課題に対する   7/1・1・ハ・ック等   教育課程内の   位置づけ   大学院-基盤科目   CNS共通A科目		課題と看護継続教育との関連を追究する。 13 人を育てるための効果的な教育方法(プリセプター、パートナーシップナーシングシステム)								
本質について追究する。   テキスト		14 継続教	育プログラムの	課題の分析と看	護専門職の機能と活動	に必要な知識を講義	し追究する。			
・参考書       適宜提示するが、資料の配布も行う。また、初回に文献リストを配付する。         予習・復習についての情報       随時提示する。         授業の形式       講義         評価の方法(評価の配点比率と評価の要点)       課題レポート(100%)         課題に対するフィート、バック等教育課程内の位置づけ       大学院-基盤科目CNS共通A科目										
ついての情報 <sup>関ロ号使不する。</sup> 授業の形式 講義 評価の方法( 評価の配点比率と評価の要点) 課題レポート(100%) 課題に対するフィート、バック等 教育課程内の		適宜提示するが、資料の配布も行う。また、初回に文献リストを配付する。								
評価の方法 ( 評価の配点比率と評価の要点) 課題レポート (100%) 課題に対する フィート ´ ^ ´ ッ ク 等 教育課程内の 位置づけ CNS共通 A 科目		随時提示する。								
評価の配点比率と評価の要点) 課題レポート (100%) にかける 7/1ート ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハ	授業の形式	講義								
フィート・バック等       教育課程内の 位置づけ     大学院-基盤科目 CNS共通A科目		課題レポート(100%)								
位置づけ CNS共通A科目	課題に対する フィードバック等									
その他	教育課程内の 位置づけ									
	その他									

科目名			看護管理学特論		08			
担当教員			** 	<b>安油洋</b> 乙				
					1 kr:			
クラス	_	開講学期	後期 ————————————————————————————————————	対象学年	1年			
曜日・時限	_	講義室	<u> </u>	授業形態	講義			
単位区分	選択 単位数 2単位 2単位 2単位 2単位 3 2単位 3 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3							
授業の概要	たすべき役割としての組織 メント、管理者との連携・ 味を追究し、高度実践看護 今後の課題について展望す	战運営、組織の活 調整について検 節として看護の る。	性化について学び、 討する。また、質の 質の向上のための戦	そのために必要なチー 高い看護サービスを提 略と看護管理の視点が	ーム医療のマネジ 是供することの意			
授業の目標	1. 看護管理の基本概念を理 2. 看護実践に影響を与えて 用いて説明できる。 3. 組織運営に参画し組織的 4. 高度実践看護師として保	いる組織的課題	について看護管理者 と 提案できる。	と共同して解決に向か				
育成する能力	保健医療チームとの調整や	看護の機能を効	果的かつ円滑に展開っ	するマネジメント力の	修得			
	1 看護および看護管理の看護とは、管理とは、	看護管理とはに、		いぞれの関連性につい	て明確にする。 (西薗)			
授業計画	2 看護管理の基本概念と 看護管理学に含まれる 要な知識体系を明確に	要素の概念を通	して、基本的な概念の		る。看護管理に必 (小林)			
汉未可四	3 組織論と組織行動 組織論と組織原則を理 の資料を複数確認し、 4 組織理念、組織文化、	理論と組織行動の			且織理論について (小林)			
	祖織 生	、組織風土、組織 実際に分析を試る	戦文化について理解し みる。	、組織分析の在り方を	を検討する。各自 (市村)			
	システム論の理解を通 の組織においてどのよ 6 リーダーシップの概念	してシステム思うな看護管理シ						
	基礎理論としてのリー ついて検討する。 7 リーダーシップのスキ	ダーシップ理論	こついて理解する。各 	理論を通して、看護領	実践との関連性に (箕浦)			
	リーダーシップの発揮 かれている状況下でど 8 組織の中の動機付け、	について検討し、 のようなリーダ <sup>、</sup>						
	主要な看護管理の方法リーダーシップとの連 9 組織変革、交渉の原理	論としての動機 動について検討		<b>温論について理解し考</b>	察する。各理論と (小林)			
	変化理論について理解理論の有効性と交渉の10 組織におけるパワーと	し、交渉の原理が 原理について実	際の事例を通して学ぶ	» > <sub>0</sub>	変革における変革 (箕浦)			
	パワーの行使、エンパ 方について考察する。 学ぶ。	ワーメント、アヤ 事例を通してパ!	ナーティブネスについ	て検討し、専門職とし				
	11 チーム医療のマネジメ チーム医療の概念とチ について検討する。	ーム医療の実現		<b>夢としての組織にお</b>	ける役割と責務 (西薗)			
	12 高度実践看護師として 高度実践看護師として おける調整・協力・管	、専門看護活動に 理について、管理	こ必要な保健・医療・		重間や看護組織に (箕浦)			
	13 医療安全とリスクマネ 安全管理体制組織とリ 医療事故に至った数種	スクマネジメン の事例分析から、			する。 (西薗)			
	14 看護サービスの質保証看護資源の管理と活用ドナベディアンの3側	の実際 面からの質評価						
	15 社会変化に伴う現代の 看護をとりまく環境的 看護管理の視点から現 を提示し、ディスカッ	側面の問題と課 在の日本の医療	題について探究する。 が求めるCNSの活用	・活躍のあり方につい				

テキスト	<参考書>W.G.スコット, T.R.ミッチェル, P.H.バーンバウム著,鈴木幸毅 監訳「組織理論―構造・行動分析」八千
・参考書	
	P・ハーシィ, K・H・ブランチャード, D・E・ジョンソン著, 山本成二, 山本あづさ訳「入門から応用へ 行動科学の
	展開 人的資源の活用」生産性出版,/井部俊子,中西睦子監修,井部俊子,勝原裕美子編集「看護管理学習テキス
	ト第1巻~8巻」日本看護協会出版会 ※その他資料として随時紹介する。
予習・復習に	(事前学習) ①自施設の組織体制を明確にし、組織図における自身の立ち位置と役割について明確に
ついての情報	しておく。②自施設の組織上の問題点と課題について整理しておく。
	(事後学習)自身の立場で実施できる看護管理の側面(組織変革、リーダーシップ、交渉、連携・調
	整など)からの内容と方法について具体的に整理する。
授業の形式	講義
評価の方法(	
評価の配点比	授業への積極的参加 (30%) 、課題発表と内容 (30%) 、レポート (40%)
率と評価の要	文末・ (30/0) 、
点)	
課題に対する	
フィート゛ハ゛ック等	
教育課程内の	大学院-基盤科目
位置づけ	CNS共通A科目
その他	
C 47 IE	

科目名	09 臨床薬理学								
担当教員	五味田裕、臼井キミカ								
	一     開講学期     後期     対象学年     1・2年								
クラス	_		仮規	7,3,3,1	1・2年  講義				
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	(一部演習)				
単位区分	選択	単位数		2 単位	hole will be a local and a loc				
授業の概要	の主・副作用を含む薬力 医薬品の医療現場での取 。日常生活への影響、服 いて事例を基に討議して	重々の病態要因・状況を踏まえて、医療現場の緊急応急処置、症状調整、慢性疾患管理に必要な薬剤 D主・副作用を含む薬力学的ならびに生体に取り込まれた薬の体内運命面での薬物作用を解説する。 医薬品の医療現場での取り扱い、薬物濃度を測定しながらの薬物治療,リスクマネジメントを学習する 日常生活への影響、服薬指導と患者と家族のコンプライアンスを高めるための看護支援の技術につ いて事例を基に討議して修得する。							
授業の目標	専門看護師の能力として らびに薬物動態的側面が そのために各治療薬の作 者への服薬指導、薬物 1.薬の基礎・臨床の 2.各疾病に使用される護 3.臨床において、看側から 性を理解する。 5.難病治療において新規	ら理解して、薬物 用機序、処方理は 謝酵素に関わる遺作用を薬理力学的 物についての作用 後の面から薬物の 協力・理解が必 医薬品の薬物治療	が起因症状か、疾患自体か は、薬物相互作用、生体内 遺伝子診断等々を理解して が並びに薬物動態学的基本 用機序を理解して、分類な の適正・安全・最適使用が 必要で、その際 服薬指導 様に積極的看護支援ができ	いらの症状か判断内 対薬物動態と加める におく必理を理解する。 フテゴリーに関う ま実践できるよう を含めたコミュニ なるようにする。	する力をつける。 モニタリング、患。 。 。 させて理解する。 にする。 -ケーションの重要				
育成する能力	各種病態に対応した薬物 護ができる能力を育成す 力も育成する。	る。また未解決事	<b>薬物治療を視野に新薬開発</b>	と臨床試験等にお	いても関われる能				
	関わる臨床研究への表	看護領域の関わり			(五味田)				
			薬物治療の実践における 告・禁忌等を踏まえて)	看護支援;遺伝性	薬理を踏まえた薬 (五味田)				
		する薬(心不全治	療薬、抗高血圧症薬、抗	狭心症薬、抗不動					
授業計画	4 呼吸器・消化器系疾病	患に作用する薬(	気管支喘息治療薬、鎮咳 規治療薬の最新治療と看		( ////////				
		る薬(糖尿病治療	薬、脂質異常症治療薬、		l治療薬の作用機序 (五味田)				
	6 中枢神経系疾患に作り	用する薬(催眠薬	、鎮痛薬、抗パーキンソ 用、ならびに付随した薬		かん薬の作用機序)				
	7 精神・神経系疾患に作	作用する薬(抗精	神病薬、抗不安薬、抗う	つ薬・抗躁薬、抗	アルツハイマー病				
	8 臨床応用と実際(1)	クリティカル看記	びに抗認知症薬による治療 護で薬物が使用される患症 の観察、アセスメント、	<b>者への臨床判断、</b>	(五味田) 緊急・慢性時の薬 (五味田)				
			医薬品:抗菌薬の適正使原 および臨床判断。 HIV、						
	10 臨床応用と実際 (3) 状マネジメント、安全 新治療と看護支援		関する医薬品:主な薬物 医療・生活調整・服薬管						
		計と看護支援、	こ応じた薬物療法、その 並びに患者の服薬管理、 の違いと臨床判断。ハ);	生活調整。口)急	性期・慢性期にお				
	・授乳期の薬物の影響	譽、陣痛促進剤、	こおける薬物の影響と服理性ホルモン剤、経口避妊	と看護支援	(五味田)				
	13   薬剤を使用する患者の   向上を図るための看記			性、回復力の促進	<ul><li>進、服薬管理能力の (五味田)</li></ul>				
	てそこで得た知見を関する。	関する経験事例を 塩床でどのように	報告し、事例検討を行う 活用していくか、また学	。薬物療法に関す 生の体験発表にご	ついて 「る事例検討を通し ついて、教員が教授 (臼井)				
	アドヒアランス) に	療法 (漢方を含む ついて教授する。	)の服薬管理能力の向上	を図るための知識	哉と看護技術(服薬 (臼井)				
テキスト ・参考書	博陽(編) 南江堂・『	臨床薬理学』日本		安原 他)					
予習・復習に ついての情報	臨床現場での薬物治療に こともある。毎回の講義				の検討課題とする				
- , C */ IH #K	- こしいり。 母門が勝我	, , , , , , M.Z. U / L.A		0					

授業の形式	プリント配付資料を中心に授業する。時に臨床場面・その疑問・応答(上記テキスト)しながら演習をする。また視聴覚資料を用いることもある。
評価の方法(評価の配点比率 と評価の要点)	授業中の質疑応答と提示課題へのレポート提出
課題に対する フィート・ハ・ック等	
教育課程内の 位置づけ	大学院-基盤科目 CNS共通B科目
その他	

					10			
科目名	病態生理学							
担当教員	平野文男、岩本淳子							
クラス	_	開講学期	前期	対象学年	1・2年			
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義 (一部演習)			
単位区分	選択	単位数		2 単位				
授業の概要	きる基礎的能力を養う。具な症候を示す事例の症状やションを行う。	体的には、臨り 検査所見など	習し、患者の病態生理を踏る 末現場でよく観察される症候 から病態生理を検討し、プレ	ここ こうない こうしゅう こうしゅう こうしゅう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょ	講義し、そのよう			
授業の目標	2. 学習内容を活用して、事 3. 提示された事例の病態を	・主たる元候の病態生理が理解できる。 ・学習内容を活用して、事例の病態生理を図式化し、説明できる。 ・提示された事例の病態を踏まえて、必要な看護援助を説明できる。						
育成する能力	育成する。		変化を理解し、根拠に基づい					
	遺伝子治療への看護支	援等)	戻患、細胞・組織の障害 等		(平野)			
	最新の病態病理情報と	それに対応する			に各種疾患の (平野)			
St 21	3 皮膚・体温調節と病態	生理、共に皮膚	う・体温調節の重要性と看護	支援	(平野)			
授業計画	治療法と看護支援		青報の取得と治療法、特に名		(平野)			
	5 体液調節と病態生理、 各種免疫疾患の解明に		系疾患の病態生理、と共に最 ご看護支援	新情報の取得る	と対応、特に (平野)			
	治療法と看護支援		青報の取得と治療法、特に名		(平野)			
	看護支援		所情報の取得と治療法、特に		(平野)			
	治療法、特に病態解明	に伴う新薬によ			(平野)			
	解明に伴う新治療法と	看護支援(遺伝			(平野)			
	ならびに看護支援法)		Hみと病態生理(各疾患発明 計神障害の病態生理、ととも		(平野)			
	報と看護支援法を含む	)	骨格系各疾患)と治療法、患		(平野)			
	b) 感覚器の働きと病態 認知症等の耳鼻咽喉科	生理(最新の耳 領域での看護す	耳鼻咽喉系(視覚・聴覚・嗅 <u>´</u> 支援	覚等)疾患の病態	態生理)、と共に (平野)			
	ついて、免疫・遺伝性	レベル等での治	E・がん疾患の病態の年代的 台療について解説、看護支援	<u>ž</u> )	朝的治療法に (平野)			
	臨床での病態生理学に 通して得た知見を臨床 員が教授する。	関する体験事例でどのように活	・心理面・社会面に及ぼす影 列を報告し事例検討を行う。 5用していくか、また学生の	病態生理学に				
	授する。	対象の病態生理	里学的変化からQOL向上のた	めに必要な知識	と技術について教 (岩本)			
テキスト ・参考書	教科書: 浅野嘉延 編『看護のための臨床病態学 改訂5版』南山堂 参考書:吉岡俊正『超ビジュアル病態生理学』メジカルビュー社 市田公美『疾病と病態生理』南江堂							
予習・復習に ついての情報	テキスト等を熟読するとともに、毎回の講義内容に関連した用語を参考書等で理解すること。							
授業の形式	配付資料、視聴覚資料などを用いた講義、演習							
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	授業中の質疑応答と提示課題へのレポート提出							
課題に対する フィードバック等								
教育課程内の位置づけ	大学院-基盤科目 CNS共通B科目							
その他								

平位区分 選択 単位数 2単位	科目名	フィジカルアセスメント							
平位区分 選択 単位数 2単位 3年位 3度 3年位	担当教員	山内豊明							
単位区分	クラス	_	開講学期	前期	対象学年	1・2年			
高度実践看護師が、複雑が健康問題を持つ対象の身体状況を系統的に全身の診査をし、臨床者を行うために必要なフィジカルアセスメントの知識と技術を教授する。系統的フィジカルアセスタントの大きにあったアセスメント手法と結果の臨床判断について学ぶ。アレゼンテーション及びディスカッション、模擬患者を用いた実践演習を行う。	曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義 (一部演習)			
を行うために必要なつメンカルアセスメントの知識と技術を教授する。系統的フィジカルアセスメント・方法をLEVとして、クライエントの状態に治ったアセスメント手法と結果の臨床判断にいいて実学。アレゼンテーション及びディスカッション、植機患者を用いた実践復習を行う。 1. 専門看護師に必要な系統的身体診査の手技と意味、その結果を臨床判断に結びつける思考につける。 2. 全身の各機器、系の診査と降床判断を与う。 3. 複雑を健康問題を持つ対象のフィジカルアセスメントを修得する。 4. 専門看護師に必要な臨床看護判断を力う能力を養う。 6. 臨床で実践しているフィジカルアセスメントの力量を高める。 6. 臨床で実践しているフィジカルアセスメントの力量を高める。 6. 臨床で実践しているフィジカルアセスメントの力量を高める。 6. 臨床で実践しているフィジカルアセスメントの意味と解析等 2. 脳神経系のフィジカルアセスメントの意味と解析等 2. 脳神経系のアイジカルアセスメントの意味と解析等 2. 脳神経系のアイジカルアセスメントの意味と解析等 2. 脳神経系の診察と評価に間診、健診、触診、打診、意識障害、反射異常の評価について学ぶ、運動器系のの変勢と評価に間診、健診、触診、打診、触診、腹水の観察、皮性関部の視力、腹部のアセスメントの指導、アイジカルアセスメントの音楽と評価に関係の影響と評価に関診、成診、腹水の評価について学ぶ。シュミレーターモデル・同様の観力、腹部のアイジカルアセスメント・耳鼻咽喉系のみ溶を評価について学ぶ。模擬患者での演習。 6. 服疾患のアイジカルアセスメント 1. 事項咽喉系の対象と評価に関診、視診、耳線、聴力、鼓膜・炎症の観察により耳鼻咽喉系のカイジカルアセスメント 1. 事項咽喉系の対象と評価に関診、視診、脈の健診、心音の聴診・打診、血圧、浮腫の観察、呼評価、循環製態の評価について学ぶ。 シュミレーターモデル人形(フィジコ)での演習。 2. 事項を選案のアイジカルアセスメント (情報器系の診察と評価に関診、視診、脈の触診、心音の聴診・打診、血圧、浮腫の観察、呼評価、循環製態の評価について学ぶ、シュミレーターモデル人形(フィジコ)での演習。 3. 可以語系の診察と評価に関診、視診、聴診、触診、打診、血液検査結果の評価についてタンカルアセスメント (情報系の診察を影衝に関診、視診、聴診、触診、打診、血液検査結果の評価についてサスメントの関係系のフィジカルアセスメント (情報系の方のすびカルアセスメント) (で耐系のアイジカルアセスメント) (で耐系の対象と呼信に関診、視診、聴診、触診、打診、血液検査結果の評価について今の影察と評価に関診、視診、聴診、触診、打診、尿療、尿療の診察と評価に関診、視診、聴診、触診、打診、尿療、尿療を結果の評価について特徴能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のアイジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント (技術・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント) (技術・腎臓療・質が尿・臓療・質が尿・臓療・気が水・臓療・対診・機能をいきがないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	単位区分	選択	単位数		2 単位				
接業の目標	授業の概要	を行うために必要なフィジ トを基盤として、クライエ 学ぶ。プレゼンテーション	カルアセスメン ントの状態に沿 及びディスカッ	トの知識と技術を教持ったアセスメント手派ション、模擬患者を用	受する。系統的フィ 生と結果の臨床判断 引いた実践演習を行	ジカルアセスメン について実践的に う。			
実施できるための能力を育成する。	授業の目標	につける。 2. 全身の各臓器、系の診3. 複雑な健康問題を持つ。 4. 専門看護師に必要な臨り。 5. 種々のライフ・ステートがし、それらに基づきり。 6. 臨床で実践しているフ	をと臨床判断を 対象のフィジカ 末看護判断能力 ジにある対象者 な床看護判断を ィジカルアセス	学ぶ。 ルアセスメントを修得 を高める。 の症状や所見等のエヒ 行う能力を養う。 メントの力量を高める	事する。 ビデンスに基づき、: 5。	病態を解釈・判			
を種疾患のフィジカルアセスメントの意味と解析等	『成する能力	実施できるための能力を育り	成する。		ステマティックに診	で臨床者護判断が			
接業計画   運動器系のフィジカルアセスメント   運動器系の診察と評価: 問診、視診、触診、打診、触診、関節可動域、疼痛の評価について   シュミレーターモデル人形(フィジュ)での演習。   消化器系のフィジカルアセスメント   消化器系の(機部)の影察と評価: 問診、腹部の視診・触診・打診・聴診、腹水の観察、女性 腹部の視方、腹部のアセスメントの留意点、腹水の評価について学ぶ。シュミレーターモデル(フィジコ)での演習。   耳鼻咽喉系のフィジカルアセスメント   耳鼻咽喉系ののマジカルアセスメント   耳鼻咽喉系のアイジカルアセスメント   耳鼻咽喉系のアイジカルアセスメント   田疾患のアイジカルアセスメント   田疾患のアイジカルアセスメント   田疾患のアイジカルアセスメント   田疾患のアイジカルアセスメント   田疾患の変象と評価: 問診、視力、視野、眼広鏡の観察により、視力障害、白内障、高血圧・   接尿病などの評価について学ぶ。模擬患者での演習。   7 循環器系の変を評価に問診、視診、脈の触診、心音の聴診・打診、血圧、浮腫の観察、呼評価、循環動態の評価について学ぶ。シュミレーターモデル人形(フィジコ)での演習。   血液・造血器系の診察と評価: 問診、視診、聴診、の観察と血液検査により、貧血、出血例の評価。   9 代謝系のフィジカルアセスメント   代謝系の診察と評価: 問診、視診、聴診、射診、身体計測により、栄養・代謝のアセスメント   イ謝系の診察と評価: 問診、視診、聴診、対診、身体計測により、栄養・代謝のアセスメント   呼吸器系の診察と評価: 問診、視診、聴診、射診、打診により呼吸の評価をする。   肺難音の   留意点を学ぶ。シュミレーターモデル人形(フィジコ)での演習。   10 呼吸器系の診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診、血液検査結果から、炎症反応の評価   12 内分泌系のフィジカルアセスメント   免疫系のフィジカルアセスメント   内分泌系のフィジカルアセスメント   内分泌系のフィジカルアセスメント   内分泌系のフィジカルアセスメント   内分泌系のフィジカルアセスメント   内分泌系のフィジカルアセスメント   内分泌系のアイジカルアセスメント   内分泌系のアイジカルアセスメント   大腹を結果の評価について学   13 性機能・腎泌尿器系のこ間診、視診、聴診、触診、打診、尿量、尿検査結果の評価について学   14 性機能・腎泌尿器系のこれが対してスメント   性機能・腎泌尿器系のこ間診、視診、聴診、触診、打診、尿量、尿検査結果の評価について学   15 性機能・腎泌尿器系のこ間診、視診、聴診、触診、打診、尿量、尿検査結果の評価について学   15 性機能・腎泌尿器系の:問診、視診、聴診、触診、打診、尿量、尿検査結果の評価について学   15 性機能・腎泌尿器系の:問診、視診、聴診、触診、打診、尿量、尿検査結果の評価について学   15 性機能・腎泌尿器系の:問診、視診、聴診、触診、打診、尿量、尿臓、尿臓、原臓、原臓、原臓、原臓、原臓、原臓、原臓、原臓、原臓、原臓、原臓、原臓、原臓		各種疾患のフィジカルフ2 脳神経系のフィジカルフ	アセスメントの アセスメント	意味と解析等	反射異常の評価に				
5 耳鼻咽喉系のフィジカルアセスメント 耳鼻咽喉系の診察と評価: 問診、視診、耳鏡、聴力、鼓膜・炎症の観察により耳鼻咽喉系のメントの留意点を学ぶ。模擬患者での演習。 6 眼疾患のアイジカルアセスメント 眼疾患の診察と評価: 問診、視力、視野、眼底鏡の観察により、視力障害、白内障、高血圧、糖尿病などの評価について学ぶ。模擬患者での演習。 7 循環器系のフィジカルアセスメント 循環器系の診察と評価: 問診、視診、脈の触診、心音の聴診・打診、血圧、浮腫の観察、呼評価、循環動態の評価について学ぶ。シュミレーターモデル人形(フィジコ)での演習。 8 血液・造血器系のフィジカルアセスメント 血液・造血器系の診察と評価: 問診、視診、聴診、の観察と血液検査により、貧血、出血何の評価。 9 代謝系のフィジカルアセスメント 代謝系の診察と評価: 問診、視診、聴診、打診、身体計測により、栄養・代謝のアセスメン 留意点と評価を学ぶ。模擬患者での演習。 10 呼吸器系の診察と評価: 問診、視診、聴診、打診、身体計測により、栄養・代謝のアセスメン 留意点を学ぶ。シュミレーターモデル人形(フィジコ)での演習。 11 免疫系のフィジカルアセスメント 呼吸器系の診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診により呼吸の評価をする。肺雑音の留意点を学ぶ。シュミレーターモデル人形(フィジコ)での演習。 12 内分泌系のフィジカルアセスメント 免疫系の診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診、血液検査結果の評価について学 13 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント	授業計画	運動器系の診察と評価: 問診、視診、触診、打診、触診、関節可動域、疼痛の評価について学ぶ。 シュミレーターモデル人形(フィジコ)での演習。 (山内)							
8 血液・造血器系のフィジカルアセスメント 血液・造血器系の診察と評価: 問診、視診、聴診、の観察と血液検査により、貧血、出血例の評価。  9 代謝系のフィジカルアセスメント 代謝系の診察と評価: 問診、視診、聴診、打診、身体計測により、栄養・代謝のアセスメン留意点と評価を学ぶ。模擬患者での演習。  10 呼吸器系のフィジカルアセスメント 呼吸器系の診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診により呼吸の評価をする。肺雑音の留意点を学ぶ。シュミレーターモデル人形(フィジコ)での演習。  11 免疫系のフィジカルアセスメント 免疫系の診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診、血液検査結果から、炎症反応の評価。  12 内分泌系のフィジカルアセスメント 内分泌系診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診、ホルモン検査結果の評価について学  13 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント		5 耳鼻咽喉系のフィジカルアセスメント 耳鼻咽喉系の診察と評価: 問診、視診、耳鏡、聴力、鼓膜・炎症の観察により耳鼻咽喉系のアセスメントの留意点を学ぶ。模擬患者での演習。 (山内) 6 眼疾患のフィジカルアセスメント 眼疾患の診察と評価: 問診、視力、視野、眼底鏡の観察により、視力障害、白内障、高血圧、 糖尿病などの評価について学ぶ。模擬患者での演習。 (山内) 7 循環器系のフィジカルアセスメント 循環器系の診察と評価: 問診、視診、脈の触診、心音の聴診・打診、血圧、浮腫の観察、呼吸の							
代謝系の診察と評価: 問診、視診、聴診、打診、身体計測により、栄養・代謝のアセスメン 留意点と評価を学ぶ。模擬患者での演習。  10 呼吸器系のフィジカルアセスメント 呼吸器系の診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診により呼吸の評価をする。肺雑音の 留意点を学ぶ。シュミレーターモデル人形(フィジコ)での演習。  11 免疫系のフィジカルアセスメント 免疫系の診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診、血液検査結果から、炎症反応の評価。  12 内分泌系のフィジカルアセスメント 内分泌系診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診、ホルモン検査結果の評価について学 13 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント		血液・造血器系の診察と			血液検査により、貧	(山内) 貧血、出血傾向 (山内)			
留意点を学ぶ。シュミレーターモデル人形(フィジコ)での演習。 11 免疫系のフィジカルアセスメント 免疫系の診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診、血液検査結果から、炎症反応の評価。 12 内分泌系のフィジカルアセスメント 内分泌系診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診、ホルモン検査結果の評価について学 13 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系のこ・問診、視診、聴診、触診、打診、尿量、尿検査結果の評価について		代謝系の診察と評価: 限 留意点と評価を学ぶ。権 10 呼吸器系のフィジカルフ	引診、視診、聴 莫擬患者での演 <sup>?</sup> アセスメント	習。 -		(山内)			
12 内分泌系のフィジカルアセスメント 内分泌系診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診、ホルモン検査結果の評価について学 13 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系の: 問診、視診、聴診、触診、打診、尿量、尿検査結果の評価について		留意点を学ぶ。シュミレーターモデル人形(フィジコ)での演習。 (山  11 免疫系のフィジカルアセスメント 免疫系の診察と評価: 問診、視診、聴診、触診、打診、血液検査結果から、炎症反応の評価を等							
13 性機能・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント 性機能・腎泌尿器系の: 問診、視診、聴診、触診、打診、尿量、尿検査結果の評価について		。							
15 患者が自らフィジカルアセスメントの変調に気づく支援 複雑な健康問題をもった対象が自らフィジカルアセスメントし、身体の変調に気づくために		看護師が行う高度なフィ ことをフィジカルアセス 15 患者が自らフィジカルフ 複雑な健康問題をもった	イジカルアセス スメントの実践 アセスメントの こ対象が自らフ	メントが患者と家族の 例を基に討議する。 変調に気づく支援 ィジカルアセスメント		建康回復につながる (山内)			

テキスト	教科書 藤崎 郁 著『フィジカルアセスメント完全ガイド』第3版 学研メディカル秀潤社
・参考書	参考書 山内 豊明 著『フィジカルアセスメントガイドブック』第2版 医学書院
	工藤二郎『フィジカルアセスメントの根拠がわかる! 機能障害からみた からだの
	メカニズム』医学書院
予習・復習に	指定されたテキストを熟読するとともに、毎回の講義内容に関連した参考書で基本的な用語を理解す
ついての情報	ること。
AT HIS OF	- 0 - (事前学習) 臨床で実践しているフィジカルアセスメントの目的、根拠、技術をまとめ、実践してい
	るフィジカルアセスメントが患者の異常の早期発見、副作用の早期発見、症状の予測に
	繋がった事例をまとめておく。
	(事後学習) 学習したフィジカルアセスメントの知識と技術を臨床で応用し、これまでその相違をま
	とめておく。
授業の形式	テキスト、配付資料、視聴覚資料を用いた講義、演習
以来のかれ	/ (/) 、 日日月東行、 DAW元長行 と川 ( / C冊表、   R 日
評価の方法(	
評価の配点比	Mr = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = (0.00)
率と評価の要	筆記試験(80%)レポート課題(20%)
点)	
課題に対する	
フィート、ハ、ック等	
	十冷吃 甘鄉利日
教育課程内の	大学院-基盤科目
位置づけ	CNS共通B科目
その他	
CVIE	

0.5					12			
科目名			看護研究特論					
担当教員		<u>_</u>	野栄一、臼井キミカ					
クラス	_	開講学期	前期	対象学年	1年			
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義			
単位区分	必修	単位数		2 単位				
授業の概要		知識や技術の向上とその 、看護研究の過程や課題						
授業の目標	<ol> <li>文献のクリティ</li> <li>研究課題の設定</li> <li>各種の研究手法</li> <li>自分が実践して</li> </ol>	. 看護研究の過程を理解できる。 . 文献のクリティークについて理解できる。 . 研究課題の設定のプロセスを理解できる。 . 各種の研究手法を理解できる。 . 自分が実践してきた看護研究の課題を明確にする。 . 修士論文又は課題研究のための研究手法を明確にする。						
育成する能力		· 究、及びマネジメント力	に必要な看護研究の	方法を習得する。				
	1 看護研究とは 看護研究と	はなにかについて、研究	課題、研究デザイン、	研究のプロセスを中	心に教授する。 (上野)			
		理 る倫理の考え方と倫理的 請書の記述について、モ			(臼井)			
授業計画	3 文献クリティ 研究活動に ィークを行 自分のクリ	ーク 1 活かす文献クリティーク	の基礎について学び、	自分の関心領域の文	献を用いてクリテ			
		ーク 2 践や看護研究におけるシン ィックレビューの基本を		ーの必要性やその方	法など、 (上野)			
	5 研究の手法1 量的研究手	(量的研究手法) 法を用いる研究デザイン施した量的研究を用いて	や量的手法の限界につ		(臼井)			
	6 研究の手法2	(量的研究手法) ためのデータ収集方法や			(臼井)			
	7 研究の手法3	(量的研究手法) 析の方法について教授す		CAXIX 7 · Jo	(臼井)			
	8 研究の手法4	(質的研究手法) 法を用いる研究デザイン		/の特徴など、質的研				
	実施した質	的研究を用いて、不足し (質的研究手法)	ている点や課題を検診	付する。	(上野)			
		内容分析、グラウンデッ	ド・セオリー、エスク	グラフィーの方法に	ついて教授する。 (上野)			
	10 研究の手法 6 現象学、歴	(質的研究手法) 史的研究法の方法につい	て教授する。		(上野)			
	11 研究の手法 7 会話分析の	(会話分析) 方法について実践事例を:	基に分析の方法を討議	<b>をする。</b>	(上野)			
	12 研究の手法 8 研究活動に		プローチの有効性や、					
	13 研究の手法9				(臼井)			
	14 研究の手法10			ストマイニングの方法				
	15 研究の手法11 実践の場で ついて教授	の研究活動における実験			の計画や進め方に			
テキスト・参 考書	会	デンスに基づく看護実践			本看護協会出版			
	門 原著第7版 — 川野雅資編著(20)	Nancy Burns, Jennifer R 評価・統合・エビデンス 5):看護研究、PILAR Pre 2):看護研究入門、星和 する。	の生成』、エルゼビ ss		マーブ 看護研究入			

予習・復習に ついての情報	(事前学習)①これまで実践した看護研究についてまとめ、研究としての一貫性について検討しておく。②参加した学会等で、印象的な研究についてまとめておく。③学術研究論文を2本読んでおく。 (事後学習)①自分が取り組みたい研究課題を明確にする。特に、研究方法について継続的に学習する。②機会を得て、日本看護科学学会や日本看護研究学会、その他各専門領域の学会に参加する。
授業の形式	講義、ディスカッション、実施した研究の提示
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	課題レポート (100%) 自分が行いたい研究課題を明確にし(20%)、考えられる研究方法を提示し(40%)、想定する倫理的課題を検討し(20%)、研究方法の課題と利点を文献を基に論述する(20%)
課題に対する フィードバック等	課題について説明をするとともに 実際の研究手法について基本的な解説と 文献のクリィークを通じて討論してコメントをいたします。
教育課程内の 位置づけ	大学院-基盤科目 CNS共通A科目
その他	

科目名	13 在宅看護学特論 I (在宅看護学)								
担当教員	日井キミカ、上野栄一、小林由里								
クラス	<u> </u>	一     開講学期     前期     対象学年     1年							
曜日・時限		講義室		授業形態	講義				
	2호라 누ㅁ	単位数		2 単位	叶子花				
単位区分	選択 在宅で生活している様	選択   単位数   2単位   2単位							
授業の概要	疾病治療に関する援助 ジメントを伴う医療・ ・成人・老年と様々な	病治療に関する援助について現状の課題を考える。 在宅療養で看護が担う医療の中で、高度なマネジメントを伴う医療・処置について国際的、他職種との連携、リーダーシップをキーワードに、小児成人・老年と様々なライフステージにある人々の現状を分析し課題について考える。 在宅療養における治療・処置の現状からさまざまなライフステージにある人々への看護の役割に							
授業の目標	ついての課題を考察 2. 在宅療養における治 察できる。 3. 在宅療養における治	ついての課題を考察できる . 在宅療養における治療・処置の現状と関わる多様な職種から看護の役割について今後の課題を考							
育成する能力	在宅におけるさまざまにおける看護職の役害	ミなライフステージにる	ある人の健康課題と						
	2 ライフステー	条件と看護活動 在宅療養と家族の支 ジと健康 在宅看護	<b>をで行われる医療・</b> 処	公要とする人たち D置 井・2回目ゲストスヒ	゜ーカー兼田美代)				
授業計画		療法、吸入といった呼 マを決め、文献等から	現状について考える						
		シュリン療法といった キーワードにテーマを			他職種、(上野)				
		支援、転倒・転落予防 キーワードにテーマを	決め、文献等から理		。一カー兼田美代)				
		性疼痛に対する医療に 献等から看護の課題を	考える。	現職種、リーダーシップ 井・9回目ゲストスピ					
	11 支援が困難な在宅	療養患者への専門的看							
	12 支援が困難な在宅	療養患者への専門的看	f護実践:ALS患者	<b>斉・家族</b>	(小林)				
	13 1. 在宅における高	齢者の脆弱な皮膚・創	傷の管理とその課題	<u> </u>	(小林)				
	142. 在宅における排1) 失禁ケ153) ストーマ	傷(skin tear) 2)â 泄管理とその課題 ア 2)失禁関連皮膚₃ マ保有者へのケア 数短縮に伴う在宅ケア	炎(Incontinence A		s)				
テキスト	3. 皮膚・排泄ケア	領域における専門性の	高い看護師(特定行	<b>う為を含む)との連携</b>	(臼井)				
・参考書予習・復習に	在宅看護―暮らしをみつめる看護の視点― 水戸美津子 編集 2014.2 中央法規出版 放送大学教材 在宅看護論 福島道子、川野あゆみ編著 2017.3 放送大学教育振興会 在宅医療で実施されている高度医療・処置について学ぶ。								
ついての情報	担当するテーマ以外も			カッションに臨むこと	•				
授業の形式	講義								
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	レポート (100%)								
課題に対する フィート・ハ・ック等									
教育課程内の 位置づけ	大学院-在宅看護学分野	野科目							
その他									

科目名								
担当教員	日井キミカ、上野栄一、岩本淳子、小林由里、田場真理、二宮佐和子							
	ロガヤベノ			· ·				
クラス	_	開講学期	前期	対象学年	1年			
曜日・時限	<del></del>	講義室	<del></del>	授業形態	講義			
単位区分	選択	単位数		2 単位				
授業の概要	在宅における慢性期看護の成人期・老年期に起こりで ンテーションから全人的看 する方法、課題を考える。	0今日的課題を うる主要な疾患 賃護の実践につ	を取り上げ、在宅におけるB いてディスカッションし、右	≦療・処置を受 E宅看護におけ	ける事例のプレゼ る高度医療に対応			
授業の目標	2. 各ライフステージにおい 全人的看護について探究 3. 在宅における慢性疾患を る。	と研究への適用を探究する。 2.各ライフステージにおいて在宅における高度医療および処置を受けている患者の問題点を見出し、 全人的看護について探究する。 3.在宅における慢性疾患をもつ患者および家族の今日的課題を探究し、看護を開発する基盤を修得する。						
育成する能力			る高度な全人的看護ができる 析し、看護を開発する能力を		る。また、慢性期			
	自己効力感、セルフ	パワーメント、 マネジメントが	<ul><li>本理念 パートナーシップ、ヘルス などの基本概念を学ぶ。</li><li>経滅について、現状と課題、課</li></ul>		(臼井)			
授業計画	<ul><li>題、課題解決の方向性</li></ul>	について考える			(岩本)			
	6 脳卒中後遺症、認知症 について考える。 7	などの神経障割	<b>害患者・家族の看護について、</b>	現状と課題、	課題解決の方向性 6回目(二宮) 7回目(臼井)			
	8 脳血管疾患により麻痺 考える。	このある患者・家	家族の看護について、現状と記	果題、課題解決	の方向性について (田場)			
	10     筋骨格系障害により、 向性について考える。	活動に支障をき (骨粗しょう別	さたす患者・家族の看護につい 定、大腿部頸部骨折、腰椎骨	ハて、現状と課 折、上腕骨折な	題、課題解決の方			
	12 がん対策基本法と在宅 考える。	におけるがんマ	看護について、現状と課題 <b>、</b> 「	課題解決の方向	7性について (田場)			
	14       糖尿病(合併症を含む       15       て考える。	)を患う患者・	家族の看護について、現状と	と課題、課題解	決の方向性につい (上野)			
テキスト ・参考書	在宅医療実践ガイド 2013.4 Medical Practice編集委員会 慢性期看護「第3版」鈴木志津枝、藤田佐和編集 2014.3 ヌーヴェルヒロカワ							
予習・復習に ついての情報	在宅医療で、よく見られる疾患と看護について学びを深める。 担当するテーマ以外も、文献検索等で予備知識を持ってディスカッションに臨むこと。							
授業の形式	講義							
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	レポート (100%)							
課題に対する フィードバック等 教育課程内の 位置づけ	大学院-在宅看護学分野科							
その他								

科目名		在宅看護		)	15				
担当教員		臼井キミカ							
クラス	_	開講学期	後期	対象学年	 1年				
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義				
単位区分	選択	単位数		2 単位					
授業の概要	地域での在宅生活を回復 関わる者が果たすべき役として活躍できるような 生活動作の獲得を目指し 践できるマネジメント能 個別支援能力を涵養する。	」 支援する上での基盤 割について理解を深 実践的能力の基礎を た行動分析学的アプ 力、そしてセラピス	めながら、在宅生活 醸成する。具体的に ローチを習得すると	テーションの理念を における回復支援の は、地域生活支援に ともに、地域におい	ためのリーダー 必須である日常 て介護予防を実				
授業の目標	1. 地域での在宅生活を回 2. 在宅での回復支援を推 3. 日常生活動作の獲得に	進のため実践能力を 必要な行動分析学的	習得する。 アプローチを実践て	ぎきる。					
育成する能力	介護予防など在宅生活を ト力を修得する。	向上させるための回	復支援場面における	多職種との連携に関	するマネジメン				
	1 講義ガイダンス、在写	どにおける回復支援(	の概要		(臼井)				
	2 行動分析学の基礎理語	侖			(臼井)				
	3 日常生活動作指導に	おける応用行動分析:	学1(ベッド上基本	動作)	(臼井)				
授業計画	4 日常生活動作指導に	おける応用行動分析:	学2(座位・立位動	作)	(臼井)				
	5 日常生活動作指導にお	おける応用行動分析:	学2(歩行・移動動	作)	(臼井)				
	6 在宅場面での介護者に	こ対する日常生活指導	<b></b>		(臼井)				
	7 地域における在宅生活	舌の回復支援の実践	事例		(臼井)				
	8 在宅における歩行獲行	导の回復支援①			(臼井)				
	9 在宅における歩行獲行	导の回復支援②			(臼井)				
	10 在宅における車椅子生	生活者の回復支援①			(臼井)				
	11 在宅における車椅子生	生活者の回復支援②			(臼井)				
	12 在宅における車椅子生	上活者の回復支援③			(臼井)				
	13 在宅におけるベッド_	上生活者の回復支援(	D		(臼井)				
	14 在宅におけるベッド_	上生活者の回復支援(	2		(臼井)				
	15 在宅におけるベッド_		_		(臼井)				
テキスト ・参考書	辻下守弘・小林和彦『リ 太田仁史『地域リハビリ			門』医歯薬出版					
予習・復習に ついての情報	指定されたテキストを熟 ること。	読するとともに、毎	回の講義内容に関連	車した参考書で基本的	かな用語を理解す				
授業の形式	テキスト、配付資料、視	聴覚資料を用いた講	義						
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	レポート課題(100%)								
課題に対するフィート、ハ、ック等	1. W. 1744 - Andrew 17 344 W. 11 1974 - 11	п							
教育課程内の 位置づけ	大学院-在宅看護学分野科	·目							
その他									

F	1				16
科目名		在宅看護	学特論IV(地域包括字	支援)	
担当教員		臼井キミ	カ、井上葉子、周藤	俊治	
クラス	_	開講学期	後期	対象学年	1年
曜日・時限	_	講義室		授業形態	講義 (一部演習)
単位区分	選択	単位数		2 単位	
授業の概要	急速に進行する地域の高齢・課題・問題点についてままた、専門分野における	理解するとともに 研究を理解し、自	、地域の特性を生からの研究に役立てる	した地域包括支援に <sup>・</sup> 力を習得する。	ついて概説する。
授業の目標	1. 医療連携・地域包括支 2. 健康・不健康を問わず、 康増進について考察で 3. 地域の特性を把握する7 4. 専門分野における研究?	さまざまな健康 きる。 ための保健・医療 を考察し、自らの	レベルにある人が、 統計を理解する。 研究計画に役立てる	地域で生活するための ことができる。	の健康支援・健
育成する能力	地域包括支援システムを推進で 括支援システムを推進で			課題について 埋解する	ることで、地域包
	1 さまざまな健康レベル	にある人の健康	支援・健康増進		(臼井)
	2 医療連携と地域包括支	で援システム			(臼井、井上)
	3 譫妄、認知症、脳卒中	甲後遺症患者の在	宅看護に関連する制度	度と社会資源	(臼井)
授業計画	4 譫妄、認知症、脳卒中	で後遺症患者のケ	ースマネジメントとう	チーム医療	(臼井)
	5 譫妄、認知症、脳卒中	甲後遺症患者の地	域包括ケア連携		(臼井、井上)
	6 保健・医療統計①				
	7 保健・医療統計②				(周藤)
	8 地域包括支援システム	の構築の実際	認知症		(周藤)
	9 論文クリティーク①				(臼井)
	10 地域包括支援システム 性を考える。(住まい	へにおける構成要 いと住まい方、生	素に関する文献クリラ 活支援、複合サービス	ティークから、研究の ス、介護・医療・福祉	)現状と課題・方向 止、本人・家族の
	11 選択と心構え等)				(臼井)
	12 論文クリティーク②	2)ナスウン大塚2ヶ	<b>明ナッケボカリニ</b> 。	たまな 無空の項型	
	13   地域包括システムにま 性を考える。(自助、			ークから、研究の現り	人と硃趣・万円
	14				(臼井)
	15 まとめ				(臼井)
テキスト ・参考書	国民衛生の動向(最新版) よくわかる看護研究論文(			子編著 2014.6 日本	看護協会出版会
予習・復習に ついての情報	医療連携・地域包括支援	ンステムにおける	現状について理解し、	ておくこと	
授業の形式	講義、グループワーク				
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	レポート (70%) プレゼンテーション (30%	%)			
課題に対する フィードバック等 教育課程内の	大学院-在宅看護学分野科				
<u>位置づけ</u> その他					
<u> </u>	l .				

	1				17			
科目名		在宅看護学特論演習						
担当教員	臼井*	ドミカ、岩本洋	享子、小林由里、田場真理	里、二宮佐和子				
クラス	_	開講学期	前期	対象学年	2年			
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	演習 (一部講義)			
単位区分	選択	単位数		2 単位				
授業の概要	慢性疾患・障害の予防に向 とその家族への支援につい した援助方法や看護職の役割を 養を支える看護職の役割を	て、文献レビ 割について追 考える。	ューやディスカッション 究する。国際的視点や他	を行い、対象の多の専門職の視点に	様なニーズに対応 も注目して在宅療			
授業の目標	1. 着目するテーマについて、2. 設定したテーマについて、法を追究することができ、3. 設定したテーマについて、師の役割を追究すること、4. ディスカッションの中で	、さまざまな る。 、さまざまな ができる。 リーダーシッ	ライフステージにある人 ライフステージにある人 プが取れる。	々の多様なニーズ 々の多様なニーズ	に対応した援助方に対応した看護			
育成する能力	在宅における患者と家族のいて探求できる能力を育成成する。	する。また、		てリーダーシップ				
	2		ピン質科作成の打ら合わり		(臼井)			
	COPD(慢性閉塞性肺疾患		呼吸器疾患患者と家族の	)看護における課題	しその解決策につ			
授業計画	3 いてのプレゼンテーショ	ョンとアイス)	<i>り</i> ッション		(岩本)			
	4		たす患者と家族の看護にョン	こおける課題とその	解決策についての (小林)			
			)看護における課題とその	解決方法について				
	3 コンとディスカッション				(岩本)			
	8 脳血管疾患により麻痺の テーションとディスカッ		家族の看護における課題。	とその解決方法につ	ついてのプレゼン			
	10 がん患者と家族の看護 ション	こおける課題。	とその解決方法についての		ョンとディスカッ (田場)			
	12 脳卒中後遺症患者と家族 イスカッション	<b>英の看護におり</b>	する課題とその解決方法に	こついてのプレゼン				
		<b>手護における</b>	果題とその解決方法につい	ハてのプレゼンテー	ーションとディス			
	カッション				(臼井)			
テキスト ・参考書	各自、最新の文献レビュー	を行い資料と	する。					
予習・復習に ついての情報	興味のあるテーマ以外も、							
授業の形式	プレゼンテーションとディ ッション	スカッション	、あるいはグループワー 	・ク、プレゼンテー	ション、ディスカ			
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	ディスカッションへの参加 テーマについての文献レビ 看護の役割についての考察	ュー (30%)						
課題に対する フィードバック等 教育課程内の 位置づけ	大学院-在宅看護学分野科目							
<u> </u>								

A) II b		<b>カルチ</b>	=##=\ T	灭)	18			
科目名	育成看護学特論 I (発達支援)							
担当教員	小池伝一							
クラス	_	開講学期	前期	対象学年	1年			
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義 (一部演習)			
単位区分	選択	単位数		2 単位				
授業の概要	子どもが精神的・身体的・神 て学習し、各種身体機能障等 徴について理解し、子どもの	害や身体障がい の望ましい成績	ヽを持っている子ども 長・発達や家族機能を	の病態や、病態から 支援するための方法	来る日常生活の特			
授業の目標	1. 子どもと家族の看護援助に 2. 子どもと家族を取り巻く制 3. 子どもの身体的・心理的・ 4. あらゆる健康段階の子ども 子どもの成長・発達に必要	制度や施策を理 社会的特徴を もと家族への看	!解し、看護援助につい 理解した上で、看護援 護援助が説明できる。	いて考察できる。 助の考察ができる。	もの最善の利益を			
育成する能力	考慮した看護援助について、	、展開するこ	とができる。					
	1 子どもの生活への理解と 発達段階に応じた援助(2		<i></i> ブカル・アセスメント	)				
授業計画	3 エリクソン、ピアジェ、 看護援助への適用につい 4		フロイト、コールバー	-グの理論				
	5 子どもと家族の健康問題 オレムのセルフケアモデ							
	7 子どものヘルス・プロモ Penderのモデルと看護援 8							
	9 健康障害をもつ子どもと 低出生体重児から慢性努 10 の状況から、看護援助を	長患をもつ子ど						
	11 子どもと家族の看護を展 倫理的問題の分析方法と 12	w - H /1.// )	ISTORIA					
	13健康障害をもつ子どもと 学生が置かれている状況14			二対する援助の方法に-	ついて			
	15 まとめ 子どもと家族を看護する	る上での看護師	の役割と課題					
テキスト ・参考書	第1回講義の際に、提示する							
予習・復習に ついての情報	第1回に、学生と相談の上、	予習範囲・学	習課題を決定する。					
授業の形式	講義、学生によるプレゼンラ	テーション、学	生と教員によるディス	スカッション				
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	・事前課題のプレゼンテー? ・レポート(50%)	ション(50%)						
課題に対する フィードバック等	講義において学生と教員との	講義において学生と教員とのディスカッションの中で、フィードバックをおこなう。						
教育課程内の 位置づけ	大学院-育成看護学分野科目							
その他	受講の際、2つお願いがあ スカッションを行いたいと 基づいて、看護援助の適用	思います。2つ	目は、事例を用いてフ	『レゼンテーションし	て下さい。それに			

					19
科目名		育成看護學	学特論Ⅱ(次世代育成3	支援) 	
担当教員		服部律子	、宮本雅子、三田村七	福子	
クラス	_	開講学期	前期	対象学年	1年
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義
単位区分	選択	単位数		2単位	
授業の概要	次世代育成のための看護 まで、妊娠前から産後まで 行うため、基本となる理論	でを連続線上で扱 論と看護の実践に	Eえ、産後の母親のメン こついて学ぶ。		
授業の目標	1. 次世代育成支援の理念 2 2. 親準備性の概念や形成近 3. 妊娠・出産・子育て期の 4. 産後の母親のメンタルへ 5. 家族が拡大する時期に無	過程について理角 ○母親や家族の心 ヘルスについて理 焦点をあてて、∃	¥し説明できる。 ♪理を理解し説明できる Ł解し説明できる。 ・育て支援の在り方を考	答察できる。	
育成する能力	理論や科学的根拠に基づい 護を実践できる力を育成す		こ向けた看護のあり方を	:探求し、次世代育成	に貢献できる看
	1 次世代育成支援とは1 次世代育成支援の考		成支援の法的整備と制	度	(服部)
	2 次世代育成支援とは 2 次世代育成支援の歴				(服部)
	3 親準備性1 親準備性の概念				(服部)
授業計画	4 親準備性 2 親準備性の形成				(服部)
	5 親準備性3 親準備性形成と看護	介入			(服部)
	6 親役割1 母親役割とその獲得				(服部)
	7 親役割2 父親役割とその獲得	過程			(服部)
	8 周産期の心理 妊娠・出産・子育で		:の心理		(服部)
	9 母親のメンタルヘルス 妊娠前の心理	. 1			(服部)
	10 母親のメンタルヘルス 妊娠期の心理	X 2			(宮本)
	11 母親のメンタルヘルス 産後の心理	. 3			(宮本)
	12 家族が拡大する時期の 子育て支援の考え方				(宮本)
	13 家族が拡大する時期の 臨床での取り組みの				(三田村)
	14 家族が拡大する時期の 臨床での取り組みの	)子育て支援を考	える3		(三田村)
	15 まとめ 子育て支援の在り方	で考察する			(服部)
テキスト ・参考書	岡野禎治他、『クロストー立花良之、『母親のメンタ根ケ山光一編著、『母性とその他、関連文献を適宜	マルヘルス・サポ こ父性の人間科学	『ートハンドブック』、	〜〜ルス』、南山堂 医歯薬出版	
予習・復習に ついての情報	随時説明する。				
授業の形式	講義				
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	レポート (100%)				
課題に対する フィードバック等					
教育課程内の 位置づけ	大学院-育成看護学分野科	目			
その他					

科目名	=	育成看護学特論Ⅲ(	リプロダクティブ〜	ヘルス・ケア)	20
担当教員		服部	3律子、西川美樹		
クラス	_	開講学期	後期	対象学年	1年
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義
単位区分	選択	単位数		2 単位	
授業の概要	女性のリプロダクティブ 症などリプロダクティブ び、さらにリプロダクテ ついて考察する。	ヘルス上の健康問題	と、それらの健康	問題に介入するための	理論について学
授業の目標	1. 女性のリプロダクティ 2. 統計などから女性のリ 3. リプロダクティブライ	プロダクティブへル ツを踏まえた性と生	ス上の課題を読み 殖に関する健康を	解くことができる。 支える看護について考	_
育成する能力	女性のリプロダクティブ女性のリプロダクティブ	ヘルス・ケアのため			
	1 リプロダクティブへ, リプロダクティブ・	ヘルスの概念、歴史	的変遷、近年の動[	句と課題	(服部)
	2 リプロダクティブへ リプロダクティブ	ヘルス維持向上のた	めの健康行動、理	論と研究の動向	(服部)
55 A  4 31 T	3 リプロダクティブへ, リプロダクティブ・		思決定場面、意思	央定の理論、意思決定	支援 (服部)
授業計画	女性のやせと食習	慣			(西川)
	5 リプロダクティブへ、 子宮頸がんと健康?	行動			(西川)
	6 リプロダクティブへ、 性行動と性感染症				(西川)
	7 リプロダクティブへ 不妊				(服部)
	8 リプロダクティブへ。 性暴力被害と被害	者支援			(服部)
	9 リプロダクティブへ, デートDV				(服部)
	探究する。	動態、保健、労働な	どの統計からリプ	ロダクティブヘルス上	の課題を (服部)
	探究する。	動態、保健、労働な		。 ロダクティブヘルス上	の課題を (服部)
	12 リプロダクティブへ, 健康教育(学級活!	動)とカウンセリン	グ		(服部)
		基本(理論とスキル)	)、実践例		(服部)
	14 リプロダクティブへ, ピア・サポートの				(服部)
- 1 1	15 まとめ	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	att in the		(服部)
テキスト ・参考書	加納尚美編、『フォレン 木原雅子、『10代の性行 日本児童教育振興財団内 その他、関連文献を適宜	動と日本社会 そして日本性教育協会、『	てWYSH教育の視点』		
予習・復習に ついての情報	随時説明する。				
授業の形式	講義				
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	レポート (100%)				
課題に対する フィート・ハ・ック等					
教育課程内の 位置づけ	大学院-育成看護学分野科	· 十目			
その他					

科目名		育成看	護学特論IV(	(家族支援)		21		
担当教員	小池伝一、村川園美、峰博子							
クラス	_	開講学期	後	期	対象学年	1年		
曜日・時限	_	講義室	_		授業形態	講義 (一部演習)		
単位区分	選択	単位数		2	単位			
授業の概要	育成期の幅広い看護実践力 育成期の家族を支援するた る理論や、Family centered ぶ。	めの看護につい	いて考察する。	そのために、氦	家族を理解する	るための基本とな		
授業の目標	1. 家族を理解するための理 2. 家族アセスメントについ 3. 家族支援の具体的方法に	て理解し、説明	<b>見できる。</b>					
育成する能力	家族支援や家族ケアの具体ト力を修得する。	的方法の理解に	よる、家族権	構成員全体への ク	アアを調整でき	きる、マネジメン		
授業計画	1 イントロダクション・家族看護学号とは、家族看護学の成立と・家族看護学の成型作用、家族会を護にでの「全球会を関する。 ここれまの形態とを表している。 またいのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのとない。 またいのとない。 マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	代背景 背景 り定義	変化			(小池)		
	・家族と文化 ・地域社会と家族 ウラ 4 家族の発達 ・家族周期 定位家が ・家族周期 家族の登時 ・家族周期においのいる時間 システムとしての論とは ・システムとしての論とは ・システムとしての構造	集と生殖家族 幸段階 引軸 ライフヒ 家族システム 疾	の特性	家族の発達段階 ・Duvall の 8 号 ・森岡の 8 段階 ・鈴木・渡辺の 家族周期の各段 くること。(表	受階 皆 ) 6 段階 <sub>と階と発達課</sub> 是	る)		
	6 家族アセスメント ・家族の機能と構造 家族の機能的側面 家族 ・家族の看護過程 7 家族の重要な機能 ・ストレス対処 ・セルフケア機能			家族の機能的個家族の構造的個を調べてくるこ 1つ1つの機能記載すること。	側面の具体的内 と。(図にし ・構造の内容	内容 て作成し、		
	<ul><li>・パートナーシップ</li><li>8 家族理論 その1</li><li>・CFAM(カルガリー家族 仮説の立て方 家族権</li></ul>			カルガリー家族 について調べて 1) 仮説の立て力	こくること	<u>(小池)</u> トモデル		
	9 段階のアセスメント ・CFIM(カルガリー家族 システマティックな材 3 つの領域への介入力	枠組み 認知・!		2)家族構造の7 3)家族機能の7		(小池)		
	10 家族理論 その 2 ・家族生活力量モデル 具体的なアセスメン ・家族エンパワメント		法					
	11 ・ 家族エンパリメント アセスメントの具体的 家族の病気体験 援助	り方法と全体像				(小池)		
	12 家族支援 その1 履修生が経験した家族の 視点で考える	り取り組みの実	際を看護の	事例を準備して 事例の紹介の際 1. その家族の系 2. その患者と家 3. 家族アセスス 4. 看護問題 上記 1~4 を記	景、経過ととも 経達段階と発達 ほ族の社会的・ リント	<b></b> 達課題		

	13   家族支援 その 2
	15 講義まとめ ・家族看護における看護師の役割 ・家族看護における上級実践看護師 ・家族看護学と研究について (小池)
テキスト ・参考書	山崎あけみ・原礼子編、『家族看護学』、南江堂
予習・復習に ついての情報	授業計画欄に課題内容を記載
授業の形式	講義。ただし、第12講、第13講、第14講は履修生の発表と全体討議によって進める。
評価の方法 ( 評価の配点比 率と評価の要 点)	レポート (100%) レポート課題 自身が経験した事例 1 例を提示し、①その家族の発達段階と発達課題、②その患者と家族の社会的 ・文化的背景、③家族アセスメント、④看護問題の抽出をした後、家族看護学的視点から考察する。 A4 1 枚を 40 字×40 行とし、2,500 字以内とする。 (教務課が提示する期限までに提出のこと)
課題に対する フィードバック等	
教育課程内の 位置づけ	大学院-育成看護学分野科目
その他	

担当教目		T				22
### (1 日本)	科目名		,	育成看護学特論演習		
単位区分	担当教員		服部律	**子、宮本雅子、小池伝一		
単位区分   選択	クラス	_	開講学期	前期	対象学年	2年
安集の帳要   女性のリプロダクティブへルス・ケアや子育で支援、子どもの健康障害への支援など育成看護学に関するテーマを選び、それらに対して国内外の論文をクリティークし、国際的な動向も踏まえながら、選択した各アーマに対する著意の方法をでいたできる。   1 育成看護学に関する議題の方法をでいたできる。   2 各機能に対する最適の方法をでいたできる。   3 各機能に対する構造の方法をできる。   3 各機能に対する看護の方法をできる。   4 子どもの健康障害に関する看護方法を探究する   1 子どもの健康障害に関する看護方法を探究する   1 子どもの健康障害に関する看護方法を探究する   1 子どもの健康障害に関する音源方法の探究   7 子もの健康障害に関する音源方法の探究   7 子もの健康障害に関する音源方法の探究   7 子もの健康障害に関する音源方法の探究   4 子どもの健康障害に関する音源方法の探究   4 子どもの健康障害に関する音源方法の探究   4 子どもの健康障害に関する音源方法の探究   4 子どもの健康障害に関する音源方法を接受する   4 日ともの健康障害に関する音源方法を接受する   6 大きもの健康障害に関する音波を遊み解き看護方法を探究する   6 大きもの健康健康に関する高波を遊み解き看護方法を探究する   7 子もの健康障害に関する音波を活め解える   6 大きもの健康障害に関する音波を活め解える   7 子もて支援に関する音波方法の探究   7 子育て支援に関する音波方法の探究   7 子育で支援に関する音波方法の探究   7 年 1 大きに関する音波方法の探究   6 (富木)   1 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方法の探究   4 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方法の探究   4 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方法の探究   4 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方法の探究   5 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方法の探究   5 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方法の研究   5 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方法の探究   5 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方法の探究   5 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方法の探究   5 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方法の探究   5 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方法の探究   5 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方はの探究   5 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方はの探究   5 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方はの探究   5 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波方はの探究   5 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波を認みを認みを認めなどの発音を表方法を探究する   6 本 1 を 女性のリプログウティブへルス・ケアに関する音波を表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が	曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	演習
接案の報要 選択した名子ーマと遊び、それらに対して国内外の論文をクリティークし、国際的な動向も踏まえながら、選択した名子ーマに対する奇護の方法をゼミ形でできる。 2. 各護願に対して文献をクリティークし多角的に検討することができる。 3. 各護願に対する奇護の方法を探究することができる。 3. 各護願に対する奇護の方法を探究することができる。 4. 各護原に対する奇護の方法を探究することができる。 5. 名禮願に対する奇護の方法を探究することができる。 6. 名禮原に対する奇護の方法を探究する「(小池)  1. 子どもの健康障害に関する奇護方法の探究1	単位区分					
投棄の目標	授業の概要	するテーマを選び、それらり	こ対して国内を	外の論文をクリティークし		
子どもの健康障害に関する看護方法の採究	授業の目標	2. 各課題に対して文献をク	リティークし	多角的に検討することがて	<b>ごきる</b> 。	
子どもの健康障害に関する論文を読み解き看護方法を探究する (小池)   2 子どもの健康障害に関する音波方法の探究	育成する能力				<b>二探求できる能力を</b>	で育成する。
子どもの健康障害に関する論文を読み解き看護方法を探究する (小池)		子どもの健康障害に関	員する論文を記	読み解き看護方法を探究す	-S	(小池)
子どもの健康障害に関する論文を読み解き看護方法を探究する (小池)		子どもの健康障害に関	員する論文を記	読み解き看護方法を探究す	-S	(小池)
技楽計画					- -る	(小池)
子どもの健康障害に関する論文を読み解き看護方法を探究する (小池)	授業計画	4 子どもの健康障害に関す 子どもの健康障害に関	「る看護方法⊄ 員する論文を記	)探究4 売み解き看護方法を探究す		(小池)
6 子育で支援に関する新漢方法の探究 2					- -る	(小池)
子育で支援に関する論文を読み解き看護方法を探究する (宮本)   2 子育で支援に関する論文を読み解き看護方法を探究する (宮本)   3 子育で支援に関する論文を読み解き看護方法を探究する (宮本)   9 子育で支援に関する論文を読み解き看護方法を探究する (宮本)   10 子育で支援に関する論文を読み解き看護方法を探究する (宮本)   11 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する論文を読み解き看護方法を探究する (服部)   12 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する看護方法の探究   女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する看護方法の探究   女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する看護方法の探究   女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する看護方法の探究   13 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する看護方法の探究   (服部)   14 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する看護方法の探究   (服部)   14 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する音護方法の探究   (服部)   15 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する音変方法の探究   女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する音変方法の探究   (服部)   15 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する音変方法の探究   女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する音変方法の探究   (服部)   5 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する音変方法の探究   (服部)   5 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する論文を読み解き看護方法を探究する (服部)   5 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する論文を読み解きる意力法を探究する (服部)   5 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する論文を読み解きる意力法を探究する (服部)   5 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する論文を読み解さる (服部)   5 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する論文を読み解される (服部)   5 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する論文を読み解される (服部)   5 女性のリプロダクティブへルス・ケアに関する論文を読み解される (服部)   5 女性のリプログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ		6 子育て支援に関する看護	隻方法の探究 1	=		
8   子育で支援に関する護方法の探究 3		7 子育て支援に関する看護	隻方法の探究 2	2		
9   子育で支援に関する看護方法の探究 4   子育で支援に関する看護方法の探究 5   子育で支援に関する論文を読み解き看護方法を探究する (宮本)   10   子育で支援に関する論文を読み解き看護方法を探究する (宮本)   11   女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 1   女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 1   女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 2   女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 2   女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 3   女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する論文を読み解き看護方法を探究する (服部)   14   女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 4   女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 5   女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 5   女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 5   女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する論文を読み解き看護方法を探究する (服部)   「チェスト・参考書」   それぞれのテーマに関連した研究論文等の文献を用いる。		8 子育て支援に関する看護	隻方法の探究 3	3		
10 子育て支援に関する看護方法の探究5 子官支援に関する高漢を読み解き看護方法を探究する		9 子育て支援に関する看護	隻方法の探究 4	Į.		
11 女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究1 女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する論文を読み解き看護方法を探究する (服部)		10 子育て支援に関する看護	養方法の探究 5	)		
12 女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 2 女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する論文を読み解き看護方法を探究する (服部)   3 女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 3 女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 3 女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法の探究 4 女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法を探究する (服部)   14 女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法を探究する (服部)   15 女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法を探究 5 女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法を探究 5 女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する看護方法を探究する (服部)   テキスト・参考書   それぞれのテーマに関連した研究論文等の文献を用いる。   それぞれのテーマに関連した研究論文等の文献を用いる。   ゼミ形式で行う。   評価の配点比率と評価の要点   レポート (100%)   レポート (100%)   大学院-育成看護学分野科目   大学院-育成看護学分野科目		11 女性のリプロダクティフ	ブヘルス・ケフ	アに関する看護方法の探究		
女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する論文を読み解き看護方法を探究する (服部)		12 女性のリプロダクティフ	ブヘルス・ケフ	アに関する看護方法の探究	2	
女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する論文を読み解き看護方法を探究する (服部)		女性のリプロダクティ 13 女性のリプロダクティフ	ィブヘルス・ク ブヘルス・ケフ	rアに関する論文を読み解 'に関する看護方法の探究	『き看護方法を探究 [3	ごする (服部)
女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する論文を読み解き看護方法を探究する(服部)するますする音女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する論文を読み解き看護方法を探究する (服部)テキスト・参考書それぞれのテーマに関連した研究論文等の文献を用いる。予習・復習についての情報ぜき形式で行う。評価の方法(評価の配点比率と評価の要点)レポート (100%)課題に対するフィードッツ等教育課程内の位置づけ大学院-育成看護学分野科目		女性のリプロダクティ 14 女性のリプロダクティフ	ィブヘルス・ケ ブヘルス・ケラ	rアに関する論文を読み解 アに関する看護方法の探究	とき看護方法を探究 14	:する (服部)
女性のリプロダクティブヘルス・ケアに関する論文を読み解き看護方法を探究する(服部)テキスト・参考書それぞれのテーマに関連した研究論文等の文献を用いる。予習・復習についての情報随時説明する。授業の形式ゼミ形式で行う。評価の方法(評価の配点比率と評価の要点)レポート(100%)課題に対するフィード・バック等大学院-育成看護学分野科目教育課程内の位置づけ大学院-育成看護学分野科目		女性のリプロダクティ	イブヘルス・グ	アに関する論文を読み解	 発き看護方法を探究 :5	ごする (服部)
・参考書 それぞれのテーマに関連した研究論文等の文献を用いる。  予習・復習に ついての情報 随時説明する。  授業の形式 ゼミ形式で行う。  評価の方法( 評価の配点比率と評価の要点)  課題に対する フィート・バック等  教育課程内の 位置づけ  大学院-育成看護学分野科目	ニキッし	女性のリプロダクティ	ィブヘルス・ク	アアに関する論文を読み解	さ看護方法を探究	ごする (服部)
ついての情報 随時説明する。  授業の形式 ゼミ形式で行う。  評価の方法( 評価の配点比率と評価の要点) 本と評価の要点) 課題に対する フィート、ハック等 教育課程内の 位置づけ  対学院-育成看護学分野科目		それぞれのテーマに関連した	た研究論文等の	の文献を用いる。		
評価の方法 ( 評価の配点比率と評価の要点) 課題に対する 7ィート / / / / / / / / / / / / / / / / / / /		随時説明する。				
評価の配点比率と評価の要点) 課題に対する 7イードバック等 教育課程内の 位置づけ  大学院-育成看護学分野科目	授業の形式	ゼミ形式で行う。				
7ィート゛バック等 教育課程内の 大学院-育成看護学分野科目 位置づけ	評価の配点比 率と評価の要 点)	レポート (100%)				
教育課程内の 大学院-育成看護学分野科目 位置づけ 位置づけ 1						
その他	教育課程内の	大学院-育成看護学分野科目				
	その他					

					23				
科目名	精神看護学特論 I (歴史・法制度)								
担当教員		上野栄一、西出順子、岡本響子							
クラス		開講学期	前期	対象学年	1年				
曜日・時限	<u> </u>	講義室	<del>-</del>	授業形態	講義				
単位区分	選択	単位数		2 単位					
授業の概要	を受ける立場の人から見た 人として尊重されて生きて	精神保健・医療	医療・福祉・看護の制度と歴 療・福祉・看護サービスの制 ることができる社会を展望す	度と歴史から、 る。	、現状を理解し、				
授業の目標	2. ケアを受ける人の立場か 3. リカバリー、ノーマライ	ら、日本の精 ゼーションの	現状と今後の展望を検討する	•					
育成する能力	精神保健・医療・福祉・看 修得する。	護の制度と歴り	史について理解を深め卓越し	た看護実践者の	のための教育力を				
			見在の精神医療の現状につい	て討議する。	(岡本)				
	2 日本の精神保健福祉法 日本の精神保健福祉法		で講義し、課題を討議する。		(岡本)				
授業計画		を概観し、精神	、の人権 Pを病む人の人権をどのようり Oかについて講義をし、体験		養する。				
	4 英国の精神保健法 英国の精神保健法につ	いて講義をし、	地域精神医療と入院精神医療	寮の実際を学習					
		中心の精神医療	<b>駅から地域精神医療に変遷し</b>	てきたのか、患					
	は何かを資料を基に討る 米国の地域精神医療の	変遷	課題と利点について討議する		(上野)				
	7 米国のMental Health A 米国のMental Health A	Act の変遷地域 ct が時代と共	成精神医療の変遷 にどのように変化してきたの		今後の米国の精神				
	8 グローバルヘルス		<u>、ケアについて討議する。</u> 、タイ王国、など)の精神医療	<b>奈の歴史を概</b> 観	(上野) (上野) (上、今後の日本の				
	ノーマライゼーション	の歴史、理念、			(上野)				
	ーションの理念を具現	マライゼーショ 化する具体的な	ョンを実践している組織、活動 よ方法を理解する。	動について講義	( [ m= ====111)				
		の精神医療でん	ノーマライゼーションを実践 見現化している具体的な方法:	を理解する。	活動について講義				
	11 医療観察法 医療観察法制定の背景	と運用の実際を		<u> </u>	<u>(上野)</u>				
	12 諸外国の精神障害を有	する犯罪者の治	治療と日本の医療観察法病棟 る看護について講義し、日本の						
	社会資源の現状につい	て講義し、障害	こかかわる社会資源の現状と 者総合支援法の活用と訪問程 課題と利点について体験事例	<b>f護をはじめと</b>	する社会資源の現				
	我が国の現在の地域精いて討議する。	神医療サービス	請たす地域精神医療サービス くで不足している点を講義し (岡本	、今後必要な制					
	15 これからの日本の精神 精神を病む人とその家 践者の役割と機能につ	族のニードを清	<b>満たす日本の精神医療の制度</b>	——を検討する卓起	或した精神看護実 (上野、西出)				
テキスト		ヘルス 世界の領	建康と対処戦略の最新動向、メデ	· ィカルサイエン	スインターナショナ				
・参考書	Care Quality Commission(201 福川摩耶、宇佐美しおり、野	l6):Monitering 末聖香、他(2014	理解と今後の展望、浅井邦彦、2 Mental Health Acts 2015/16, M ):精神障害者への精神科ケア・ 、熊本大学医学部保健学科紀要、	Mental Health F マネジメントチ					

	法務省、厚生労働省(2014):心身喪失等の状態で重大な他害行為を行ったものの医療及び観察などに関する法律の 施行の状況についての検討結果。
	・  厚生労働省(2014):長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方略の今後の方向性。
	https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12201000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu-Kikakuka/000 0051138.pdf
	C. A. Shea, L.R. Pelletier, E.C. Poster, et al(1999): Advanced Practice Nursing in Psychiatric and Mental Health Care, Mosby
予習・復習に	(事前学習) 日本及び英国と米国の精神医療サービスに関する社会的現象と法整備に関する資料を精
ついての情報	読する。特に、事件と法との関係について調べる。
	(事後学習) 今回の学習が臨床の場ではどのように課題があるのかをまとめておく。精神看護専門看
	護師として倫理的課題に気づき、組織の中にどのように提言できるかをまとめる。
な米の大子	# 芸 ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
授業の形式	講義、ディスカッション
評価の方法(	課題レポート(100%)
評価の配点比	日本の精神医療・看護の実際を、ケアを受ける受け手の立場からみた利点と改善点を記述している
率と評価の要	か(30%)、卓越した精神看護実践者が担うべき役割と機能について言及しているか(30%)、
点)	文献・資料を活用して深く洞察しているか(20%)、論旨に一貫性があるか(10%)、内容を十分理解し
	やすく記述しているか(10%)、の視点で評価する。
課題に対する	本講義では、日本国内だけではなく、
フィート゛ハ゛ック等	課題として国内外の精神医療の現状について
	発表を行い、さらに討論を行い、コメントをいたします。
教育課程内の	大学院-精神看護学分野科目
位置づけ	CNS精神看護専攻教育課程科目
その他	

ゲストスピーカー 川野雅資先生 オンライン接続

科目名		精神看護学特論	iⅡ(精神・身体状態	の評価)					
担当教員	上野栄一、西出順子、中川晶、岡本響子								
クラス	_	開講学期	前期	対象学年	1年				
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義				
単位区分	選択	単位数		2 単位					
授業の概要	卓越した看護実践者に必要場の人の体験を理解する。 折り合いをつけている人々	様々な精神・身体 の社会生活支援の	本状態を理解すること ○ための評価方法を理	で、複雑な心と身体					
授業の目標	2. 精神を病む人が体験して	1. 精神を病む人の精神面・身体面の評価方法を理解する。 2. 精神を病む人が体験している生活上の困難さを理解する評価方法を学ぶ。 3. 精神を病む人の社会生活を支援する評価方法を学ぶ。							
育成する能力	精神・身体状態の評価につ	いて理解を深め	巨越した看護実践者 <i>の</i>	ための教育力を修得	する。				
	1 精神を病む人の精神面 精神を病むということ ことを理解する。その 自我、自己、人格を評 る。	がその人との身体 ために、必要な精	面、精神面、社会面 神面と身体面をアセ	スメントする視点を	討議する。				
授業計画	2 DSM-5とICD-10 活用の仕方と診断基準	を学習する。			(上野)				
	3 DSM-5とICD-10 ケースビグネットを用いて様々な精神状態をDSM-5とICD-10を用いて診断に該当するあるいはしないと判断した根拠を討議する。 (上野)								
	4 統合失調症の診断 統合失調症のペーパー する。	-	た、DSM-5とICD-10を	を用いて診断基準と照	· · · · ·				
	5 気分障害 ケースを用いて気分障	害の診断について	「検討する。特に、 <b>双</b>	極Ⅱ型の見極めにつ	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				
	6 物質依存 事例を基に、DSM-5とI	 CD-10を用いて診!	新其淮レ昭会1 計	<b>差</b> する	(上野)				
	7 認知症 ケースを用いて、認知								
	8 全般性機能評価 GAFを用いて、訓練用の	)ケースピグネッ )	トを評価し、誤差につ	ついて討議する。	(西出)				
	9 心理機能評価 様々な心理テストの活								
	10 身体機能評価 精神疾患を病む人が被			<b>香環、代謝、栄養、排</b>					
	の評価方法を理解する 11 発達段階評価・発達課 エリクソンの漸進的発	題評価	、暦年齢と心理発達の	の段階について模擬事	事例を用いて評価				
	する。 12 陰性・陽性症状評価 BPRS、PANSSを紹介し、		<b>上間を田いて修得する</b>		(西出)				
	13 日常生活能力・セルフ 診断の手引きに基づい 長期入院生活を送って 力の評価を検討する。	ケア て、日常生活能力	」(ADL、IADL)の活用を	を理解する。特に長期	引入院精神病者が				
	14 リカバリー評価・社会 RAS、IMRについて紹介 ら、臨床での活用を討	し、活用の仕方を 議する。	検討し、臨床で、特別						
	社会適応評価に関する 退院可能性評価表(川里 15 卓越した精神看護実践	予ら)を紹介し、臨 者が行う様々な評	底床での活用野可能性 体の臨床活用	を討議する。	(岡本)				
テキスト	学習した様々な評価をついて討議する。         稲田俊也:観察者による精				ニスタッフ教育に (上野)				
テキスト ・参考書	個田俊也: 観祭有による権 山内俊雄 : 精神・心理機 野末聖香、宇佐美しおり(2 南裕子監修、宇佐美しおり ヒロカワ	能評価ハンドブッ 2007):精神看護ス	ク、中山書店、2015 ペシャリストに必要	な理論と技法、日本利					
	融道男編、World Health( 日本神経学会監修、Americ 手引き、医学書院								
	福田俊也(2014):観察者に	よる精神科領域の	症状評価尺度ガイド	改訂第3版、じほう					

	New Land Line (Control of the Control of the Contro
テキスト	沼初枝(2013):臨床心理アセスメントの基礎、ナカニシヤ出版
・参考書	加藤三郎監訳American Psychiatric Association原著(2016)統合失調症スペクトラム障害および他の
	精神病性障害群 DSM-5セレクションズ、医学書院
	西平直訳、E.H. エリクソン著(2011):アイデンティティとライフサイクル、誠信書房
	日本神経精神薬理学会(2016):統合失調症薬物治療ガイドライン、医学書院
	「臨床精神医学」編集委員会編(2015):精神科臨床評価マニュアル[2016年版]、臨床精神科学第44巻増
	刊号
	C. A. Shea, L.R. Pelletier, E.C. Poster, et al(1999):Advanced Practice Nursing in Psychiatric
	and Mental Health Care. Mosby
	, ,
	千葉理恵、宮本有紀(2009):精神疾患を有する人のリカバリーに関連する文献レビュー、日本看護科学
→ 777 (H777) →	会誌、29(3), 85-91
予習・復習に	(事前学習)精神看護学領域に関する学術論文で活用している精神面、身体面、心理面の評価尺度に
ついての情報	ついて調べる。臨床で実際に活用している評価の種類を調べる。
	(事後学習)様々な評価方法のうち、臨床に活用した尺度があれば、その有効性と限界をまとめてお
	< ∘
授業の形式	講義、ディスカッション、体験事例のまとめと報告、臨床で使用している尺度の紹介
評価の方法(	課題レポート(100%)
評価の配点比	精神を病む人は、どのように医療者に自分の苦しみをわかってもらえるのか、又、本人も、家族も
率と評価の要	
点)	考えるであろう尺度とはどのようなものか(30%)について、理解しやすく記述する(30%)。
課題に対する	本講義では、様々な精神機能の評価に関する課題について
フィート゛ハ゛ック等	発表を行い、その後全体で討論し、フィードバックをいたします。
教育課程内の	大学院-精神看護学分野科目
被目除住内の 位置づけ	7 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
75年、フリ	CNS精神看護専攻教育課程科目
7 - 11.	
その他	

科目名	精神看護学特論Ⅲ(精神科治療技法)								
担当教員		上野栄一、西出順子、中川晶、岡本響子							
クラス		_	開講学期	前期	対象学年	1年			
曜日・時限		_	講義室	_	授業形態	講義			
単位区分		選択	単位数		2 単位				
授業の概要	の人の	ロートリー   ロー							
授業の目標	2. 多耳	伸を病む人が必要とし 職種と共同して提供する 神看護専門看護師とし	る治療技法を理	解する。	の技法の実践への活用	目可能性を探る。			
育成する能力	様々ス	な精神科治療技法につい	ハて理解を深め	卓越した看護実践者の	のための教育力を修得	<b>計する。</b>			
	~ 料	情神を病む人が求める治 情神を病む人の立場から 社会生活を送りやすくす 刊挙し、それぞれの技法 情神科薬物療法 抗精神	の見た、治療技治 る技法、対人 はについて文献	関係がスムースに送れ					
授業計画	お	前行行案初原伝 九佾代 亢精神病薬の効果と副作 対議する。		義。特に、最新の抗精	神病薬の適用可能性	と危険性について			
		青神科薬物療法 抗うつ	)薬、抗躁薬			(中川)			
	わ	立る薬と抗躁薬の効果 に関する効果と危険性に	<b>早と副作用に関</b> っ		んかん薬など他の抗	精神病薬との併用			
		青神科薬物療法 抗不多			<u>K</u>	(中川)			
	わ	元不安薬、睡眠導入剤に こなっている治療用麻薬	関する使用方法	去と危険性に関する講	義。その他の向精神	薬と、米国で課題			
	5	薬物療法の副作用				(上野)			
		旨護師が発見する可能性 対議する。	<b>上が高い精神科</b> 薬	薬物療法の副作用につ	ついて、体験事例を基準	に文献と合わせて			
	6	薬物療法の副作用				(上野)			
		青神を病む人とその家族 本験事例と文献を基に計		削作用に気づくことか	ぶ出来るための看護師	の役割について			
	(上野) (上野) (上野)								
	精	精神分析的精神療法とこり技法、治療目標、対象	コフートが開発			依存についてそ			
		台療技法(来談者中心療		C (	- C H 1 HAX / 00	(西出)			
	佢	日原収益(未成者 中心療 固人精神療法の技法(来 ける。精神療法の文献権	談者中心療法、			点について講義を			
		台療技法(動機づけ面接		芸に こりが日 が日こと 既列	Fric フィーCpj mx ケージ。	(西出)			
	重	协機づけ面接の4つの中	心的な治療技法			用について討議 (西出)			
	10 浴部 直 デ 罪	ン、トラウマインフォー 台療技法(認知療法と行 恩知療法の技法(ネガテ 直し、損得比較表、認知 スケール(尺度)で表現 青らしの利用、直接的な ン、文献と体験事例から	動療法) ィブな思考の記 n的歪みの同定、 l、イメージの間 は論争、活動スク	録(コラム法=ABC法   誇張的表現や逆説の   音換え、認知的リハ   ケジュールを記録する	ま)、思考の証拠さが 0利用、症状や苦痛の いーサル、自己教示法	し、責任帰属の見 程度について 、思考中断法、気			
	11 光部	と、文献とP級事り//パー 台療技法(認知行動療法 恩知行動療法の技法(活 亨止法、ロールプレイン 艮界を討議する。	) 動記録表、注意	そらし法、段階づけ		レーニング、思考			
	12 清	台療技法(解決療法)	台療目標、対象、	限界を教授し、実践	<b>美</b> 例と文献から活用方	,—·· • ,			
	多沒	台療技法(家族療法) 家族療法の諸理論と技法 法、多世代派家族療法、 禁忌を教授し、文献と体	戦略派家族療法	去、ミラノ派/システ	ム論的家族療法)、治	構造派家族療			

授業計画	14   治療技法(集団精神療法)
	空の信息的テクローケの技法について討議する。 (上野)
テキスト・参考書	毎井昭男:精神科の薬がわかる本 第4版、医学書院、2019 伊藤絵美: 認知行動療法入門1、医学書院、2020 野末聖香、宇佐美しおり(2007):精神看護スペシャリストに必要な理論と技法、日本看護協会出版会 南裕子監修、宇佐美しおり(2010):精神和看護の理論と実践:卓越した看護実践をめざして、ヌーベルヒロカワ 白石裕子(2014):看護のための認知行動療法、金剛出版 菊池安希子、佐藤美奈子訳、D. Turkingtonら著(2016):リカバリーをめざす統合失調症の認知行動療法ワークブック 私の「ふつう」を取り戻すための技法を学ぶ、星和書店 武藤清栄訳、J.F.T.Bugental著(2007):サイコセラピストの芸術的手腕、星和書店 加藤敏(2005):統合失調症の語りと傾聴EBMからNBMへ、金剛出版 末田清子、抱井尚子、田崎勝也、他編著(2011):コミュニケーション研究法、ナカニシヤ出版 日本家族研究・家族療法学会(2013):家族療法テキストブック、金剛出版 C.A. Shea, L.R. Pelletier, E.C. Poster, et al(1999):Advanced Practice Nursing in Psychiatric and Mental Health Care, Mosby 矢澤美香子編(2018):基礎から学ぶ心理療法、ナカニシヤ出版
予習・復習に ついての情報	<ul><li>(事前学習) ①矢澤美香子編(2018):基礎から学ぶ心理療法、ナカニシャ出版を事前に抄読しておく。②臨床で実践している精神科における治療的アプローチの技法を報告できるように資料などをまとめておく。</li><li>(事後学習) 日本サイコセラピー学会など、精神科領域で実践に活用している治療技法を検討する学会などに参加して、治療技法の理解を深める。</li></ul>
授業の形式	講義、ディスカッション
評価の方法(評価の配点比率と評価の要点) 課題に対する	課題レポート(100%) 精神を病む人とその家族が必要としている治療的アプローチの技法について(40%)、卓越した精神看 護実践者が身に付ける治療的アプローチの技法について(30%)、多職専門家と技術を共有しそれぞれ の役割の遂行について(20%)、理解し易く記述する(10%)。 本講義では、精神を病む人たちへの治療的技法についての課題について
フィート・ハ・ック等 教育課程内の	発表と全体で討論してコメントを行います。   大学院-精神看護学分野科目
位置づけ	CNS精神看護専攻教育課程科目
その他	

科目名		<b>結神</b>	aIV(精神看護理論、援郥		26					
担当教員	上野栄一、西出順子、岡本響子									
クラス		開講学期	後期	対象学年	 1年					
曜日・時限	_	講義室	<del>_</del>	授業形態	講義					
単位区分	選択 単位数 2 単位									
授業の概要	卓越した看護実践者に必要な精神を病む人々への精神看護理論と援助技法を学ぶ。精神を病む人の物の見方から、安全で、安心して治療・看護を受け、社会に適応的に、そして自立して生活するための									
授業の目標	1. 精神を病む人が必要とし 2. 精神を病む人が安全で安	支援として、高度な実践者に必要な看護理論と援助技法を学ぶ。 1. 精神を病む人が必要としている精神看護理論を理解する。 2. 精神を病む人が安全で安心して回復に迎えるための援助技法を学ぶ。 3. 精神看護専門看護師として精神看護理論と援助技法との関連を理解し、説明できる。								
育成する能力	精神看護学を支える看護理 得する。	論と援助技法に	ついて理解を深め卓越し	た看護実践者のた	上めの教育力を修					
	のか、その課題と妥当性 医療者が注意する必要な	-、外口玉子の対 性について文献 ぶある課題を検	対人関係理論が、実践の対 検討と体験事例を基に討 討する。	場で信頼でき対人 議する。対人関係	関係の理論になる 発展の諸段階で、 (上野)					
[전 개부 기 <del>  표</del>		である「出会い	の時期」に必要な援助技	法の特徴	(上野)					
授業計画	3 精神看護に活用できる利人関係論の第二段階で         4 精神看護に活用できる利	である「関係の	発展の時期」に必要な援	助技法の特徴	(上野)					
			終結の時期―新たな人と	の出会いへの橋渡	しの時期」に必要(上野)					
	5 精神看護に活用できる ジーン・ワトソンのヒュ	.ーマンケアリ:	-マンケアリング) ング理論が、精神を病む, 当性について文献検討と		で信頼できる関係議する。					
			-マンケアリング) – 援助 こ精神を病む人との関係		(西出) 本験事例を基に討 (上野)					
	7 精神看護に活用できる ジョセフィン・ピーター が、精神を病む人と医療 献検討と体験事例を基に	-ソンとロレッ そ者との間で信頼 こ討議する。	タ・ヅデラードのヒュー 質関係構築の理論になる	マニスティックナ のか、その課題と	ーシングの理論					
	8 精神看護に活用できる ヒューマニスティックラ から討議する。	f護理論(ヒュ− トーシングの理	-マニスティックナーシン 論を、実際に精神を病む	/グ)ー援助技法 人に適応する援助	技法を、体験事例 (上野)					
	れる看護師の役割につい		できるための工夫と技術	に関する文献と体	験事例から、望ま (岡本)					
	10 日常生活技能訓練(SST) SSTの目的、対象、方法 する。	、評価方法を講	義する。実施したSSTの何	本験事例からその	効果と課題を討議 (岡本)					
	11 心理教育 心理教育の目的、対象、 と課題を討議する。	方法、評価方法	去を講義する。実施した	心理教育の体験事	例から、その効果 (上野)					
			化の早期発見、危機介入 文献と体験事例から課題。		とっての利点につ					
	ために入院中にできる流	台療技術を退院	に検討する。最も課題に 支援の立場から討議する 医療での課題について検	。英国で実施してい						
	と精神看護専門看護師な	ぶできる役割と		(上野・ゲストスピ						
	15 卓越した精神看護実践者 看護理論と援助技法との	)関係を理解し	、説明できる。		(西出)					
テキスト ・参考書	野末聖香、宇佐美しおり(2007 南裕子監修、宇佐美しおり(20 樋口輝彦著(2016):今日の精神 浦部晶夫、島田和幸(2017):今	):精神看護スペミ 10):精神科看護の 科治療指針 第2	ンャリストに必要な理論と技 )理論と実践:卓越した看護 2版、医学書院		出版会					
	西園昌久総監修、池淵恵美監訓店 厚生労働省(2014):長期入院精	₹ (R. P. Loberman	著) (2008) : リバーマンのリ/		マニュアル、星和書					

	白石裕子(2014):看護のための認知行動療法、金剛出版
テキスト	川野雅資 (2017 年発刊予定):トラウマインフォームドケア、精神看護出版
・参考書	日本神経精神薬理学会 (2016) : 統合失調症薬物治療ガイドライン、医学書院
	菊池安希子、佐藤美奈子訳、D. Turkington ら著(2016):リカバリーをめざす統合失調症の認知行動療法ワークブッ
	<i>D</i>
	私の「ふつう」を取り戻すための技法を学ぶ、星和書店
	大島巌、加藤大慈(2015):IMR 入門、IMR
	C.A. Shea, L.R. Pelletier, E.C. Poster, et al(1999):Advanced Practice Nursing in Psychiatric and Mental Health
	Care, Mosby N. Evans, B. Hannigan(2016):Therapeutic Skills for Mental Health Nurses, Open University
	Press
予習・復習に	(事前学習) 臨床で実践している援助技法についてまとめておく。精神看護の理論を復習する。
ついての情報	(事後学習) 臨床で実践している援助技法を精神看護の理論で説明する。
極業の形士	課業 ディスカッシュング 字時却生 東周怜科 ゲストスピッカー
授業の形式	講義、ディスカッション、実践報告、事例検討、ゲストスピーカー
評価の方法(	部田正 , - 라
評価の配点比	課題レポート(100%)
率と評価の要	様々な看護理論と援助技法の中から、これまでの実践例を紹介し文献検討を加えて、自分が最も大東によっている表示では2000とは、1000と
点)	事にしている考え方(40%)と援助技法(40%)について、一貫性を持って論述する(20%)。
課題に対する	本講義では、看護実践者に必要な精神看護理論と援助技法を課題として
フィート゛ハ゛ック等	提示し、発表後に討論をするとともにコメントを行います。
教育課程内の	大学院:精神看護学分野科目
位置づけ	CNS精神看護専攻教育課程科目
その他	

科目名	地域移行支援精神看護学特論						
担当教員	上野栄一、蓮池光人、西出順子、岡本響子、川野雅資						
クラス	_	開講学期	後期	対象学年	1年		
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義		
単位区分	選択(CNSを履修するコース)	単位数		2 単位			
授業の概要	専門看護師として、主に14 力、リカバリーをアセスメ に付ける。						
授業の目標	1. 地域移行支援の対象と支 2. 長期入院患者の日常生活 3. 長期入院患者の家族支援 4. 長期入院患者の潜在能力 5. 地域移行支援機能強化・ 6. 地域移行支援を実践する	能力、社会適応 、地域の資源を 関発とリカバリ 地域定着に関す	理解し、連携して支援 ーを支援する技術。 る取り組みと技法。	受する技術。			
育成する能力	日本や諸外国のケアマネジ	ジメントモデルを	学び、ケアに関するマ	マネジメント力を修得	<b>事する。</b>		
	1 地域移行支援の対象と 1年以上の長期入院精神 早期対応とピアサポー	申障害者及び、未 ターの活用。			支援。 (上野 <u>)</u>		
授業計画	2 長期入院患者が体験し 日常生活能力と社会適 文献検討と体験事例か 3 長期入院患者の日常生	応能力を高める ら討議する。	ために必要な、直接ケ	ア技術、間接ケア技	で術、SSTについて (蓮池)		
	食事の支度、洗濯、金 の力量を高めるのに有 4 長期入院患者の家族が	銭管理、趣味、  効な技術と限界	日中の過ごし方、友人 を実践例から検討する	、電話、インターネ			
	デイケア、訪問看護ス ている支援および地域	で活用できる資			ら討議する。		
	5 長期入院患者を支援す 保健・医療・福祉・看記とを文献検討、体験事 。多職種専門家が共同	護の専門職と医療 例から討議し、そ	それらの専門職・非専門	明職の効果的な連携	について討議する		
	6 長期入院患者が備えて 問題点・課題にばかり 明白になる潜在能力を	目を向けずに、村	様々な体験を共にする				
	7 長期入院患者のリカバ IMR・疾病管理とリカノ						
	8 長期入院患者のリカバ 実践例 IMR・疾病管理とリカノ				二基づく心理教育		
	9 地域移行支援機能強化 地域移行機能強化病棟 料、文献から学ぶ。精 を行う際に生じる倫理	病棟での精神看 の施設基準、個! 神科認定看護師。	護専門看護師の役割と 別計画、多職種による との共同、相互の役割:	機能 支援、看護師が行う 期待について討議す	支援について資		
	10 地域移行支援機能強化 退院意欲喚起、日常生 サポーター、症例検討 の役割と機能に関して	病棟での精神看 活能力、住居確信 会の実践活動を	護専門看護師の役割と 呆、退院後の医療確保	機能 実践例 などのために実践す	、精神専門看護師		
	11 地域定着への支援 AC 英国、米国、日本のAC で実施する上での課題	Tの実際とその調	<b>限題について、見聞報</b>		から討議し、日本 <sup>*</sup> ストスピーカー		
	12   地域定着への支援 AC ACTを実践しているゲラ対象への支援技術、医る。	ストスピーカーか 療受けたいと思	いら実践に必要な、関係	系形成の技法、服薬 ぐ技術を学び、その			
	13 ケアマネジメントモデ 英国、米国、日本のケ し、有効性と課題につ	アマネジメント <sup>、</sup> いて検討する。		、見聞録、文献、体	な験事例から討議 (上野・川野		
	14 長期入院患者が再発、 患者と共に作成するク する。			プランの活用支援の	方法について理角 (蓮池		

	15   卓越した精神看護実践者が、長期入院を続けている患者とその家族の見方、考え方、ニードを満た   す技法の臨床応用可能性についてこれまでの学習内容を振り返り、討議し、自分の考えを明確にす
	割を討議する。  「上野、西出)
テキスト	野末聖香、宇佐美しおり(2007):精神看護スペシャリストに必要な理論と技法、日本看護協会出版会
・参考書	南裕子監修、宇佐美しおり(2010):精神科看護の理論と実践:卓越した看護実践をめざして、ヌーベル
2 7 1	Helpho
	川野雅資総編集(2017):精神看護キーワード、日本看護協会出版会
	福川摩耶、宇佐美しおり、野末聖香、他(2014):精神障害者への精神科ケア・マネジメントチーム及び
	チーム内における精神看護専門看護師(CNS)の役割と評価、熊本大学医学部保健学科紀要、10,27-35
	安藤満代、川野雅資、谷多江子、他(2015):精神障がい者が病院から地域へ移行する思いの理解、イン
	ターナショナルNursing Care Research, 14(1), 81-88
	河東田博(2009):ノーマライゼーション原理とは何か:人権と共生の原理の探求、現代書館
	厚生労働省(2014):長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方略の今後の方向性。
	http://www/mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-122010000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu-K
	ikakuka/000051138. pdf
	厚労省(2017):長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策。
	http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12301000-Roukenkyoku-Soumuka/0000052710.pdf
	宇佐美しおり、中山洋子、野末聖香、他(2014):再入院予防を目的とした精神障害者への看護ケアの実
	態、日本精神保健看護学会誌、23(1), 70-80
	宇佐美しおり、吉田智美、高山良子、他(2015):在宅療養移行支援(Transitional Care)における専門
	看護師の活動実態と評価、看護、67(7), 78-90
	園田順一(2010):ACTとは何か、吉備国際大学臨床心理研究相談所紀要、7号、45-50
	川野雅資(2018):トラウマインフォームドケア、精神看護出版
	C. A. Shea, L. R. Pelletier, E. C. Poster, et al(1999): Advanced Practice Nursing in Psychiatric
	and Mental Health Care, Mosby
予習・復習に	(事前学習)地域移行機能強化病棟に関する法律と実践例の報告を調べる。患者と家族、地域の保健
ついての情報	医療福祉サービスの立場からの体験談や地域移行に係ることをどのように受け止めたの
	かという研究報告を調べる。
	(事後学習) 地域移行機能強化病棟で生じうる倫理的課題についてまとめておく。
授業の形式	建美 ディスカ いシィング 字映却化 ゲストスピーカー 東風冷計
授業の形式	講義、ディスカッション、実践報告、ゲストスピーカー、事例検討
評価の方法(	
評価の方法(評価の配点比	課題レポート(100%)
率と評価の要	長期入院患者とその家族の課題と力のある側面を評価する技術(30%)とその技術を実践する方法
点)	(30%)に関して、多職種連携の視点から(20%)から一貫性のある記述(20%)をする。
課題に対する	本講義では、事例を展開する課題について
フィート、ハ、ック等	家族関係、社会資源などのリカバリーをめざす地域移行支援についての
71 1 1 1 1 1 T	発表を通して討論してコメントをいたします。
教育課程内の	大学院-精神看護学分野科目
位置づけ	CNS精神看護専攻教育課程科目
, ,	THE PERSON AND ADDRESS OF THE PERSON ADDRESS OF THE PERSON AND ADDRESS OF THE PERSON ADDRESS OF THE PERSON AND ADDRESS OF THE PERSON AND ADDRESS OF THE PERSON ADDRESS OF THE PERSON AND ADDRESS OF THE
その他	

2024.9.10 川野雅資先生 ゲストスピーカー→非常勤教員に変更

科目名	28       急性期精神看護学特論						
担当教員	上野栄一、蓮池光人、西出順子、岡本響子						
クラス	_	開講学期	後期	対象学年	 1年		
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	講義		
単位区分	  選択 (CNSを履修するコース)	単位数		2 単位			
授業の概要	専門看護師として、急性期 られるアセスメントの視点 する能力を身に付ける。	と技術、そして	早期に治療が受けられ	る支援、急性期の治			
授業の目標	1. 病気を発症した時期に精 2. 精神を病む人と家族への 3. 急性期に安心して治療を 4. 患者や家族の反応や言動	)早期介入、支援: :受けることがで	。 きる技術。				
育成する能力	急性期の精神看護学につい	<b>いて理解を深め卓</b>	越した看護実践者のた	めの実践力と教育力	]を修得する。		
授業計画	1 急性期の状態にある患 急性期の状態の患者を 門家の調整技術、行動は から討議する。陰性感 2 急性期の状態にある患 患者と家族が体験して 例を基に討議をする。 3 早期介入の諸外国の手 関係づくり、精神病未	アセスメントす? 制限などによる/ 情を抱いたときの 者と家族が体験! いることを、研究 法と動向	る技術、急性期の状態 人権に配慮した倫理調! のチームの支援につい していること、医療者 究論文、患者の手記、!	にある家族への支援整技術について、文献 整技術について、文献 て体験事例を基に討 に望むことの理解 患者の体験談の報告、	献検討と体験事例 議する。 (上野) 、医療者の体験事 (蓮池)		
	リア、など)、早期発見 リア、など)、早期発見 日本における早期介入の 見に、啓発活動につい 急性期の状態にある患 入院に至るまでの地域 家族が安心できる専門 ンサルテーションに関	・早期治療、早の実践例(東京都践者であるCNSをて何い、文献検討者と家族が安心での支援とそのう看護師の役割と様	期介入の危険性についる。 、三重県、長崎県) ゲストに招き、実践の 対を基に討議をする。 して入院治療の場を受 連携、多職種連携に関 機能について討議する	いて文献検討を行い、 の手法、有効性と課題 (上野・ゲ け入れられる地域連 する文献検討と体験・	討議をする。 (上野、西出) 夏、倫理的課題、 ベストスピーカー 携・多職種連携 事例から、患者と		
	6 トラウマインフォーム 特に、行動制限は再ト るトラウマインフォー 理的課題を調整し、ス	ドケアの実践例 ラウマ体験になり ムドケアについ	りやすいので、急性期 て紹介し、精神看護専F	門看護師がリーダー	病棟で実践してい シップを取って船		
	7 急性期病棟、スーパー 急性期入院精神看護で 族への支援に関して、	必要な医療を補気	完する技術、生活を支	援する技術、安全をは	(岡本) 確保する技術、家 (岡本)		
	8 興奮・攻撃的にならざ 患者が興奮・攻撃的にな ら理解し、患者と医療	るを得ない患者で ならざるを得ない	の理解と支援(CVPPP) v要因と患者が体験し <sup>*</sup>				
	9 早期に隔離を解除する 隔離は、最後の選択肢 トラウマ体験になりや ア、ニードを満たす支 討議する。	の一つであること すいこと、を理解 援、隔離時の安全	解し、隔離の必要性、	隔離解除の目標、隔離 余について文献検討。	難時の看護師のな		
	10 早期に拘束を解除する 拘束は、最後の選択肢 と家族には無力な感情 束の必要性、拘束解除 早期の拘束解除につい	の一つであること を引き起こす体 の目標、拘束時の て事例を基に討言	険になり、再トラウマ の看護師のケア、ニー 議する(事例検討)。	体験になりやすいこ ドを満たす支援、拘	と、を理解し、才		
	11 急性期の状態にある患 服薬を望まない患者に 必要性を実感する支援 基に討議する。	、まず信頼関係を、副作用の早期系	を構築すること、そし、 発見、家族が安心できる				
	12       急性期の状態にある患多職種専門家が実施す治療との関係性につい         13       急性期の状態にある患多職種専門家が実施する事故主法	る急性期の状態/ て文献検討と体験 者の家族への多り る急性期の状態/	こある患者への心理教 険事例を基に討議する 職種専門家による心理 こある患者の家族への	。 教育 家族のニードに応え	(上野) る心理教育プロ		
	グラム、実施方法、評 14 急性期の状態にある患 多職種専門家が急性期 実践例を紹介し、文献	者の家族への多りの状態にある患	職種専門家による心理 者の家族への家族のニ	教育の実践例	<u>(上野</u> 育プログラムの (上野		

授業計画	15   卓越した精神看護実践者が、急性期の状態にある患者とその家族に支援する技法の臨床応用可能性にれまでの学習から急性期の状態にある患者と家族が安心して治療を受けられ、早期に回復していく支援のために、認定看護師や多職種専門家と協働して展開する、卓越した看護実践者の看護の考え方と知識、技術について討議する。 (上野、西出)
テキスト	野末聖香、宇佐美しおり(2007):精神看護スペシャリストに必要な理論と技法、日本看護協会出版会
・参考書	對水室省、十位天しわり(2007) - 桐仲省慶グペンテリケトに必要な理論と技伝、日本省慶協云山版云   南裕子監修、宇佐美しおり(2010): 精神科看護の理論と実践: 卓越した看護実践をめざして、ヌーベルヒロカワ
・参与音	
	針間博彦監訳、P. French, et. al., 編著(2011):精神病早期介入、日本評論社
	法務省、厚生労働省(2014):心身喪失等の状態で重大な他害行為を行ったものの医療及び観察などに関する法律の
	施行の状況についての検討結果。
	http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200002gk0i-att/2r985200002gk49.pdf
	池添志乃、田井雅子、中野綾美他(2011):倫理的判断を基盤とした抑制についての調査。日本看護倫理学会誌。3(1)
	西池絵衣子、三宅美智、末安民夫他(2013):全国の精神科病床を有する施設における行動制限最小化委員会の実態
	に関する調査 運営の在り方と看護職の役割、日本精神科看護学術集会誌、56(2), 266-270
	野田寿恵、杉山直也、三宅美智他(2013):行動制限の国際比較 日本フィンランド精神科急性期医療における隔離
	・身体的拘束研究から、精神科治療学、28(10) 1265-1271
	宇佐美しおり、田中美恵子、永井優子他(2014):精神科看護実践 <del>実線</del> における倫理的課題と対処方法の実態、日本
	精神保健看護学会誌、23(1), 112-131
	川野雅資(2018):トラウマインフォームドケア、精神看護出版
	大西玲子、他(2012):スーパー救急病棟入院患者の家族が看護師に求めるケア、日本精神科救急学会誌、15,75-82
	日本神経精神薬理学会(2016):統合失調症薬物治療ガイドライン、医学書院
	「
	「
	C.A. Shea, L.K. Pelletier, E.C. Poster, et al(1999):Advanced Practice Nursing in Psychiatric and Mental Health Care, Mosby
予習・復習に	Health Care, Mosby   (事前学習) 急性期精神看護、スーパー救急病棟の看護に関する報告を調査する。患者と家族の立場
ついての情報	からの体験談や患者と家族がどのように医療・看護を受け止めたのかという研究報告を
	調べる。陰性感情を抱く看護師への支援に関する文献を調べる。
	(事後学習) 精神看護専門看護師が実践している急性期の対象に対する調整、倫理調整、コンサル
	テーション、研究、教育の実践をまとめておく。
1	
授業の形式	講義、ディスカッション、実践報告、ゲストスピーカー、事例検討
評価の方法(	課題レポート(100%)
評価の配点比	株題レホート(100%)   急性期の状態にある患者と家族が安心して医療を受けられる看護師の役割(40%)、ケア技術(30%)、
率と評価の要	
点)	多職種連携・地域連携(20%)に関して、論理的に記述(10%)する。
課題に対する	本講義では、急性期の状態にある精神を病む人に対する
フィート゛ハ゛ック等	実践例や文献を課題にして、授業で発表をしていただき、
1	患者や家族への早期介入について討論をしてコメントをいたします。
教育課程内の	大学院-精神看護学分野科目
位置づけ	CNS精神看護専攻教育課程科目
その他	
. C 07 IE	
L	

科目名		精神看護学	寅習Ⅰ(精神科治療技	技法)	
担当教員		上野栄一、蓮洋	也光人、西出順子、「	岡本響子	
クラス	_	開講学期	前期	対象学年	1年
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	演習
単位区分	選択	単位数		2 単位	
授業の概要	卓越した看護実践者に必須治療を受ける立場の人の社技法を修得する。				
授業の目標	1. 精神を病む人が必要と 2. 多職種と共同して提供 3. 精神看護専門看護師と	する治療的なアプロ	ューチの技法を修得す		
育成する能力	様々な精神科技法につい	て理解を深め卓越し	」た看護実践者のた <i>&amp;</i>	かの実践力と教育力を	修得する。
	1 カウンセリングの基本 共感、受容、自己一致		方法を演習で身に付	けける。	(西出)
	2       カウンセリングの基本         信頼、安心、依存、車	45 41114	を基に実践的に理解	なする。	( <del>==</del> 111)
授業計画	3 1対1の短期精神療法 来談者が最も相談した 身体状態、社会的状態 にして、面接者の判断 (一般的には6回から1 べき課題と治療の頻度	こいことを中心に記 を観察や問いかけ fを来談者に伝え、 2回)と頻度(一般的	などの技法を用いて 面接者が出来る範囲 」には週2回)を伝え、	アセスメントし、来記を来談者に伝えて、t 来談者の意向を優先し	炎者の課題を明確 マッションの回数 して共に取り組む
	て身に付ける。				(西出)
	4 1対1の短期精神療法 5回から10回のセッシ め、支持し、時には面 用して、回復に向かう	ョンで、取り組む 接者が別の方策を	提案するなど、面接	者の技法に応じた具体	▲的援助技法を活
	5 1対1の短期精神療法 課題が解決することが ションで来談者は何を 学習を活用するか、面 すすめ、面接者は、今 て、関係を終結するも	ゞ予想できる前の巨 ご学んだか、何を修 i接者に対して感じ ·回のセッションで	得した、今後同様なたこと、改善した方 自分自身が学習した	課題が生じたときにと が良いことを表現でき 事、来談者に今後期待	ごのように今回の きるように会話を 寺することを伝え
	6 認知行動療法 自分の				(西出)
	注意そらし法、アサー知と行動、感情に気に			ロールプレイングでき	
	7 認知行動療法 ワー ABC法によるワークシ レイングで身に付ける	ートを用いて認知	行動療法を実践する	技法について体験事例	(上野)
	8 家族精神療法 プロク 仮定した患者の家族( (うつ状態)で外来通際 者と家族、など)を対	例えば、青年期で? 記している患者と家	『族、引きこもり青年	の患者と家族、成人其	
	9 家族精神療法 実施と 仮定した患者家族(例 状態)で外来通院して 家族、など)を対象に	えば、青年期で急性 いる患者と家族、	引きこもり青年の患	者と家族、成人期の発	の気分障害(うつ 巻達障害の患者と
	10 精神療法的アプローラ 実践した長期精神療法 改善が必要な点、来認 り効果的で来談者にへ	法的アプローチを報 ₹者にとって安心で	8告し、そこで使用し きる技法かどうか、		と限界、良い点と ジョンを受け、よ
	11 精神療法的アプローラ 実践した長期精神療法 改善が必要な点、来説 り効果的で来談者にへ	法的アプローチを報 ₹者にとって安心で	B告し、そこで使用し きる技法かどうか、		

授業計画	12 精神療法的アプローチ 実践報告 スーパービジョン ③ 実践した長期精神療法的アプローチを報告し、そこで使用している技法の有効性と限界、良い点と 改善が必要な点、来談者にとって安心できる技法かどうか、についてスーパービジョンを受け、よ り効果的で来談者にベネフィットがある技法を修得する。 (西出)				
	13 集団精神療法 プログラムの立案 仮定した集団(例えば、長期入院統合失調症患者、青年期で急性期の状態で入院した患者又はその 家族、外来通院している精神障害者又はその家族、など)を対象に実施する集団療法の治療目標、 技法を明確にする。 (上野、蓮池)				
	集団精神療法 実施と評価   仮定した集団(例えば、長期入院統合失調症患者、青年期で急性期の状態で入院した患者又はその   家族、外来通院している精神障害者又はその家族、など)を対象に明確にした集団療法の治療目標   、技法をロールプレイングで身に付ける。 (上野、西出)				
	15 卓越した精神看護実践者が行う様々な援助技法の臨床活用 卓越した精神看護実践者が実施する治療的なアプローチの技法を臨床で活用する際の課題を明確 にする。				
1	(上野、西出)				
テキスト ・参考書	遊佐安一郎監修:家族面接・家族療法のエッセンシャルスキル、星和書店、2013 野坂祐子:トラウマインフォームドケア、日本評論社、2019 エリック・グランホルム , ジョン・マッケイド : 認知行動SST 上巻:基礎・実践ガイド編 -統合失調症者支援のための臨床実践ガイド-、星和書店、2019				
	エリック・グランホルム , ジョン・マッケイド : 認知行動SST 下巻:基礎・実践ガイド編 -統合失調症者支援のための臨床実践ガイド-、星和書店、2020 前田ケイ:基本から学ぶSST、星和書店、2008				
	野末聖香、宇佐美しおり(2007):精神看護スペシャリストに必要な理論と技法、日本看護協会出版会 南裕子監修、宇佐美しおり(2010):精神科看護の理論と実践:卓越した看護実践をめざして、ヌーベルヒロカワ 狩野力八郎監訳G. 0. Gabbard著(2012):精神力動的精神療法:基本テキスト,岩崎学術出版社 白石谷子(2014):看護のための認知が実施された。本の出来によった。				
	日本家族研究・家族療法学会(2013):家族療法テキストブック、金剛出版 菊池安希子、佐藤美奈子訳、D. Turkingtonら著(2016):リカバリーをめざす統合失調症の認知行動療法ワークブック 私の「ふつう」を取り戻すための技法を学ぶ、星和書店 武藤清栄訳、J. F. T. Bugental著(2007):サイコセラピストの芸術的手腕、星和書店				
	加藤敏(2005):統合失調症の語りと傾聴EBMからNBMへ、金剛出版 末田清子、抱井尚子、田崎勝也、他編著(2011):コミュニケーション研究法、ナカニシヤ出版 C.A. Shea, L.R. Pelletier, E.C. Poster, et al(1999):Advanced Practice Nursing in Psychiatric and Mental				
	Health Care, Mosby				
	N. Evans, B. Hannigan(2016):Therapeutic Skills for Mental Health Nurses, Open University Press				
予習・復習についての情報	<ul> <li>(事前学習) ①N. Evans, B. Hannigan(2016):Therapeutic Skills for Mental Health Nurses, Open University Pressを事前に抄読する。②精神看護学特論Ⅲの内容を復習しておく。</li> <li>(事後学習) 治療的なアプローチの技法を臨床で実践したら、有効性と限界について文献を活用してまとめておく。教育の機会があれば実施し、その時の課題と学習したことが役立った内容をまとめておく。自分の臨床に必要な治療的なアプローチの技法を明確にしていく。</li> </ul>				
授業の形式	講義、演習、ロールプレイング、プログラム作成と発表、VTR、リフレクション、スーパービション				
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	課題レポート(100%) 自分の臨床に最も活用できる治療的なアプローチの技法を抽出し、その技法、目的、対象、方法、などを明確にする。実践可能な治療的なアプローチの技法か(40%)、患者と家族の視点から安心して受けられる治療的なアプローチの技法か(40%)、論旨が一貫しているか(20%)という視点で評価する。				
課題に対するフィードバック等	本講義では、精神を病む人や家族への治療的なアプローチについて 課題を提示して、ロールプレイなどを通して、フィードバックして 援助技法をコメントします。				
教育課程内の位置づけ	大学院-精神看護学分野科目 CNS精神看護専攻教育課程科目				
その他					

A	1		14.11 + W. V. L. 75	1 — (1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	In all II VI	R6-30			
科目名	精神看護学演習 II (精神看護理論、援助技法)								
担当教員		上野栄一、蓮池光人、西出順子、岡本響子、川野雅資							
クラス		<del></del>	開講学期	後期	対象学年	1年			
曜日・時限		<u> </u>	講義室	_	授業形態	演習			
単位区分		選択 単位数 2単位							
授業の概要	技術的に		病む人の物の見 するための支援	方から、安全で、安 として、高度な精神	心して治療・看護を受 看護実践者に必要な援	け、社会に適応 受助技法を修得す			
授業の目標	する 2. 点	情神看護理論に基づく精 る。 患者と家族が信頼して受 情神看護専門看護師とし	けられる高度な	援助技法を修得する。		法援助技法を修得			
育成する能力		神看護学の実践を支える 践力と教育力を修得する		援助技法について理解	解を深め卓越した看護	隻実践者のための			
	1	対人関係論に基づく援 対人関係論の発展段階	/ T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	法の実際についてロー	-ルプレイングを用い	て修得する。 (上野、西出)			
授業計画	2	ヒューマンケアリング ジーン・ワトソンのヒ: ける。	ューマンケアリン		援助技法の実際を、演	習を通して身につ			
	3	ヒューマニスティックヒューマニスティクナける。			爰助技法の実際を、演習	習を通して身につ (上野)			
	4	精神を病む人が安心し 文献や資料を活用し、( 支援プログラムを立案	体験事例を含めて						
	5	精神を病む人が安心し グ 立案したプログラムを 良い点と改善すること にする。プレゼンテー	実施し、実行し7 が必要な点を討	た技法とそのプログラ	うムの内容に関して、	ロールプレイン 学生、教員と共に すべき技法を明確			
	6	トラウマインフォーム 臨床で実施可能なトラ 患者との共同の可能性	ウマインフォー			(蓮池)			
	7	トラウマインフォーム 立案したトラウマイン かけるとしたら、どこ ように説明し、参加し	フォームドケア の誰に、どのよ <sup>・</sup>	の内容の実現するため うに働きかけるか、患		るとしたら、どの			
	8	日常生活技能訓練(SST 仮定した(例えば、長其 害者、など)対象に提供 割を考えたプログラム	明入院統合失調症 はするSSTの方法、	患者、急性期の青年					
	9	日常生活技能訓練(SST 作成したプログラムで の内容に関して、学生 ラムを立案し、改善す	) 実施と評価 ロールプレイン: 、教員と共に良V	、点と改善することが					
	10	患者への心理教育 プ 仮定した対象(例えば、 神障害者、など)に提供	長期入院統合失			で暮らす慢性期精			
	11	患者への心理教育 実 作成したプログラムで 、学生、教員と共に良 改善すべき技法を明確	ロールプレイン い点と改善する						

授業計画	12 精神を病む患者の家族への心理教育 プログラムの立案
ļ	仮定した家族(例えば、急性期の統合失調症の家族、長期入院の精神障害者の家族、初発の青年期
	の患者の家族、患者が家庭で暴力行為があるために退院をためらう家族、など)を対象に、心理教
	育の方法、技法、環境、ルール、リーダーシップ、コ・リーダーの役割を考えたプログラムを作成
ļ	(蓮池)
	13   家族への心理教育   実施と評価
ļ	作成したプログラムでロールプレイングを実施し、実行した技法とそのプログラムの内容に関して
ļ	、学生、教員と共に良い点と改善することが必要な点を討議して、より良いプログラムを立案し、
ļ	改善すべき技法を明確にする。 (蓮池)
	14 精神科訪問看護
	患者と家族が安心して受けられる、精神科で必要な訪問看護の援助技法を整理し、訪問前から訪問
	時、訪問後の援助技法を具体的に計画する。  (上野、ゲストスピーカー田邉友也)
	15 卓越した精神看護実践者が行う様々な治療的なアプローチの技法の臨床活用
	卓越した精神看護実践者が実施する治療的なアプローチの技法を臨床で活用する際の課題を明確   にする。 (上野、西出)
テキスト	野末聖香、宇佐美しおり(2007):精神看護スペシャリストに必要な理論と技法、日本看護協会出版会
・参考書	南裕子監修、宇佐美しおり(2010):精神科看護の理論と実践:卓越した看護実践をめざして、ヌーベルヒロカワ
ļ	西園昌久総監修、池淵恵美監訳 (R. P. Loberman著) (2008): リバーマンのリハビリテーション・マニュアル、星和書
	店
	C.A. Shea, L.R. Pelletier, E.C. Poster, et al(1999):Advanced Practice Nursing in Psychiatric and Mental
	Health Care, Mosby
ļ	稲田八重子監訳(H. Pepulau著)(1973):人間関係の看護論―精神力学的看護の概念枠、医学書院
	長谷川浩、川野雅資訳 (L. Zuderard,) (1983):ヒューマニスティックナーシング、医学書院
ļ	川野雅資、長谷川浩訳(J. Watson著)(2003):ワトソン21世紀の看護論 -ポストモダン看護とポストモダンを超え
ļ	て一、医学書院
	大島巌、加藤大慈(2015):IMR 入門、IMR
予習・復習に ついての情報	(事前学習) ①精神看護学特論IVの内容を復習しておくことと ②臨床で実践した援助技法の何が有効で何が課題だったかをレポート1枚程度にまとめておく。
	(事後学習) 修得した援助技法を臨床に応用したら、文献を活用して課題と利点をまとめておく。ス
	タッフに教育をする機会があれば、その時の教育の技術をまとめる。
授業の形式	演習、討議、プログラムの発表、リフレクション、ロールプレイング、スーパーピジョン
評価の方法(	課題レポート(100%)
評価の配点比	自分の臨床に最も活用できる援助技法を抽出し、その技法、方法、ルール、リーダーシップ、など
率と評価の要	を明確にする。実践可能な内容か(30%)、精神看護の理論と整合性があるか(30%)、患者と家族の視点
点)	から安心して受けられるプログラムか(30%)、分かりやすいプログラムの記述か(10%)という視点で評
,,,,	価する。
課題に対する	本科目では、精神看護学専門看護師としての対人援助について、高度な援助技法を修得する。そのた
フィート゛ハ゛ック等	めにフィードバックとして、臨床での事例について援助プログラムを精神看護理論と援助技法の観点
	から作成し、まとめた内容を発表し、討議とコメントをする。
教育課程内の	大学院-精神看護学分野科目
位置づけ	CNS精神看護専攻教育課程科目
その他	

-					31	
科目名	精神看護学実習 アセスメント					
担当教員	上野栄一、西出順子					
クラス	_	開講学期	前期	対象学年	1年	
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	実習	
単位区分	選択(CNSを履修するコース)	単位数	2	2 単位		
授業の概要	精神を病む人とその家族の** どのアセスメントを行い、 し、支援の実践能力を修得す	それらアセス	体状態、社会生活能力、退隊 メントを統合し、精神看護専			
授業の目標	ら総合的にアセスメントでは、総合的なアセスメントかり目標を設定し、看護計画では、ケースカンファレンスやスメントし、他職種専門が	1. 精神を病む人を精神機能、身体状態、社会生活力、退院可能性、ソーシャルサポートなどの視点から総合的にアセスメントできる。 2. 総合的なアセスメントから、患者の課題を特定し、持っている力と合わせて患者の長期目標、短期目標を設定し、看護計画を患者と共に計画し、実践できる。 3. ケースカンファレンスや家族との面談より、精神を病む人とその家族の現在の状態を総合的にアセスメントし、他職種専門家(精神科医・臨床心理士・作業療法士・社会福祉士・薬剤師など)と共に支援計画を立案し、実践できる。				
育成する能力	精神を病む人とその家族の管育力を高める。	包括的なアセク	スメントを実践して卓越した	看護実践者のた	とめの実践力と教	
授業計画 デキスト・参考書	退院可能性、ソーシャ ②総合的なアセスメ、看護 ③他職種専門。 ④ケースカントし、らの情 ントを行う。 ④ケースカントリーストースリンス で受し、アセスリントが、でのででは、でのででででででででででででででででででででででいる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 9月 15 日 ま 精神ルト 精神ルト 大きの 大きの 大きの 大きの 大きの 大きの 大きの 大きの	での間の2週間 を1名ないし2名受け持ち、 などの視点から総合的にアセン の課題を特定し、持っている と共に計画し、実践を通じて がンファレンスなどを通じて、家族の疾患 メントする看護計画を他職利 とスメントを実施し、看護計 の使用、アセスメントを実施し、看護計 のでスーパーバイズを受ける にCD-10精神および行動の障害、 sociation原著(2014):DSM-5 料 大評価尺度ガイド 改訂第3版、	スメントを行う 力と合わせて 思 、精神症状や フ 患に対する 理解 重専で立案する。 ーバイズを受け 判断のスーパー。 医学書の分類と 青神疾患の分類と	。者の長期目標、短イジカルアセスメや家族機能などを立案し、実践する。その後、計画を実で、バイズを受ける。	
予習・復習に	沼初枝(2013):臨床心理アセス。 日本神経精神薬理学会(2016): 「臨床精神医学」編集委員会編 (事前学習)精神看護学特論]	充合失調症薬物 (2015):精神科	治療ガイドライン、医学書院 臨床評価マニュアル[2016 年版]			
ついての情報	(事後学習)学習した内容を関			J, L/// /	と正在 7 °V °0	
授業の形式	実習。精神看護専門看護師。	と教員から定類	期的なスーパーバイズを受け	る。		
評価の方法( 評価の配点比率と評価の要点) 課題に対するフィート、ハ、ック等	スーパーバイズをする精神看護専門看護師の意見も参考にして実践場面と実習レポートで評価 (100%) 実習を通して、事例展開を精神状態、社会生活能力、退院可能性、 ソーシャルサポートの体制についてアセスメントをして病棟スタッフ (多職種)とも カンファレンスを実施し、事例の振り返りを行います。この事例の振り返りの中で、					
教育課程内の	適切な看護計画などの立案等についてアドバイスをします。 大学院-精神看護学分野科目					
<u>位置づけ</u> その他	CNS精神看護専攻教育課程和	<u> </u>				
てり他						

| ※R3.10 大阪精神医療センター追加 ※R6.5.1 医療法人 清心会 八尾こころのホスピタル追加

	I				32	
科目名	精神看護専門看護師役割実習					
担当教員	上野栄一、西出順子					
クラス	_	開講学期	後期	対象学年	1年	
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	実習	
単位区分	選択(CNSを履修するコース)	単位数		2 単位		
授業の概要		解を深める。	人とその家族・介護者への 精神看護専門看護師が活用 高度な臨床判断を学ぶ。			
授業の目標	研究の6つの役割と機能 2. 精神看護専門看護師の高 できる。 3. 医療チーム内で他職種と	1. 組織の中で精神看護専門看護師が果たす直接ケア、コンサルテーション、調整、倫理調整、教育、研究の6つの役割と機能の概要を理解する。 2. 精神看護専門看護師の高度な臨床判断と技法を学び、実際に看護実践を行い、自己の課題を明確に				
育成する能力	精神看護専門看護師が担う6 力を修得する。	6つの役割につ	ついて理解を深め卓越した看	護実践者のため	の実践力と教育	
授業計画	2 大阪医科薬系 実習期間 1月末から3 実習内容 ①事前に教員及び精神系 ②施設のオリエンテーシ 知る。 ③精神看護専門看護師の テーシラ学、参画看整、を の見達専門看のの見で、 ④精神意味づける。 カンフェトキ神看では、カンフェを、 ②1・2週目終了時にフロースの 21・2週目終了時にフロースを 21・2週目終了時にフロースを 21・2週目終了時にフロースを 21・2週目終了時にフロースを 21・2週目終了時にフロースを 21・2週目終了	科大学病院の『 情事 と 神神 で 神神 で がいった。 神神 で がいった。 神神 で がいった。 神神 で がいった。 がいった。 はい。 はいった。 はい。 はいった。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい	師の指導を受けて実習計画を 、実習病棟の患者の生活支援 、精神看護専門看護師の機能 、育、研究)について、事例 する。また、他職種との連携 技法を担当教員と精神看護 教員からスーパーバイズを受 スを開き、助言を受けながら	・立案する。 とケア実践活動 と役割(直接/ 検討会や症例カ ないて、理解 専門看護師のス ける。 、実習を進める	についての概要を ケア、コンサル ンファレンスなど 解を深める。 ーパーバイズを受 る。	
テキスト ・参考書	町末聖香、宇佐美しおり(2007):精神看護スペシャリストに必要な理論と技法、日本看護協会出版会 南裕子監修、宇佐美しおり(2010):精神科看護の理論と実践:卓越した看護実践をめざして、ヌーベルヒロカワ 宇佐美しおり、田中美恵子、永井優子他(2014):精神科看護実線における倫理的課題と対処方法の実態、日本精神 保健看護学会誌、23(1), 112-131 野末聖香著編集(2004):リエゾン精神看護:患者ケアとナースの支援のために、医歯薬出版株式会社 安田妙子、山内典子、山田咲樹子、他(2012):大学病院における専門領域の異なる CNS の協働に関する研究、木村 看護教育振興財団看護研究集録、19,69-80 平井元子(2014):リエゾン:身体とこころをつなぐかかわり、仲林書林					
予習・復習についての情報	師に直接活動内容	容を聴ける機	機能、そして活動に関する」 会を積極的に作る。 場で実践し、その体験をまと		精神看護専門看護	
授業の形式	実習。精神看護専門看護師	と教員から定	期的なスーパーバイズを受け	ける。		
評価の方法( 評価の配点比 率と評価の要 点)	スーパーバイズをする精神看護専門看護師の意見も参考にして実践場面と実習レポートで評価 (100%)					
課題に対する フィート・ハ・ック等 教育課程内の	本実習では、精神を病む人とその家族、介護者に対する事例について CNSの果たす直接ケア、コンサルテーション、調整、倫理調整、教育、研究の6つの役割実習を通して、多職種のカンファレンスなどを行いフィードバックをします。 大学院-精神看護学分野科目					
位置づけ	CNS精神看護専攻教育課程	科目				
その他						

	T				33
科目名			直接ケア実習		
担当教員	上野栄一、西出順子				
クラス		開講学期	後期から前期	対象学年	1年~2年
曜日・時限		講義室		授業形態	実習
単位区分	選択(CNSを履修するコース)	単位数	単位数 4 単位		
授業の概要	精神を病む人及び/又はその家族を総合的にアセスメントし、その結果対象に必要な治療方法を選択し、実施し、評価することを学ぶ。				
授業の目標	1. 精神を病む人の精神状態、身体機能、社会面を総合的にアセスメントして、精神を病む人が必要としているセラピーを実施し、その効果を評価する。 2. 精神を病む人の家族が必要としているセラピーを実施し、その効果を評価する。				
育成する能力	精神を病む人とその家族へる。				
授業計画	<ul> <li>実習病院 ハートランドしぎさん、有馬高原病院、やまと精神医療センター、さわ病院、浅香山病院、小阪病院</li> <li>実習期間 3月1日から9月15日までの間の4週間(180時間) 対象患者又は家族 複数名(セラピーに応じて適切な対象者数を決める。) 学習内容 ①精神を病む人の精神状態、身体機能、社会面を総合的にアセスメントする。 ②対象の必要性に応じて精神療法、集団精神療法、家族療法などから効果的と判断できる治療技法を選ぶ。 ③選択したセラピーについて患者及び/又は家族に分かりやすく説明して同意を得る。 ④実施したセラピーの効果を評価する。 </li> <li>実習方法 ①実習前に担当教員と精神看護学演習 I・IIのセラピーの学習修得を確認する。 ②実習前に担当教員と精神看護専門看護師のスーパーバイズを受ける。 ③セラピーを実施する前に精神看護専門看護師のスーパーバイズを受ける。 ④対象のアセスメントの結果を精神看護専門看護師と教員からスーパーバイズを受ける。 ⑤対象が必要としているセラピーを精神看護専門看護師と教員からスーパーバイズを受けて選択する。 ⑥選択したセラピーについて患者及び/又は家族の同意を得る。 ⑦精神看護専門看護師と共同してセラピーを実施する。 ⑧評価尺度及び実施記録を用いて治療の効果を判断する。</li> </ul>				
テキスト ・参考書 予習・復習 でいての情報	⑨セラピーを実施する際には、適時、担当教員と精神看護専門看護師のスーパーバイズを受ける。 西園昌久総監修、池淵恵美監訳(R.P.Loberman 著)(2008):リバーマンのリハビリテーション・マニュアル、 星和書店 狩野力人郎監訳(Glen 0. Gabbard 著)(2012):精神力動的精神療法:基本テキスト,岩崎学術出版社 白石裕子(2014):看護のための認知行動療法、金剛出版 宇佐美しおり、中山洋子、野末聖香、他(2014):再入院予防を目的とした精神障害者への看護ケアの実態、日本精神保健看護学会誌、23(1),70-80 武藤清栄訳、J.F.T.Bugental 著(2007):サイコセラピストの芸術的手腕、星和書店 加藤敏(2005):統合失調症の語りと傾聴 EBM から NBM へ、金剛出版 末田清子、抱井尚子、田崎勝也、他編著(2011):コミュニケーション研究法、ナカニシヤ出 版 N. Evans, B. Hannigan(2016):Therapeutic Skills for Mental Health Nurses, Open University Press (事前学習)精神看護学演習 I・Ⅱの技術を復習する。精神看護学特論Ⅲの内容を復習しておく。これまでに実施したセラピーの体験を整理する。				
授業の形式	(事後学習)学習した治療技 実習。精神看護専門看護師	生の臨床への応	用を探索する。	<b>を</b> ける。	
評価の方法( 評価の配点比率と評価の要点)	スーパーバイズをする精神看護専門看護師の意見も参考にして実践場面と実習レポートで評価 (100%)				
課題に対する フィードバック等 教育課程内の	本実習では、 精神を病む人とその家族に対して総合的にアセスメンをして、 必要なセラピーを学ぶ実習をします。病む人だけではなくその家族が必要としている セラピーについて計画、実施、評価についてカンファレンスなどを通して、 討論しコメントをします。 大学院・精神看護学分野科目				
位置づけ	大字院-精神看護字分野科目 CNS精神看護専攻教育課程科目				
その他					
**/					

\*R元.7 やまと精神医療センター追加 \*\*R2.7 さわ病院追加 \*\*R4.5 浅香山病院追加 \*\*R4.8 小阪病院追加 \*\*R4.8 CNS実習スーパーバイザーとして川野雅資先生担当 (~R5.3.31)

					34	
科目名	上級直接ケア実習					
担当教員	上野栄一、西出順子					
クラス	_	開講学期	通期	対象学年	2年	
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	実習	
単位区分	選択(CNSを履修するコース)	単位数	2	2 単位		
授業の概要			決困難な精神の課題を抱えて 看護専門看護師の臨床判断と			
授業の目標	家、地域の資源のスタッフ	と協働してア	患者とその家族・介護者に必 セスメントし、介入し、評価	する。		
育成する能力	選択したサブスペシャリテー越した看護実践者のための		その家族の複雑で解決困難な 力を高める。	課題に対する	看護を実践して卓	
授業計画	1 実習病院 急性期精神看護をサブスペシャリティに選択した学生は、ハートランドしぎさん又は有馬高原病院の急性期病棟、都立松沢病院又はスーパー救急病棟、さわ病院、浅香山病院、小阪病院。地域移行支援精神看護学をサブスペシャリティに選択した学生は、有馬高原病院の地域移行支援機能強化病棟。 2 移行支援機能強化病棟。 3 実習期間 4月から9月15日までの間に連続して2週間実習する。対象患者 4 複雑で解決困難な事例を2事例受け持つ。実習内容患者とその家族・介護者が精神を病むことによって求めている支援を、対象者を含めてアセスメントする。ケア計画を立案し、精神看護専門看護師が行う介入を実行し、対象者と共に評価する。実習方法 ①担当教員のスーパーバイズを受けて実習計画を立案する。 ②実習病院の精神看護専門看護師の指導を受けて実施する。 ③適時、担当教員と精神看護専門看護師のスーパーバイズを受ける。					
テキスト ・参考書	南裕子監修、宇佐美しおり(2010):精神科看護の理論と実践:卓越した看護実践をめざして、ヌーベルヒロカワ融道男編、World Health Organization(2005):ICD-10 精神および行動の障害、医学書院日本神経学会監修、American Psychiatric Association 原著(2014):DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引き、医学書院厚生労働省(2014):長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方略の今後の方向性。http://www/mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-122010000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu-Kikakuka/000 051138.pdf野田寿恵、杉山直也、三宅美智他(2013):行動制限の国際比較日本フィンランド精神科急性期医療における隔離・身体的拘束研究から、精神科治療学、28(10) 1265-1271 行野力八郎監訳(Glen 0. Gabbard 著)(2012):精神力動的精神療法:基本テキスト,岩崎学術出版社「臨床精神医学」編集委員会編(2015):精神科臨床評価マニュアル[2016 年版]、臨床精神科学第44巻増刊号武藤清栄訳、J.F.T.Bugental 著(2007):サイコセラピストの芸術的手腕、星和書店加藤敏(2005):統合失調症の語りと傾聴 EBM から NBM へ、金剛出版					
予習・復習に ついての情報	(事前学習)精神看護学特論Ⅲの内容を復習しておく。サブスペシャリティに応じて地域移行支援精神 看護学特論又は急性期精神看護学特論の内容を復習しておく。 (事後学習)臨床の場で学習した知識と技術を応用する。その体験をまとめておく。					
授業の形式	実習。精神看護専門看護師	ー と教員から定	期的なスーパーバイズを受け	る。		
評価の方法 ( 評価の配点比率と評価の要点) 課題に対する フィート、ハ、ック等	スーパーバイズをする精神看護専門看護師の意見も参考にして実践場面と実習レポートで評価 (100%) 本実習では、精神を病む人とその家族に対して精神感g専門看護師の課題を抱えている 家族・介護者に対して看護を展開、その看護展開を振り返り、実践力と教育力をたかめられるように					
教育課程内の 位置づけ その他	大学院-精神看護専攻教育課程科目					

その他 ※R4.5 浅香山病院追加 ※R4.8 小阪病院追加 ※R4.8 CNS実習スーパーバイザーとして川野雅資先生担当 (~R5.3.31)

					35	
科目名		特別研究				
担当教員			岩本淳子、臼井キミカ、西蘭 一、蓮池光人、田場真理、西川			
クラス	_	開講学期	通期	対象学年	1~2年	
曜日・時限	_	講義室	(指導教員に確認)	授業形態	演習	
単位区分	選択必修	単位数	8	3 単位		
概要	「精神看護学分野」「在宅看護学分野」「育成看護学分野」の3分野にかかわり、学生が作成した研究 計画を基に具体的な研究へと導き、論文を完成させるための指導を行う。					
授業の目標	1. 研究計画書の作成に関する基本的な知識を説明できる。 2. 専門看護領域の発展や専門知識・技術の向上をはかるために、科学的思考や論理的思考に基づいた研究活動を行える。 3. 研究を推進するにあたり確かな倫理観に裏付けられた研究的態度を身に付けることができる。					
育成する能力	7.72	がはじめ研究	フィールドにおける関係する	職種とのマネ	ジメント力を修得	
授業計画	めプレゼンテーション 2. 課題に関連した国内タ	ンを行い、研 トの研究論文 えを明らかに 画書の作成	し、研究的に取り組むべき課	出する。		

# 授業計画及び

- 2. 研究倫理委員会の審査申請書の作成
- 61 回~90 回
  - 1. 研究対象者、施設などとの調整
  - 2. データ収集・整理、分析
- 91 回~120 回 論文作成

#### (上野栄一)

精神しょうがいをもつ対象への援助について、多次元的な視座で分析する方法を学び、精神しょうがい者のもつ課題をみつけ修士論文を作成のための指導を行う。

### (服部律子)

子育て準備期から周産期、子育て期までの人々や母子に対する看護など次世代育成への支援に関する 分野において、自ら課題を発見し、研究テーマを設定して研究に取り組み修士論文にまとめるまでの プロセスを指導する。

# (岩本淳子)

病床や在宅における療養環境と高齢者の健康に及ぼす影響について、検討を希望される方に修士論文作成までの研究指導を行います。時間は限られますが、既知の危険因子を含む交絡因子を同時に調整するサンプルサイズでデータ収集し、結果の信頼性を向上できる解析方法を用いて、影響因子の妥当性を検証できるよう期待します。

#### (臼井キミカ)

重度認知症高齢者の日常生活支援技術及び、養護者・ケア担当者の研修プログラム開発、軽度認知症 高齢者の支援活動評価、高齢者虐待の要因と課題分析、高齢者虐待防止介入研究について、理論・概 念を用いて質の高い研究を目指す。

#### (西薗貞子)

看護師には専門分野に関わらず、変化・多様性・複雑さへの対応が求められています。 様々な分野の種々の課題への対応力、看護師の能力育成、臨床における継続教育の視点から検討を行います。

## (宮本雅子)

周産期における女性とその家族への看護ケア、助産技術、理論モデルに基づく健康教育、および思春期・更年期女性への健康維持・増進に向けての看護ケアや健康教育に関する研究課題に関して、修士論文としてまとめる研究の全過程を指導する。

# (小林由里)

新人看護師を含む看護師のクリティカルシンキング能力、看護実践能力に関するテーマについて、研究課題の明確化や研究方法の検討など研究をまとめるにあたり必要な指導を行う。

#### (小池伝一)

あらゆる発達段階における子どもと家族の最善の利益を考慮した看護援助を探求し、エビデンスの高い看護援助が構築できるよう、研究をとおして明らかにする。

授業計画 及び テーマ	(蓮池光人) 青年期にメンタル及びパーソナリティに不調をきたし生きにくさを感じる対象が、もてる力を発揮し 健康的な社会生活を営むための支援について研究テーマを設定し研究に取り組み修士論文を作成する までの指導を行う。
	(田場真理) がんや生活習慣病など、慢性疾患とともに生きる人々の看護支援に関する分野において、問題意識の 明確化・焦点化から、目的にあわせた多様な研究のデザインと調査法など、研究テーマを深め、研究 を進める過程を支援します。
	(西川美樹) 安全で安心な分娩支援体制の構築、ICTを活用した助産師の業務分析など、母性看護学・助産学に 関連したテーマの研究を指導する。
	(辻下守弘) 高齢者の運動習慣形成のための行動変容と高齢者の介護者を対象とした介護技術指導を目的とした行動分析学的アプローチとその効果に関して研究計画から研究の実施、そして論文作成までを指導する。
テキスト ・参考書	特に指定しない。
予習・復習に ついての情報	看護関連の課題について問題意識を持って学ぶ姿勢をもつ。
授業の形式	個別指導と学生と教員へのプレゼンテーション
評価の方法 ( 評価の配点比 率と評価の要 点)	文献レビュー(20%)研究方法の妥当性(20%)論文の完成度(60%)
課題に対する フィードバック等	学生が作成した研究計画を基に、具体的な研究を導くためのアドバイスをします。 文献検討、研究課題の明確化、研究計画書の作成、倫理申請書の作成、データ集積後の分析、論文作 成などそれぞれのフェーズごとに指導をします。
教育課程内の 位置づけ	大学院-研究科目
その他	

<b>₹</b> ₹ <b>□ □</b>			am bz 7m ~~		36	
科目名	課題研究					
担当教員		上野乡	<b>於一、蓮池光人、西出順子</b>	T		
クラス	_	開講学期	通期	対象学年	2年	
曜日・時限	_	講義室	_	授業形態	演習	
単位区分	選択必修(CNS必修)	単位数		1単位		
授業の概要	クリティークし、実践を概念 論文を完成するための研究打	念化し新たな 指導を行う。	看護師の技法について、理論 技法も開発、有効性の検証又	は理論開発を	文献から 行い、課題研究の	
授業の目標	2. 研究テーマにふさわしい知	印見を得て、	師の実践の中で生じる課題を 修士課程修了に相当する課題	研究論文をと		
育成する能力	し、研究への取り組みを通り	て臨床での	フィールドにおける関係する 看護実践に必要な課題探究力			
授業計画 アーマ	(	習者がたンテ す 研る題 中でる員画文社員 出平 を変われたンテ す 研る題 中で3員画文社員 出平 を実研を講家精の一 る 究実研 で関。、をと議か し価 発寒のと看録ョ 国 画場論 じす要生理でる定 患る すで自看護金ン 内 書面文 るるが同委の。期 者方 るるが同委の。期 者方 る の の を 課文あ士員質 的 の法 た	本験した患者及び家族面で気に、 理解に基づく実践場でる要に がでる要に がでる要に がでる要に がでる要に がでる要に がでる要に がでる。 ができなされた。 のでする。 ができなされた。 のでする。 がでが、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 のでは、ためい。 では、ためい。 はは、は、ためい。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	び囚こしを り 会でる。 学 精 間 う導 にい、関いえ 類 へ考。 学 精 の にを したなしテる 似 のえ 社 看 設 援す 、 譲関れを 違 申め 福 専 を す。 文 関 りょう かん ない ない は ない は で は で は で は で は で は で は で は で は で は	かを行う際で で高度実 で高度実 でのする。 でのする。 でのする。 でのする。 でのする。 でのする。 でのする。 でのする。 でのする。 でのから。 でのから。 でのから。 でのから。 でのから。 でのから、 でいるから、 でいるがら、 でいるがも、 でいるがも、 でいるがも、 でいるがも、 でいるがも、 でいるがも、 でいるがも、 でいるが	
テキスト	行う。			Y HIII X E IT MA	) <b>0</b> /C*/->114-C	
・参考書 予習・復習に	特に指定しない。 これまでの実習記録を振り記	反る。自分の	課題を強化する文献を自ら調	べる。		
ついての情報 授業の形式	個別指導と学生と教員へのこ					
授業の形式評価の方法(	四別相等と子生と教具へり)	, レビンテー 	✓ ⊐ ✓ 			
評価の配点比率と評価の要点)		,	って修士論文の評価基準と手	,,,,,	価(100%)	
課題に対する フィードバック等 教育課程内の	振り返り、実践を概念化する 討論をして、精緻なコメン	る方法、ケア トをいたしま	した精神看護専門看護師の技 の有効性の検証などを行うう す。また、論文作成に向けた ら論文作成まで討議を重ねて	えでの 文献検討から		
位置づけ						
その他						

# 修士課程学位論文題目届

奈良学園大学大学院 看護学研究科 看護学専攻(修士課程)

提出年月日(西暦) 年 月 日

[	()). (;; = = = )	
ふりがな 	(学籍番号)	
氏名(自署):		ĽП
		fī
主指導教員 :		
		印
副指導教員 :		
		印
※指導教員の承認を得てから教務課に提出	してください。	
H# F1		
.題目		
※1. 論文題目は和文、英文の両方を記入し	=	
・題目が日本文の場合は、英語訳を必		42 <del>4</del> 1 1
・題目が英文の場合は、日本語訳を( ※2. 学位記の氏名はここに記入した氏名を		1291,
※3. 自署欄以外はパソコン等で入力してく		
. 研究科広報媒体への題目・氏名掲載の同	意	
□ 広報媒体における論文題目と執筆者		
□ 広報媒体における論文題目と執筆者	「氏名の掲載を同意しません ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>′</b> o
/	A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH	
	受領印	
N.	**************************************	
修士課程学	位論文題目届受領票	
		奈良学園大学大学
	看護学研究	究科 看護学専攻(修士課程
N. 1945 - 1		
学籍番号:		
氏 名:		

